病 院 年 報

平成23年

名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

理　　念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基　本　方　針

1．皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2．高度・良質で安全な医療をいたします。
3．災害救護活動を積極的に行います。
4．周産期・小児及び救急医療を充実します。
5．医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6．職員の教育・研修を推進します。
7．健全経営を維持するように努めます。

ミッションステートメント

リーダーシップを発揮しよう	Leadership
チームワークを大切にしよう	Teamwork
互いにリスペクトする心を持とう	Respect
最高の医療レベルを目指そう	Best Quality
安全第一に心がけよう	Safety

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんが満足の出来る医療を受けられるように、患者さんの権利を尊重します。

1．良質かつ適正な医療を公正に受ける権利があります。
2．医療に関して知る権利および十分な説明を受ける権利があります。
3．自分自身の受ける医療について自分で決定する権利があります。
4．プライバシーが守られる権利があります。
5．診療情報の開示を求める権利があります。

患者さんが医療関係者とより良い信頼関係を築き、安心して安全な医療を受けられるように患者さんも責務をお守りください。

1．ご自身およびご家族の病歴や薬剤等によるアレルギーの有無など診療に必要な情報はすべて正確にお知らせください。
2．大声を出すこと、暴力をふるうことなど他人に迷惑になるような行為はしないでください。
3．医師との面会時間はあらかじめお約束いただき、ご来院の時間をお守りください。
4．病院の規則を遵守し、職員の指導に従ってください。

巻 頭 言

平成２１年１月から全面的に新病棟への移転が完了し、また新しい病院情報システムによる診療が開始されてから３年目を迎えた平成23年には、想定外の速度で診療密度の高度化の波が当院に波及しました。近隣医療施設の体制の変化に伴う患者さんの受療動向の変化も影響しているかとは思われますが、昨年に引き続き検査・手術件数等の伸びは急峻であり、既に８年程前の元設計で見込まれた予測値を大幅に上回って来ております。一方３月 11 日に東日本を襲った大地震・津波もまた想定外の大災害で、福島の原子力発電所の事故と相俟って多数の被災者が出ました。この日以後全国の赤十字病院から多数の職員が災害救護活動に出動し、当院からも７月までに 16 班、延べ 130 名程の職員が救護活動に出動いたしました。この災害は直接・間接的に全国的にも大きな影響をもたらし、かつて経験したことのない暗い影を日本中に落としました。当院もやがてこの地方にも訪れるであろうと予測される大地震に備えて、災害医療中核センターとしての役割について災害訓練をはじめとした備えの重要さを再認識させられました。

病院の運営につきましては昨年の診療報酬改定が大きな追い風となって大幅な経営改善が達成されました。しかしながら過密になった診療現場では医師・看護師はじめ職員の負担が増してきており、職員の労働環境の改善を図ることの重要性ならびに各職種とも一層の優秀な人材確保に努める必要性を痛感させられました。これらのことの改善を図るには、愛知県の地域医療再生計画に則ったバースセンター・研修センターの建設を次年度には実行に移し、併せて職員の研修、管理部門およびアメニティの充実を図っていきたいと考えています。平成 24 年は病院創立 75 周年の節目の年となります。この年報に記載された毎年の業績の積み重ねが、大きな伝統の柱となって当院の支えとなっていってくれることを期待して止みません。

平成 24 年 10 月

院長　小林陽一郎

目　　次

Ⅰ. 業務概要

1. 医事業務課
(1)病院年度別患者数 ･･･ 3
(2)平成23年度診療科別･月別患者数･･･ 4

2. 企画課
(1)平成23年度科別救急患者数･･ 6
(2)平成23年度曜日別救急患者数･･ 6
(3)平成23年度月別救急患者数･･ 7
(4)平成23年度地域別救急患者数･･ 7

3. 栄養課
(1)平成23年度栄養指導集計表･･ 8

4. 医療情報課
(1)大分類別退院患者数 ･･･ 9
(2)大分類別退院患者数の推移･･ 10
(3)住所別退院患者数 ･･ 11
(4)主要疾患別退院患者数の推移･･ 12
(5)診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数･･････････････････････ 14

5. 放射線科部
(1)平成23年度診療科別被検者数･･ 16
(2)年度別検査項目別件数 ･･ 18
(3)年度別放射線治療患者数 ･･ 18

6. 病理部
(1)診療科別生検検体数 ･･･ 19
(2)病理特殊検査検体数 ･･･ 19
(3)コンサルテーション症例数･･ 19
(4)院外受託検査 ･･･ 20
(5)細胞診件数(検体種別検体数)･･ 20
(6)剖検検体数(科別検体数、月別検体数) ･･････････････････････････････････ 20

7. 輸血部
(1)平成23年度検査年報集計･･ 21
(2)平成23年度院内廃棄血集計(輸血管理室) ･･････････････････････････････ 21
(3)平成23年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室) ･･････････････････ 22
(4)平成23年度成分採血室稼働状況･･････････････････････････････････････ 22

8.薬剤部
(1)外来患者待ち時間実態調査･･ 23

(2)入院・外来処方せん枚数 23
(3)入院薬剤管理指導料算定数 23
(4)妊娠と薬外来の相談件数 24
(5)薬学生実務実習受け入れ人数 24
(6)抗がん剤調製延患者数 24
(7)新規の治験・製造販売後調査受託件数 24

9.検査部
(1)平成23年度検査種別稼動集計 25
(2)平成23年度判断料 27
(3)平成23年度検査加算・管理料 28

10. 看護部
(1)看護部の理念 29
(2)基本方針 29
(3)看護部目標 29
(4)専門分野と人数 29
(5)看護部教育研修実績一覧 30
(6)育児休業復帰プログラムの実施 32
(7)看護専門外来月別患者数 32
(8)「こころの相談室」利用者状況 33
(9)看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数 33

Ⅱ. 業績
1. 平成23年診療科別業績 37

2. 学術講演等記録 41

Ⅲ. 医療社会事業部

1. 医療社会事業課
(1)平成23年度年間援助件数 45
(2)平成23年度科別援助件数 46

2. 社会課
(1)平成23年度災害救護訓練・臨時救護実施状況 48
(2)平成23年度災害救護活動状況 49
(3)病院ボランティア活動状況 51
(4)地域福祉活動状況 53

3. 地域医療連携室
(1)当院と外部委嘱委員との運営委員会及び協議会履歴と議事概要 54
(2)地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】(年度別推移) 72
(3)地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】年度月別推移 72
(4)【診療科別】初診(紹介)件数 (過去5年度比較) 73

(5)【診療科別】逆紹介件数（過去5年度比較）・・・

Ⅰ. 業　務　概　要

1．医事業務課

（1）病院年度別患者数

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
外来	新患者数	43,052	39,043	43,341	44,724	44,899
	患者延数	420,255	363,011	360,625	394,664	397,381
	1日平均	1,722.4	1,500.0	1,496.4	1,624.1	1,628.6
入院	入院患者数	18,016	17,528	18,729	19,355	19,830
	退院患者数	18,036	17,529	18,670	19,353	19,894
	在院患者延数	256,268	236,048	248,555	255,128	256,188
	入院患者延数	274,304	253,577	267,225	274,481	276,082
	1日平均	749.5	694.7	732.1	752.0	754.3

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

（2）平成23年度診療科別・月別患者数（患者延数）

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	136	82	109	101	140	97
	腎臓内科	548	556	576	598	700	646
	内分泌科	1,586	1,443	1,654	1,530	1,633	1,593
	血液内科	998	958	1,023	1,108	1,152	1,072
	化学療法内科	27	24	33	28	32	41
	総合診療科	106	114	158	113	115	137
	精神科	56	56	66	57	61	53
	神経内科	2,193	2,063	2,200	2,211	2,374	2,254
	呼吸器内科	1,803	1,874	1,878	1,833	1,987	1,966
	消化器内科	3,158	3,036	3,456	3,302	3,579	3,471
	循環器内科	2,547	2,396	2,677	2,260	2,753	2,465
	小児科	2,202	2,286	2,422	2,218	2,580	2,090
	一般・消化器外科	1,476	1,455	1,589	1,351	1,490	1,537
	乳腺・内分泌外科	468	420	595	491	553	532
	整形外科	2,680	2,726	2,888	2,880	3,125	2,765
	形成外科	268	347	295	278	322	306
	脳神経外科	746	831	753	766	856	799
	呼吸器外科	264	261	294	275	294	358
	心臓血管外科	320	284	368	335	354	335
	血管外科	243	210	267	213	239	221
	小児外科	60	61	75	81	92	74
	皮膚科	1,451	1,346	1,468	1,480	1,685	1,457
	泌尿器科	1,180	1,129	1,258	1,255	1,204	1,317
	女性泌尿器科	535	508	504	540	629	527
	産婦人科	1,652	1,627	1,856	1,662	1,828	1,813
	眼科	994	1,065	1,143	886	958	906
	耳鼻咽喉科	1,936	2,061	2,060	1,815	2,250	1,968
	放射線科	542	519	706	504	667	670
	リハビリ	518	525	619	521	555	467
	歯科口腔外科	1,651	1,571	1,710	1,604	1,950	1,724
	合計	32,344	31,834	34,700	32,296	36,157	33,661

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	11	11	2	3	0	0
	腎臓内科	498	525	654	654	740	809
	内分泌科	165	226	197	299	238	165
	血液内科	2,007	1,821	2,011	2,067	2,104	1,901
	化学療法内科	70	45	89	102	68	71
	総合診療科	47	51	39	50	31	30
	精神科						
	神経内科	1,866	1,657	1,651	1,763	1,668	1,666
	呼吸器内科	2,114	2,242	2,090	2,246	2,083	2,206
	消化器内科	1,728	1,816	1,958	1,970	2,187	1,982
	循環器内科	1,205	1,314	1,073	863	1,091	1,019
	小児科	2,497	2,675	2,772	2,725	2,587	2,673
	一般・消化器外科	1,977	2,060	2,069	2,170	2,093	1,898
	乳腺・内分泌外科	214	344	369	322	332	341
	整形外科	1,435	1,456	1,321	1,452	1,554	1,190
	形成外科	54	110	155	84	47	70
	脳神経外科	795	889	980	798	734	641
	呼吸器外科	575	397	381	559	526	591
	心臓血管外科	581	562	663	697	718	555
	血管外科	146	125	124	155	77	84
	小児外科	58	57	70	63	72	75
	皮膚科	143	77	155	131	138	106
	泌尿器科	584	467	507	501	471	631
	女性泌尿器科	242	231	266	248	279	215
	産婦人科	2,461	2,486	2,479	2,297	2,617	2,665
	眼科	97	79	103	67	71	50
	耳鼻咽喉科	869	689	714	766	828	805
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	352	285	269	238	270	304
	合計	22,791	22,697	23,161	23,290	23,624	22,743

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
112	94	92	132	116	92	1,303	内科
607	651	602	630	610	665	7,389	腎臓内科
1,515	1,565	1,517	1,578	1,542	1,594	18,750	内分泌科
1,099	1,124	1,090	1,078	1,032	1,144	12,878	血液内科
32	23	22	23	23	30	338	化学療法内科
124	113	132	125	130	143	1,510	総合診療科
55	48	50	42	58	46	648	精神科
2,222	2,259	2,111	2,114	1,998	2,244	26,243	神経内科
2,010	2,018	1,938	2,119	1,906	1,895	23,227	呼吸器内科
3,341	3,543	3,310	3,151	3,080	3,250	39,677	消化器内科
2,508	2,592	2,528	2,414	2,415	2,631	30,186	循環器内科
2,123	2,120	2,449	2,482	2,217	2,610	27,799	小児科
1,492	1,534	1,509	1,427	1,517	1,558	17,935	一般・消化器外科
527	532	499	493	527	522	6,159	乳腺・内分泌外科
2,708	2,379	2,356	2,444	2,264	2,535	31,750	整形外科
289	334	325	253	301	357	3,675	形成外科
801	834	841	731	770	833	9,561	脳神経外科
290	302	343	291	292	351	3,615	呼吸器外科
308	364	336	313	359	366	4,042	心臓血管外科
205	217	214	206	168	206	2,609	血管外科
73	71	74	59	62	74	856	小児外科
1,359	1,254	1,294	1,251	1,266	1,302	16,613	皮膚科
1,277	1,156	1,203	1,191	1,168	1,211	14,549	泌尿器科
529	567	518	523	541	525	6,446	女性泌尿器科
1,815	1,726	1,738	1,668	1,753	1,797	20,935	産婦人科
875	879	768	817	890	900	11,081	眼科
1,933	2,001	2,065	2,078	2,129	2,371	24,667	耳鼻咽喉科
643	639	468	460	696	578	7,092	放射線科
492	479	450	469	493	548	6,136	リハビリ
1,548	1,624	1,659	1,436	1,468	1,767	19,712	歯科口腔外科
32,912	33,042	32,501	31,998	31,791	34,145	397,381	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
2	0	0	0	0	0	29	内科
859	830	794	909	747	721	8,740	腎臓内科
180	162	150	138	184	219	2,323	内分泌科
1,849	1,772	1,902	1,948	1,795	1,836	23,013	血液内科
100	95	95	115	40	33	923	化学療法内科
77	36	16	1	4	2	384	総合診療科
							精神科
1,246	1,300	1,378	1,769	1,659	1,897	19,520	神経内科
2,379	2,363	2,521	2,464	2,158	2,422	27,288	呼吸器内科
2,217	1,939	2,050	1,970	1,743	1,890	23,450	消化器内科
1,180	1,117	1,149	1,218	1,295	1,364	13,888	循環器内科
2,473	2,521	2,924	2,818	2,661	2,837	32,163	小児科
2,124	1,887	1,941	1,838	1,906	2,099	24,062	一般・消化器外科
330	323	501	386	369	396	4,227	乳腺・内分泌外科
1,326	1,411	1,536	1,413	1,247	1,576	16,917	整形外科
94	156	144	110	164	128	1,316	形成外科
885	816	823	773	799	698	9,631	脳神経外科
549	444	362	386	553	546	5,869	呼吸器外科
484	573	668	696	543	585	7,325	心臓血管外科
79	139	117	104	195	157	1,502	血管外科
60	67	54	62	54	86	778	小児外科
108	129	91	85	96	87	1,346	皮膚科
552	444	536	430	478	591	6,192	泌尿器科
285	234	264	252	316	319	3,151	女性泌尿器科
2,423	2,048	2,318	2,101	2,155	2,483	28,533	産婦人科
59	37	19	21	48	34	685	眼科
847	918	848	749	702	755	9,490	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
265	289	256	261	266	282	3,337	歯科口腔外科
23,032	22,050	23,457	23,017	22,177	24,043	276,082	合計

2. 企画課

（1）平成23年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	46	573	619	2.3
腎臓内科	153	102	255	0.9
内分泌内科	59	167	226	0.8
血液内科	99	122	221	0.8
消化器内科	529	2,465	2,994	11.1
呼吸器内科	380	1,438	1,818	6.8
神経内科	528	1,370	1,898	7.1
循環器内科	565	1,161	1,726	6.4
一般消化器外科	361	217	578	2.1
呼吸器外科	37	30	67	0.2
心臓血管外科	92	50	142	0.5
血管外科	21	28	49	0.2
乳腺内分泌外科	9	21	30	0.1
小児外科	27	17	44	0.2
整形外科	395	2,758	3,153	11.7
リハビリ科	0	0	0	0.0
脳神経外科	249	1,468	1,717	6.4
産婦人科	443	882	1,325	4.9
小児科	672	4,813	5,485	20.4
耳鼻咽喉科	54	2,007	2,061	7.7
皮膚科	15	880	895	3.3
形成外科	1	115	116	0.4
泌尿器科	74	890	964	3.6
女性泌尿器科	4	3	7	0.0
眼科	4	90	94	0.3
歯科口腔外科	15	353	368	1.4
精神科	0	0	0	0.0
総合診療科	1	12	13	0.0
化学療法内科	5	21	26	0.1
救急科	0	0	0	0.0
計	4,838	22,053	26,891	100.0

（2）平成23年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	1日平均
4月	236	237	230	230	235	501	538	2,207	73.6
5月	314	225	154	179	251	374	1,020	2,517	81.2
6月	227	251	246	285	229	337	377	1,952	65.1
7月	204	238	216	243	299	476	617	2,293	74.0
8月	315	287	333	256	254	356	440	2,241	72.3
9月	174	201	212	296	235	372	625	2,115	70.5
10月	202	242	217	236	233	438	623	2,191	70.7
11月	229	274	228	154	249	388	570	2,092	69.7
12月	218	208	267	235	181	500	811	2,420	78.1
1月	179	194	261	228	242	360	1,071	2,535	81.8
2月	257	206	291	228	261	431	456	2,130	76.1
3月	242	157	251	315	293	450	490	2,198	70.9
合計	2,797	2,720	2,906	2,885	2,962	4,983	7,638	26,891	73.7
平均	233.1	226.7	242.2	240.4	246.8	415.3	636.5	2,240.9	320.1
%	10.4	10.1	10.8	10.7	11.0	18.5	28.4	100.0	

（3）平成23年度月別救急患者数

	入　院			外　来			合　計
	時間内	時間外	深　夜	時間内	時間外	深　夜	
4月	（74） 86	（106） 209	（58） 99	（71） 241	（144） 1107	（76） 465	（529） 2,207
5月	（54） 66	（116） 245	（57） 108	（64） 221	（159） 1365	（88） 512	（538） 2,517
6月	（57） 68	（102） 191	（61） 111	（82） 237	（161） 923	（82） 422	（545） 1,952
7月	（72） 86	（117） 230	（54） 93	（93） 273	（208） 1158	（102） 453	（646） 2,293
8月	（74） 85	（114） 196	（59） 94	（107） 315	（182） 1043	（104） 508	（640） 2,241
9月	（70） 86	（106） 221	（45） 79	（70） 223	（164） 1079	（88） 427	（543） 2,115
10月	（73） 87	（119） 227	（64） 111	（81） 241	（170） 1086	（82） 439	（589） 2,191
11月	（67） 80	（119） 234	（66） 103	（89） 209	（178） 1031	（94） 435	（613） 2,092
12月	（77） 93	（132） 250	（67） 131	（68） 159	（209） 1332	（80） 455	（633） 2,420
1月	（66） 77	（111） 214	（57） 87	（75） 196	（171） 1430	（87） 531	（567） 2,535
2月	（82） 94	（94） 199	（67） 101	（75） 189	（176） 1090	（80） 457	（574） 2,130
3月	（75） 86	（105） 227	（52） 84	（94） 237	（178） 1106	（57） 458	（561） 2,198
合計	（841） 994	（1,341） 2,643	（707） 1,201	（969） 2,741	（2,100） 13,750	（1,020） 5,562	（6,978） 26,891
1日平均	（2.3） 2.7	（3.7） 7.2	（1.9） 3.3	（2.6） 7.5	（5.7） 37.6	（2.8） 15.2	（19.1） 73.5

※（　）内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

（4）平成23年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	9,186	名古屋市以外	清須市	1,658
	中川区	3,803		津島市	314
	西区	2,063		北名古屋市	202
	北区	514		稲沢市	232
	中区	480		愛西市	244
				あま市	2,954
	その他	1,535		その他	1055
	小計	17,581		小計	6,659
海部郡	大治町	1,607	西春日井郡	豊山町	11
	蟹江町	176		その他	0
	その他	10		小計	11
			その他	県外	799
	小計	1,793		不明	48

3. 栄養課

（1）平成23年度栄養指導集計表

【 個人指導 】　　［ 単位＝件 ］

		糖尿病食	心臓病食	脂質異常症	腎臓病食	胃切術後食	潰瘍食	低残渣食	痛風食	肝臓食	その他	合計
入 院	22年度	400	104	6	55	193	20	11	0	40	69	898
	23年度	320	180	7	98	146	5	18	0	18	59	851
外 来	22年度	357	31	67	100	2	3	6	2	6	24	598
	23年度	357	15	89	97	1	0	6	3	7	47	622
合 計	22年度	757	135	73	155	195	23	17	2	46	93	1496
	23年度	677	195	96	195	147	5	24	3	25	106	1473

【 集団指導 】　　［ 単位＝人 ］

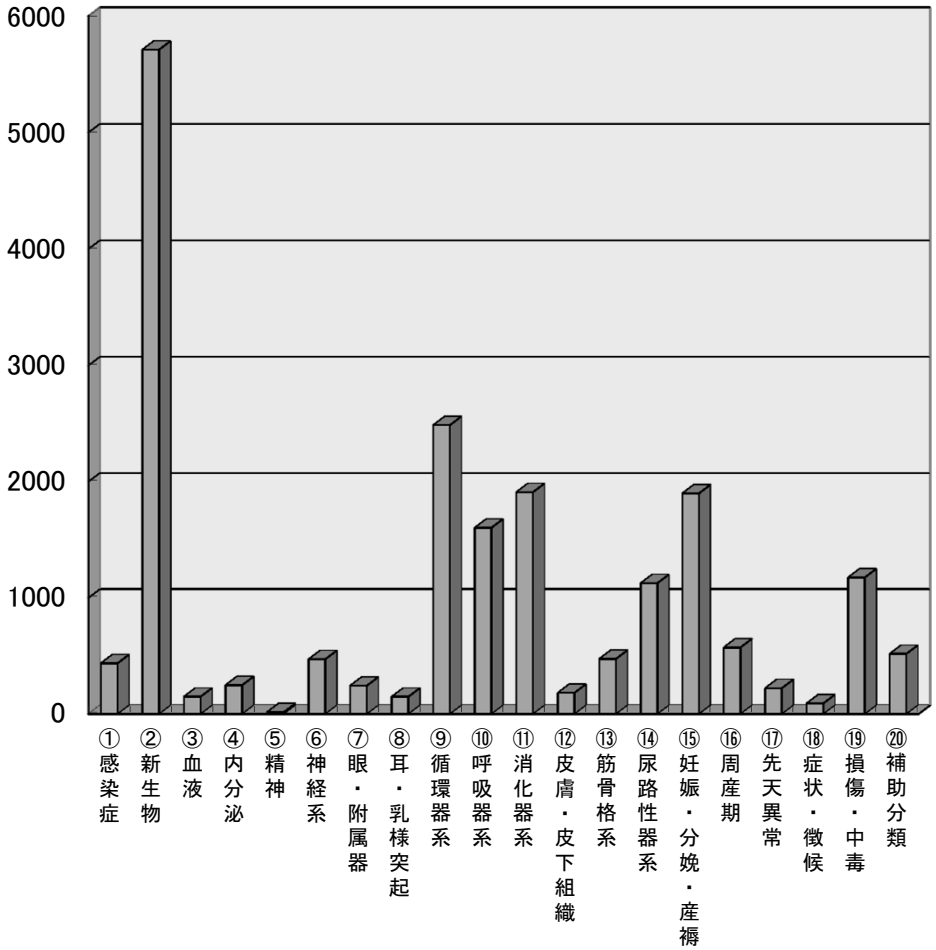
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	22年度	14	17	20	14	21	12	19	10	15	7	23	10	182
	23年度	8	15	19	16	13	6	14	8	11	9	15	10	144
心臓循環器	22年度	3	0	4	0	2	3	0	0	0	0	3	0	15
	23年度	0	2	0	2	0	2	3	2	0	3	0	2	16

4. 医療情報課

平成23年退院患者に関する諸統計

（1）大分類別退院患者数

＜基準＞
・2011/1/1～2011/12/31　退院
・患者数 ⇒ 延人数



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	436	⑪消化器系	1,909
②新生物	5,711	⑫皮膚・皮下組織	182
③血液	149	⑬筋骨格系	474
④内分泌	248	⑭尿路性器系	1,126
⑤精神	15	⑮妊娠・分娩・産褥	1,898
⑥神経系	471	⑯周産期	572
⑦眼・附属器	243	⑰先天異常	222
⑧耳・乳様突起	148	⑱症状・徴候	91
⑨循環器系	2,486	⑲損傷・中毒	1,175
⑩呼吸器系	1,603	⑳補助分類	517
合計		19,676	

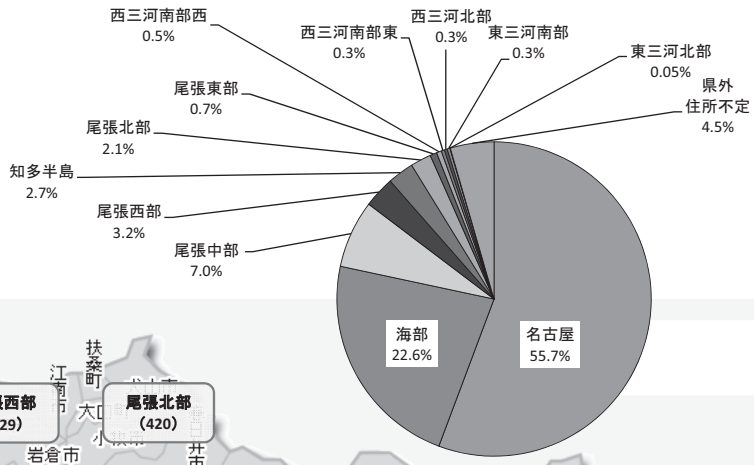
（2）大分類別退院患者数の推移（2001年～2011年）

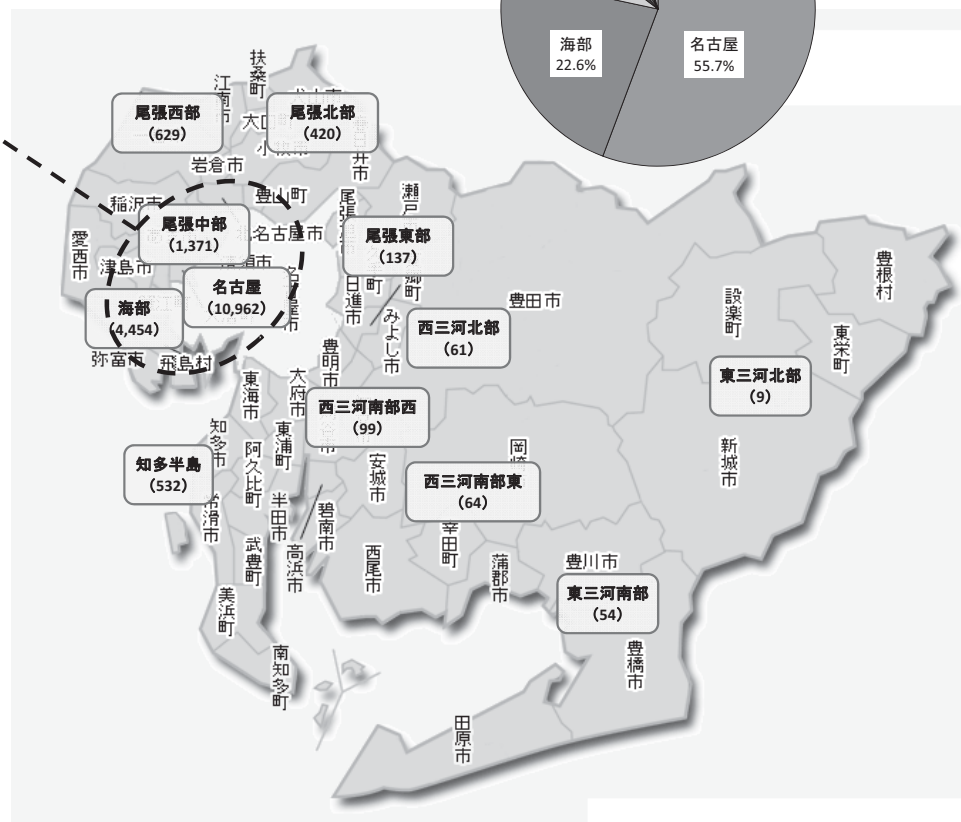
大 分 類 / 年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
①感染症	421	351	376	448	453	457	352	351	379	398	436
②新生物	2,935	3,404	3,657	3,752	3,823	3,910	4,380	4,557	4,805	5,443	5,711
③血液	115	116	120	104	123	126	136	126	127	140	149
④内分泌	418	557	504	448	420	390	289	276	230	314	248
⑤精神	62	55	45	46	33	34	17	18	17	9	15
⑥神経系	346	411	411	468	479	491	479	467	387	448	471
⑦眼および附属器	323	316	307	309	370	403	446	428	460	380	243
⑧耳・乳様突起	160	171	183	167	190	215	215	194	154	124	148
⑨循環器系	2,234	2,332	2,424	2,480	2,623	2,487	2,491	2,493	2,465	2,592	2,486
⑩呼吸器系	1,179	1,301	1,440	1,335	1,578	1,415	1,421	1,343	1,295	1,586	1,603
⑪消化器系	1,448	1,580	1,505	1,407	1,526	1,598	1,647	1,698	1,617	1,854	1,909
⑫皮膚・皮下組織	129	115	164	148	170	140	142	158	134	125	182
⑬筋骨格系	342	409	425	423	406	492	506	516	476	545	474
⑭尿路性器系	663	670	666	665	733	712	937	1,011	983	1,012	1,126
⑮妊娠・分娩・産褥	1,309	1,203	1,349	1,354	1,409	1,533	1,632	1,524	1,734	1,890	1,898
⑯周産期	524	539	539	573	567	603	672	625	589	602	572
⑰先天異常	236	255	281	273	229	266	322	307	241	220	222
⑱症状・診断不明確	292	335	299	363	343	271	224	143	101	56	91
⑲損傷・中毒	896	1,013	999	932	865	853	962	914	860	972	1,175
⑳補助分類	247	436	605	590	633	626	516	430	384	458	517
合　計	14,279	15,569	16,299	16,285	16,973	17,022	17,786	17,579	17,438	19,168	19,676

(3)住所別退院患者数

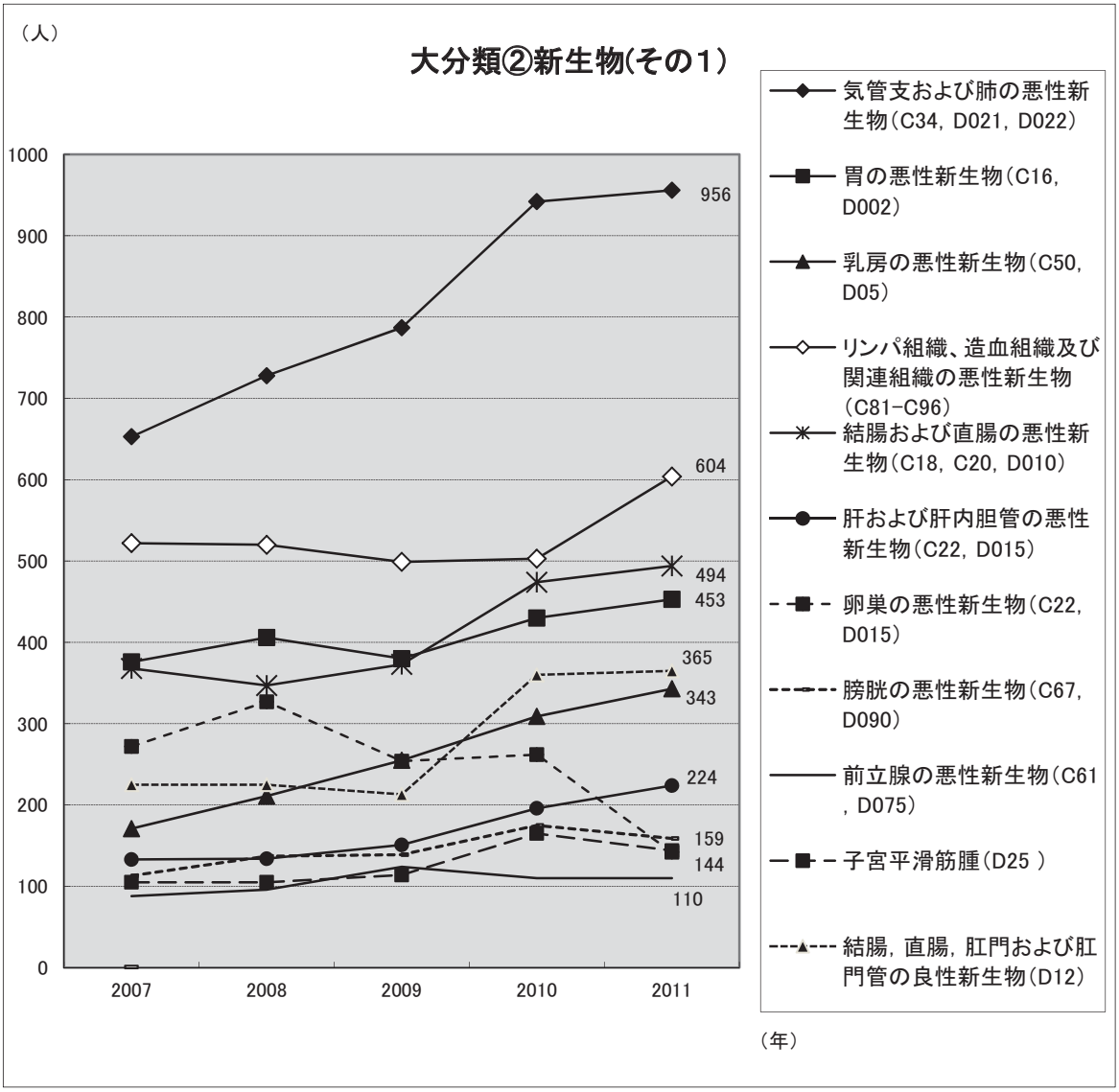
県内・外	2次医療圏	合計	①感染症	②新生物	③血液	④内分泌	⑤精神	⑥神経系	⑦眼および附属器	⑧耳・乳様突起	⑨循環器系	⑩呼吸器系	⑪消化器系	⑫皮膚・皮下組織	⑬筋骨格系	⑭尿路性器系	⑮妊娠・分娩・産褥	⑯周産期	⑰先天異常	⑱症状・診断不明確	⑲損傷・中毒	⑳補助分類
愛知県	名古屋	10,962	284	3,066	73	143	9	284	184	93	1,425	962	1,117	117	235	576	972	289	83	48	724	278
	海部	4,454	91	1,471	32	53	2	108	37	27	639	397	475	41	132	222	267	61	31	24	247	97
	尾張中部	1,371	30	354	6	24	2	36	11	9	203	124	131	7	22	71	166	45	12	13	74	31
	尾張東部	137	5	33					1	1	8	4	10		4	18	24	13	4	1	6	5
	尾張西部	629	5	247	9	6		10	2	5	50	39	52	2	23	43	56	13	12	1	28	26
	尾張北部	420	5	105	3	6	1	10	3		28	28	32	1	12	33	68	30	11		23	21
	知多半島	532	1	151	12	1		10	1	3	76	14	28	6	12	23	112	47	12		15	8
	西三河北部	61		9		1				1	1	5	5			10	12	5	5		1	6
	西三河南部東	64		5		4					1	4	5	1	3	8	17	10	4		2	
	西三河南部西	99		17	1	1		2		1	6	3	2		3	11	27	6	9		5	5
	東三河北部	9						1			1					1	5	1				
	東三河南部	54	3	22	2	1			1		1	1	2			6	7	2	2			4
	小計	18,792	424	5,480	138	240	14	461	240	140	2,439	1,581	1,859	175	446	1,022	1,733	522	185	87	1,125	481
県外	岐阜	296	1	101	2	4		4	2	1	20	6	15	3	14	40	25	5	16	2	19	16
	三重県	269	4	88	1	1		5	1	6	16	9	22	2	7	46	21	11	8		11	10
	静岡	35		6							2	1	2			7	12	3			1	1
	その他	267	7	30	8	3	1	1		1	8	6	9	2	7	8	107	31	13	2	14	9
	住所不定	17		6							1		2			3					5	
	小計	884	12	231	11	8	1	10	3	8	47	22	50	7	28	104	165	50	37	4	50	36
総計		19,676	436	5,711	149	248	15	471	243	148	2,486	1,603	1,909	182	474	1,126	1,898	572	222	91	1,175	517

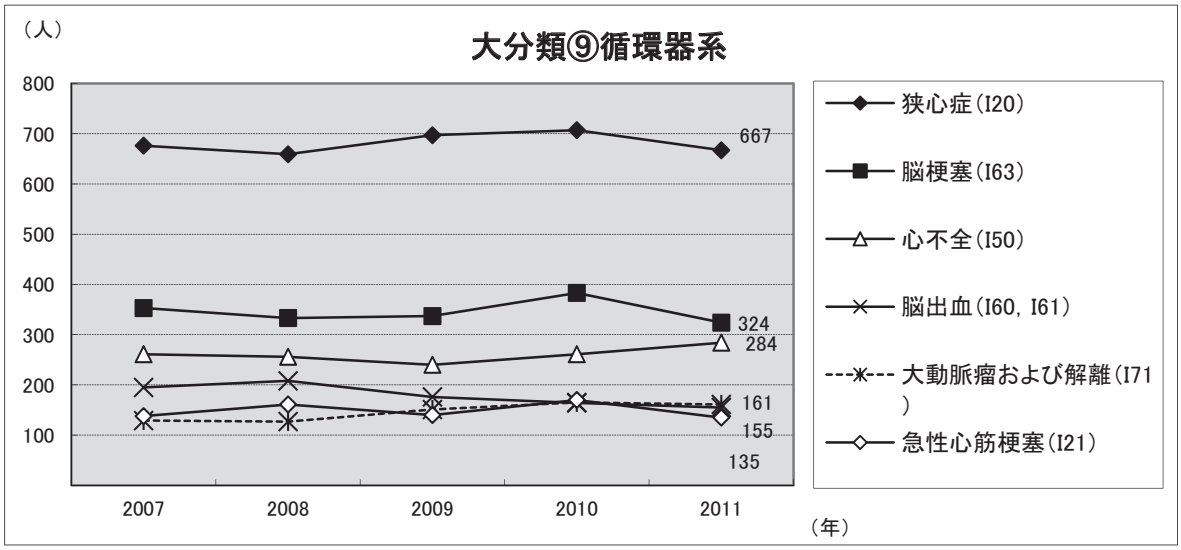
2次医療圏	地区	延人数
名古屋	千種区	223
	東区	142
	北区	298
	西区	1,394
	中村区	5,266
	中区	264
	昭和区	65
	瑞穂区	69
	熱田区	106
	中川区	2,343
	港区	297
	南区	106
	守山区	100
	緑区	112
	名東区	108
	天白区	69
海部	あま市	2,254
	愛西市	287
	蟹江町	217
	大治町	1,152
	津島市	456
	飛島村	6
	弥富市	82
尾張中部	清須市	1,107
	豊山町	15
	北名古屋市	249

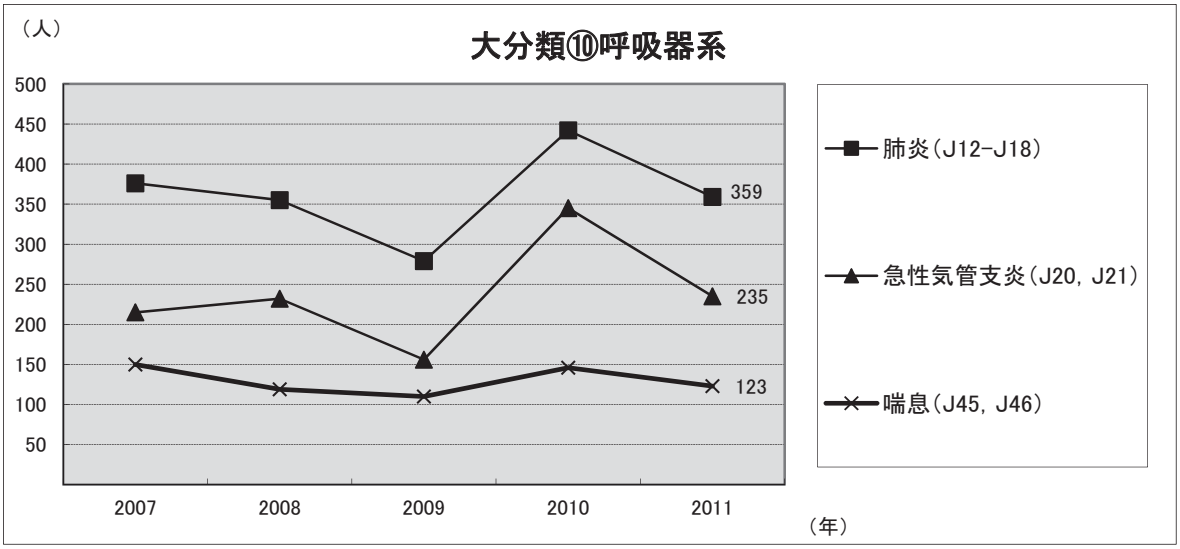


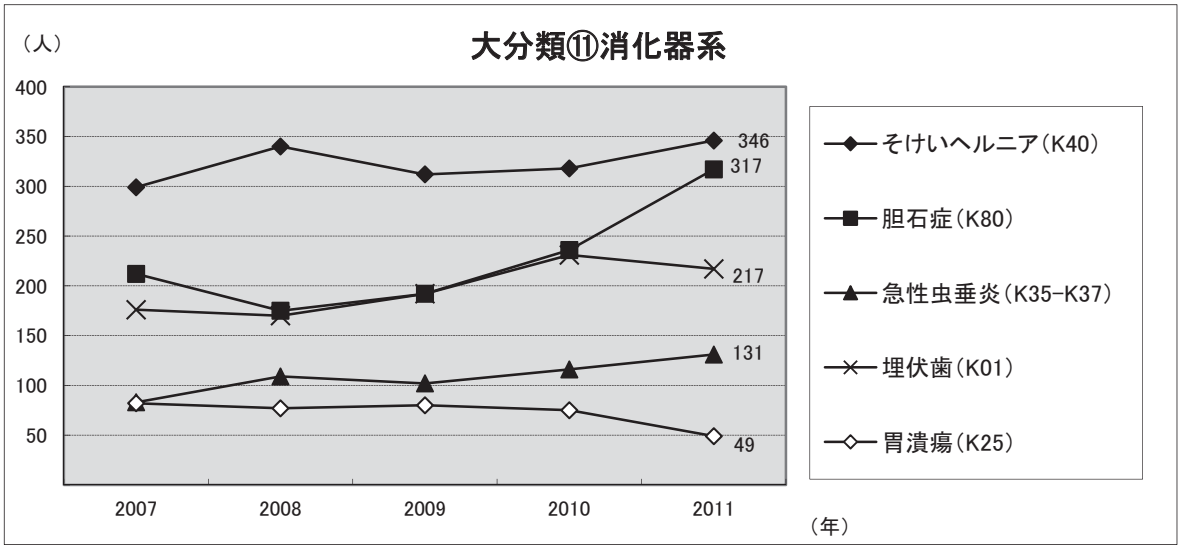


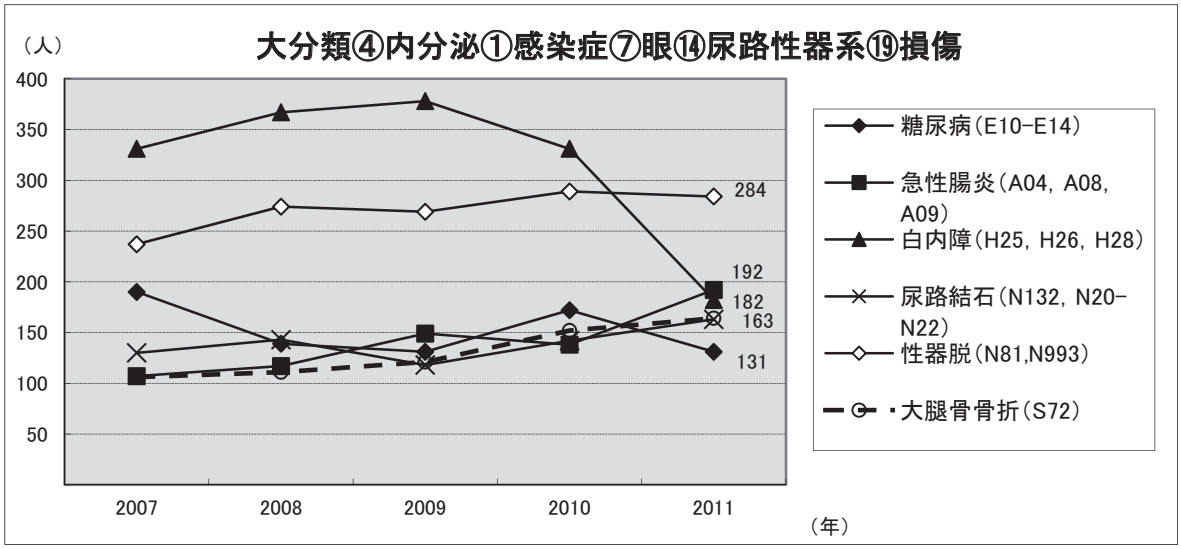
（４）主要疾患別退院患者数の推移（2007年～2011年）






大分類⑩呼吸器系
（人）
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
359
235
123
2007
2008
2009
2010
2011
（年）
肺炎（J12-J18）
急性気管支炎（J20, J21）
喘息（J45, J46）


大分類⑪消化器系
（人）
400
350
300
250
200
150
100
50
346
317
217
131
49
2007
2008
2009
2010
2011
（年）
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35-K37）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
（人）
400
350
300
250
200
150
100
50
284
192
182
163
131
2007
2008
2009
2010
2011
（年）
糖尿病（E10-E14）
急性腸炎（A04, A08, A09）
白内障（H25, H26, H28）
尿路結石（N132, N20-N22）
性器脱（N81,N993）
・大腿骨骨折（S72）

（5）診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段：患者数、下段：平均在院日数）

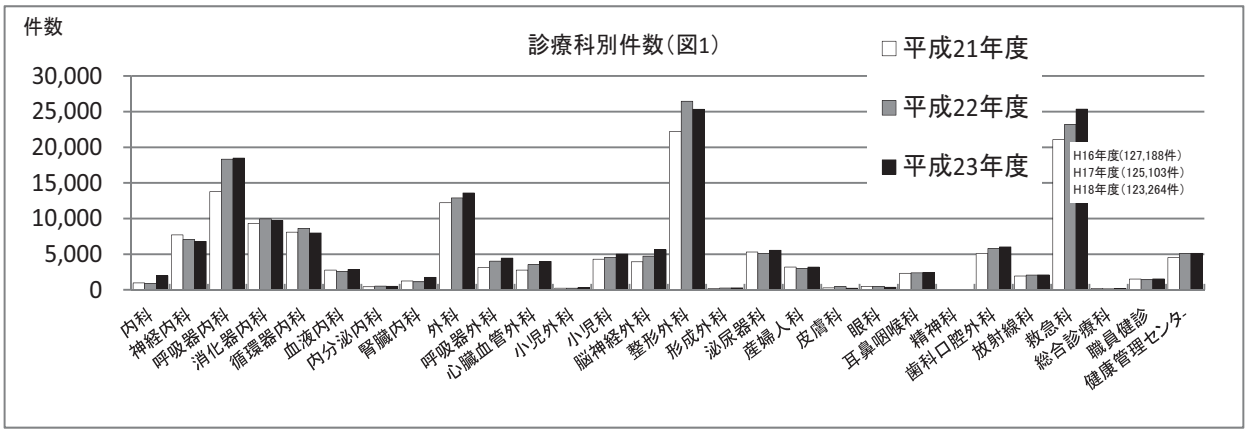
診療科	1病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科	A46 丹毒	1 79.0	E80 ポルフィリンおよびビリルビン代謝障害	1 841.0	M32 全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞＜SLE＞	1 106.0	I33 急性および亜急性心内膜炎	1 31.0	G03 その他および詳細不明の原因による髄膜炎	1 25.0
内 科	C80 部位の明示されない悪性新生物	3 15.3	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	1 15.0	C34 気管支および肺の悪性新生物	1 1.0	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	1 21.0	A41 その他の敗血症	1 11.0
化学療法内科	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	8 26.9	C80 部位の明示されない悪性新生物	8 20.5	C50 乳房の悪性新生物	4 5.0	C03 歯肉の悪性新生物	3 55.7	C20 直腸の悪性新生物	3 4.0
呼吸器内科	C34 気管支および肺の悪性新生物	673 22.5	J15 細菌性肺炎，他に分類されないもの	53 16.7	J18 肺炎，病原体不詳	52 16.0	J84 その他の間質性肺疾患	51 30.3	J69 固形物および液状物による肺臓炎	48 28.4
循環器内科	I20 狭心症	550 4.0	I50 心不全	226 19.6	I21 急性心筋梗塞	117 16.7	I25 慢性虚血性心疾患	101 3.3	I48 心房細動および粗動	39 4.6
消化器内科	D12 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物	358 2.3	C16 胃の悪性新生物	240 14.1	C22 肝および肝内胆管の悪性新生物	177 11.9	K80 胆石症	145 11.0	C25 膵の悪性新生物	98 23.2
神経内科	I63 脳梗塞	301 26.1	I61 脳内出血	78 27.5	G40 てんかん	43 16.7	G20 パーキンソン＜Parkinson＞病	41 29.1	G45 一過性脳虚血発作および関連症候群	27 6.3
血液内科	C92 骨髄性白血病	141 45.8	C83 びまん性非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫	104 30.6	C91 リンパ性白血病	73 44.7	D46 骨髄異形成症候群	73 31.4	C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	63 23.3
内分泌内科	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	80 15.5	E10 インスリン依存性糖尿病＜IDDM＞	14 12.8	E87 その他の体液，電解質および酸塩基平衡障害	12 11.8	A41 その他の敗血症	6 20.8	E05 甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］	4 18.5
腎臓内科	N18 慢性腎不全	102 19.0	N02 反復性および持続性血尿	53 3.9	N10 急性尿細管間質性腎炎	23 10.5	I50 心不全	21 21.3	N04 ネフローゼ症候群	20 34.0
一般消化器外科	C18 結腸の悪性新生物	218 16.6	C16 胃の悪性新生物	208 20.7	K40 そけい＜鼡径＞ヘルニア	190 2.7	K80 胆石症	171 9.7	K91 消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	114 11.1
血管外科	I83 下肢の静脈瘤	64 2.1	I71 大動脈瘤および解離	63 12.0	I70 アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	19 12.4	I74 動脈塞栓症および血栓症	11 11.0	I72 その他の動脈瘤	8 7.6
乳腺・内分泌外科	C50 乳房の悪性新生物	288 9.9	C73 甲状腺の悪性新生物	17 32.9	D05 乳房の上皮内癌	16 7.1	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	7 29.9	D70 無顆粒球症	7 6.3
呼吸器外科	C34 気管支および肺の悪性新生物	272 13.9	J93 気胸	57 12.4	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	28 11.0	S27 その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	17 9.5	D02 中耳および呼吸器系の上皮内癌	6 11.5
小児外科	K40 そけい＜鼡径＞ヘルニア	153 2.4	K35 急性虫垂炎	24 5.9	Q53 停留精巣＜睾丸＞	22 2.9	K42 臍ヘルニア	18 3.0	Q64 尿路系のその他の先天奇形	5 5.2
心臓血管外科	I20 狭心症	115 14.8	I35 非リウマチ性大動脈弁障害	72 16.4	I71 大動脈瘤および解離	69 25.1	I08 連合弁膜症	32 24.6	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	32 18.3
産婦人科	O70 分娩における会陰裂傷＜laceration＞	726 7.2	O34 既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのための母体ケア	154 9.6	Z31 妊娠促進管理	149 1.0	C54 子宮体部の悪性新生物	145 12.4	C56 卵巣の悪性新生物	142 16.7
小児科	P07 妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害，他に分類されないもの	363 39.5	J20 急性気管支炎	167 4.5	J96 呼吸不全，他に分類されないもの	144 7.1	A08 ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	97 4.2	J18 肺炎，病原体不詳	81 5.5
整形外科	S72 大腿骨骨折	163 21.0	Z47 その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケア	136 2.8	S52 前腕の骨折	109 5.2	M48 その他の脊椎障害	56 13.8	S82 下腿の骨折，足首を含む	56 18.6
脳神経外科	S06 頭蓋内損傷	148 19.1	I60 くも膜下出血	43 42.7	I61 脳内出血	31 40.6	I67 その他の脳血管疾患	28 13.7	C71 脳の悪性新生物	19 59.4
泌尿器科	C67 膀胱の悪性新生物	106 15.6	C61 前立腺の悪性新生物	103 9.8	N20 腎結石および尿管結石	73 3.6	N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	43 3.9	D09 その他および部位不明の上皮内癌	39 9.6
女性泌尿器科	N81 女性性器脱	232 6.6	N39 尿路系のその他の障害	65 3.0	N99 尿路性器系の処置後障害，他に分類されないもの	54 6.5	N20 腎結石および尿管結石	35 2.7	N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	11 6.2
耳鼻咽喉科	J35 扁桃およびアデノイドの慢性疾患	102 8.0	G47 睡眠障害	66 2.3	C32 喉頭の悪性新生物	54 27.0	J32 慢性副鼻腔炎	45 8.3	D11 大唾液腺の良性新生物	31 8.2
眼科	H25 老人性白内障	180 3.2	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	20 7.8	H35 その他の網膜障害	12 7.1	H50 その他の斜視	12 2.8	H02 眼瞼のその他の障害	6 2.2
皮膚科	L03 蜂巣炎	15 9.3	C44 皮膚のその他の悪性新生物	14 15.1	D04 皮膚の上皮内癌	11 7.2	L51 多形紅斑	8 21.8	D17 良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）	4 3.5
形成外科	D17 良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）	17 7.7	H02 眼瞼のその他の障害	13 3.9	L72 皮膚および皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	13 5.7	L91 皮膚の肥厚性障害	8 7.9	D22 メラニン細胞性母斑の良性新生物	7 4.6
歯科口腔外科	K01 埋伏歯	217 2.1	K05 歯肉炎および歯周疾患	46 2.1	K04 歯髄および根尖歯周組織の疾患	32 3.7	C03 歯肉の悪性新生物	25 26.0	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	20 20.4

診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科	B09 詳細不明の皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1 12.0	N10 急性尿細管間質性腎炎	1 12.0						
内 科	I46 心停止	1 11.0	M62 その他の筋障害	1 2.0	T42 抗てんかん薬，鎮静・催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒	1 2.0				
化学療法内科	C06 その他および部位不明の口腔の悪性新生物	2 46.0	C18 結腸の悪性新生物	2 3.5	C43 皮膚の悪性黒色腫	1 4.0	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	1 33.0		
呼吸器内科	J46 喘息発作重積状態	42 8.9	J93 気胸	21 20.3	J96 呼吸不全，他に分類されないもの	19 17.6	J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	18 15.9	C45 中皮腫	16 25.5
循環器内科	I49 その他の不整脈	38 17.1	I47 発作性頻拍(症)	35 7.9	T82 心臓および血管のプロステーシス，挿入物および移植片の合併症	33 8.2	I44 房室ブロックおよび左脚ブロック	30 16.7	I71 大動脈瘤および解離	29 14.9
消化器内科	C15 食道の悪性新生物	90 14.7	C18 結腸の悪性新生物	46 14.0	B18 慢性ウイルス肝炎	43 10.6	I98 他に分類される疾患における循環器系のその他の障害	42 10.5	K25 胃潰瘍	42 13.2
神経内科	G12 脊髄性筋萎縮症および関連症候群	25 26.8	G23 基底核のその他の変性疾患	25 29.0	G35 多発性硬化症	19 27.2	I69 脳血管疾患の続発・後遺症	19 20.4	G31 神経系のその他の変性疾患，他に分類されないもの	12 26.3
血液内科	C82 ろ＜濾＞胞性[結節性]非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫	32 21.3	Z52 臓器および組織の提供者＜ドナー＞	23 5.0	C85 非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他および詳細不明の型	22 22.6	C81 ホジキン＜Hodgkin＞病	19 14.5	D69 紫斑病およびその他の出血性病態	16 25.8
内分泌内科	C73 甲状腺の悪性新生物	3 36.0	E13 その他の明示された糖尿病	3 20.7	E22 下垂体機能亢進症	3 13.3	E23 下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	3 4.7	E80 ポルフィリンおよびビリルビン代謝障害	3 5.3
腎臓内科	A41 その他の敗血症	16 52.7	N39 尿路系のその他の障害	12 15.1	N17 急性腎不全	9 27.8	M32 全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞＜SLE＞	8 44.6	N03 慢性腎炎症候群	8 8.8
一般消化器外科	K35 急性虫垂炎	104 7.6	C20 直腸の悪性新生物	96 28.8	C15 食道の悪性新生物	64 20.7	C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	42 17.5	C22 肝および肝内胆管の悪性新生物	41 18.0
血管外科	T82 心臓および血管のプロステーシス，挿入物および移植片の合併症	3 34.0	I80 静脈炎および血栓(性)静脈炎	2 9.5	L03 蜂巣炎	2 4.5	T81 処置の合併症，他に分類されないもの	2 11.5	R02 え＜壊＞疽，他に分類されないもの	1 11.0
乳腺・内分泌外科	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	7 8.1	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	5 7.0	D35 その他および部位不明の内分泌腺の良性新生物	5 11.4	E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	5 7.8	E21 副甲状腺＜上皮小体＞機能亢進症およびその他の副甲状腺＜上皮小体＞障害	5 7.6
呼吸器外科	J85 肺および縦隔の膿瘍	6 13.8	J90 胸水，他に分類されないもの	5 19.0	D14 中耳および呼吸器系の良性新生物	4 9.0	J86 膿胸(症)	4 85.3	C37 胸腺の悪性新生物	3 40.3
小児外科	Q40 上部消化管のその他の先天奇形	4 5.0	S36 腹腔内臓器の損傷	3 9.7	K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの	2 6.5	A09 感染症と推定される下痢および胃腸炎	1 5.0	D12 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物	1 3.0
心臓血管外科	I21 急性心筋梗塞	15 22.9	I50 心不全	10 25.2	T81 処置の合併症，他に分類されないもの	6 26.3	D15 その他および部位不明の胸腔内臓器の良性新生物	4 10.3	I33 急性および亜急性心内膜炎	4 29.3
産婦人科	D25 子宮平滑筋腫	140 8.7	C53 子宮頚(部)の悪性新生物	119 18.8	O47 偽陣痛	99 21.4	O60 早産	98 20.1	O02 受胎のその他の異常生成物	95 2.5
小児科	J15 細菌性肺炎，他に分類されないもの	76 5.6	C91 リンパ性白血病	68 31.0	J21 急性細気管支炎	61 5.3	J46 喘息発作重積状態	55 5.5	A09 感染症と推定される下痢および胃腸炎	52 4.0
整形外科	S32 腰椎および骨盤の骨折	55 19.9	M16 股関節症[股関節部の関節症]	54 19.7	S42 肩および上腕の骨折	46 7.2	M17 膝関節症[膝の関節症]	44 21.1	M51 その他の椎間板障害	44 10.5
脳神経外科	I63 脳梗塞	15 42.5	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	11 34.6	D32 髄膜の良性新生物	9 21.2	G40 てんかん	9 9.2	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	7 4.9
泌尿器科	Z03 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価	38 2.3	N40 前立腺肥大(症)	27 5.2	N10 急性尿細管間質性腎炎	24 17.3	C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	22 42.5	C65 腎盂の悪性新生物	16 15.4
女性泌尿器科	D09 その他および部位不明の上皮内癌	8 6.8	N10 急性尿細管間質性腎炎	8 9.5	C67 膀胱の悪性新生物	7 16.3	C61 前立腺の悪性新生物	6 4.7	N30 膀胱炎	5 4.2
耳鼻咽喉科	H71 中耳真珠腫(症)	29 14.5	J38 声帯および喉頭の疾患，他に分類されないもの	25 7.4	J34 鼻および副鼻腔のその他の障害	24 8.3	H91 その他の難聴	23 11.3	C12 梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物	22 22.5
眼科	H40 緑内障	4 4.8	H43 硝子体の障害	3 6.0	S05 眼球および眼窩の損傷	3 3.3	Q15 眼のその他の先天奇形	2 18.0	H33 網膜剥離および裂孔	2 5.5
皮膚科	L27 摂取物質による皮膚炎	4 8.0	T24 股関節部および下肢の熱傷および腐食，足首および足を除く	4 16.0	A46 丹毒	3 5.3	B02 帯状疱疹[帯状ヘルペス]	3 7.7	L50 じんま＜蕁麻＞疹	3 2.7
形成外科	C44 皮膚のその他の悪性新生物	6 16.7	L05 毛巣のう＜嚢＞胞	6 12.0	Q17 耳のその他の先天奇形	5 6.8	D23 皮膚のその他の良性新生物	4 3.8	L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍	4 23.3
歯科口腔外科	K09 口腔部のう＜嚢＞胞，他に分類されないもの	20 4.4	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	19 6.8	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	9 19.1	L03 蜂巣炎	9 5.8	D16 骨および関節軟骨の良性新生物	8 5.3

5. 放射線部

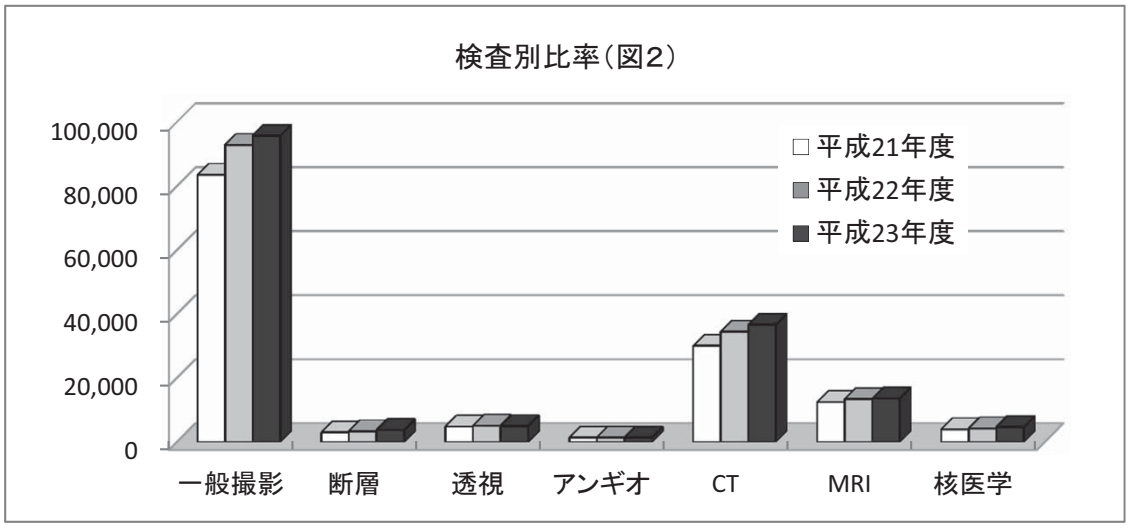
（1）平成23年度診療科別被検者数（外来＋入院）

検査種	一般撮影			透視撮影			オルソ／断層撮影			血管／心カテ			CT		
科名／年度	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23
内科	596	522	971	4	1	0	2	0	0	0	0	0	331	344	904
神経内科	1,989	1,652	1,478	10	8	3	0	0	0	0	40	33	2,176	2,305	2,269
呼吸器内科	9,747	12,991	13,330	33	36	27	1	0	0	1	0	2	3,083	4,245	4,092
消化器内科	3,342	3,094	2,666	1,106	998	873	0	0	0	79	82	107	3,895	4,588	4,885
循環器内科	5,138	5,464	4,868	2	0	0	0	0	0	1,111	1,135	1,049	1,435	1,455	1,437
血液内科	1,242	1,131	1,278	130	135	192	13	13	21	0	0	0	991	916	874
内分泌内科	154	207	156	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	167	214
腎臓内科	811	732	1,025	10	6	8	0	0	1	21	1	2	365	348	638
外科	7,444	8,037	8,681	739	906	898	0	0	0	0	28	15	2,756	2,692	2,639
呼吸器外科	2,375	2,972	3,297	1	1	3	0	0	0	0	0	0	574	668	770
心臓血管外科	2,047	2,464	2,831	2	8	0	0	0	0	1	1	10	706	1,005	1,109
小児外科	220	228	285	3	3	9	0	0	0	0	0	0	2	5	10
小児科	3,102	3,505	3,865	48	39	48	16	6	14	37	16	14	341	310	346
脳神経外科	477	536	663	1	1	6	0	0	0	70	57	60	1,886	2,388	2,905
整形外科	18,716	22,382	21,630	315	320	353	0	0	1	0	1	2	1,104	1,439	1,261
形成外科	114	136	159	0	0	0	4	0	3	0	0	0	61	61	56
泌尿器科	3,744	3,368	3,673	195	166	212	0	0	0	1	3	1	1,112	1,344	1,337
産婦人科	2,233	1,936	1,893	48	42	68	0	0	0	4	1	2	482	538	614
皮膚科	174	279	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	117	74
眼科	391	392	301	0	0	1	0	1	0	0	0	0	31	12	29
耳鼻咽喉科	896	794	738	62	59	24	12	6	4	0	0	0	845	944	1,036
精神科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科口腔外科	1,273	1,477	1,458	118	133	90	2,891	3,306	3,603	0	0	0	600	690	708
放射線科	10	13	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	928	1,010	1,055
救急科	13,548	14,667	16,392	36	52	36	68	63	103	86	71	82	6,022	6,844	7,289
総合診療科	53	42	69	0	0	1	1	0	0	0	0	0	93	63	93
職員健診	1,503	1,416	1,519	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康管理センター	2,160	2,360	2,356	1,970	2,175	2,185	1	7	4	0	0	0	4	1	0
合計	83,499	92,797	95,695	4,833	5,089	5,037	3,010	3,402	3,754	1,411	1,436	1,379	30,046	34,499	36,645



MRI			核医学(RI)			核医学(PET)			合計			検査種
H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	科名／年度
15	23	45	10	4	27	10	11	36	968	905	1,983	内科
3,165	2,668	2,629	368	378	381	5	6	6	7,713	7,057	6,799	神経内科
485	618	562	28	20	20	400	418	461	13,778	18,328	18,494	呼吸器内科
699	962	887	15	9	11	194	223	307	9,330	9,956	9,736	消化器内科
98	89	114	292	476	510	16	8	0	8,092	8,627	7,978	循環器内科
106	90	95	7	6	4	280	294	391	2,769	2,585	2,855	血液内科
61	92	72	64	60	53	1	2	1	427	528	496	内分泌内科
33	40	87	4	1	7	0	0	2	1,244	1,128	1,770	腎臓内科
247	171	312	89	88	117	956	974	919	12,231	12,896	13,581	外科
87	174	148	11	9	4	86	196	227	3,134	4,020	4,449	呼吸器外科
17	47	34	1	4	8	1	0	0	2,775	3,529	3,992	心臓血管外科
0	0	2	0	0	0	0	0	0	225	236	306	小児外科
661	629	663	64	34	63	19	20	12	4,288	4,559	5,025	小児科
1,485	1,701	1,936	22	39	28	7	2	13	3,948	4,724	5,611	脳神経外科
2,075	2,299	2,067	21	8	10	6	9	5	22,237	26,458	25,329	整形外科
14	57	52	0	0	0	0	0	1	193	254	271	形成外科
111	139	188	137	82	123	5	9	18	5,305	5,111	5,552	泌尿器科
403	457	544	6	0	7	31	19	60	3,207	2,993	3,188	産婦人科
24	46	44	0	4	0	1	2	3	275	448	226	皮膚科
55	46	31	0	0	0	0	0	0	477	451	362	眼科
322	432	487	0	5	2	183	151	176	2,320	2,391	2,467	耳鼻咽喉科
0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	精神科
39	44	35	2	3	2	164	139	140	5,087	5,792	6,036	歯科口腔外科
738	799	781	3	4	5	260	256	242	1,940	2,082	2,090	放射線科
1,304	1,481	1,463	0	2	0	0	0	0	21,064	23,180	25,365	救急科
45	34	36	15	6	2	4	4	0	211	149	201	総合診療科
0	0	0	0	0	0	0	0	6	1,503	1,416	1,525	職員健診
192	286	302	0	0	0	197	275	271	4,524	5,104	5,118	健康管理センター
12,481	13,425	13,617	1,159	1,242	1,384	2,826	3,018	3,297	139,265	154,908	160,808	合計

(2)年度別検査項目別件数



	平成21年度	平成22年度	平成23年度
一般撮影	83,499	92,797	95,695
断層	3,010	3,402	3,754
透視	4,833	5,089	5,037
アンギオ	1,411	1,436	1,379
CT	30,046	34,499	36,645
MRI	12,481	13,425	13,617
核医学	3,985	4,260	4,681

(3)年度別放射線治療患者数

	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
放射線治療（患者数）	ライナック治療(RT)	521	545	532
	全身照射(TBI)	44	36	42
	ラルストロン(RALS)	0	0	0
	術中照射(IOR)	0	0	0
	全身リンパ節照射(TLI)	1	1	1

６．病理部

（1）診療科別生検検体数

診療科名	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
内科	9	23	11
消化器内科	2,960	3,909	3,842
血液内科	974	1,683	1,714
呼吸器内科	303	386	418
循環器内科	13	11	9
内分泌内科	0	1	0
神経内科	16	2	1
腎臓内科	5	2	5
小児科	289	687	778
一般消化器外科	851	953	907
小児外科	28	20	45
心臓血管外科	86	58	42
呼吸器外科	333	444	435
乳腺内分泌外科	187	261	355
産婦人科	1,261	1,406	1,465
泌尿器科	309	269	285
女性泌尿器科	57	87	87
脳神経外科	92	108	138
整形外科	124	124	117
皮膚科	998	1,153	778
形成外科	220	240	284
耳鼻咽喉科	384	436	471
歯科口腔外科	462	549	620
血管外科	0	48	35
眼科	12	8	3
救急科	8	6	8
総合診療科	4	2	4
健診部			0
化学療法内科			10
合計	9,985	12,885	12,867

（2）病理特殊検査検体数

特殊検査	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
免疫染色	2, 829	3, 170	3, 471
FISH・遺伝子検査	1, 944	4, 585	5, 139

（3）コンサルテーション症例数

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
コンサルテーション症例数	371 件	414 件	463 件

（4）院外受託検査

受託検査	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
骨髄病理検査	1,063 件	1,090 件	1,169
テレパソロジー検査	17 件	13 件	14 件
遺伝子検査	2	2 件	22 件

（5）細胞診件数（検体種別検体数）

細胞診件数	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
一般細胞診	4,434 件	4,692 件	4,533 件
婦人科細胞診	4,418 件	4,442 件	4,377 件
ドック細胞診	678 件	783 件	721 件
合計	9,530 件	9,917 件	9,631 件

（6）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

診療科名	H21 年度	H22 年度	H23 年度
一般消化器外科	1	0	0
血液内科	3	2	3
呼吸器内科	8	8	16
循環器内科	4	2	3
小児科	7	2	2
消化器内科	2	3	1
神経内科	9	6	6
呼吸器外科	0	2	0
内分泌内科	0	1	0
産婦人科	1	1	0
心臓血管外科	0	0	0
脳神経外科	2	1	1
腎臓内科	2	4	3
整形外科	0	0	0
耳鼻科	0	1	0
救急科	0	1	2
合計	39	34	37

月別検体数

	H21 年度	H22 年度	H23 年度
4 月	3	1	8
5 月	7	2	3
6 月	2	4	1
7 月	3	5	2
8 月	3	5	3
9 月	1	2	2
10 月	2	1	5
11 月	5	4	2
12 月	3	3	2
1 月	3	1	2
2 月	4	5	2
3 月	3	1	5
合計	39 件	34	37

7. 輸血部

（1）平成23年度検査年報集計

		件 数			点 数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
輸血管理	入院	15,591	14,182	9.9	302,919	290,393	4.3
	外来	14,724	14,511	1.5	321,195	315,509	1.8
	他	12	34	-64.7		－	－
	小計	30,327	28,727	5.6	624,114	605,902	3.0
分子細胞検査	入院	1,038	992	4.6	1,001,900	907,650	10.4
	外来	495	581	-14.8	311,740	380,940	-18.2
	小計	1,533	1,573	-2.5	1,313,640	1,288,590	1.9
合 計	入院	16,629	15,174	9.6	1,304,819	1,209,023	7.9
	外来	15,219	12,805	18.9	632,935	622,030	1.8
	他	12	8	50.0	－	－	－
総 合 計		31,860	30,300	5.1	1,937,754	1,894,492	2.3

上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）

件数	点数
4,304	58,022

加算・管理料

	件 数			点 数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比(%)
輸血管理料Ⅰ	2,007	575	2,582	516,400	451,800	14.3
不規則抗体検査加算	1,854	535	2,389	477,800	423,600	12.8
輸血に伴う血液型加算	899	43	942	45,216	36,192	24.9
総 合 計	3,861	1,110	5,913	1,039,416	911,592	14.0

（2）平成23年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

血液製剤総購入額	**453,819,770 円の**	**0.07%**
血液製剤総使用数	**12,105 バックの**	**0.13%**

品 名	略 号	廃棄数(本)	薬 価	合 計(円)	処理日	廃棄理由
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－1	2	8,618	17,236	4月22日	移植後、異型輸血依頼まちがいの為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	4月26日	OPE後病棟にて未使用の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	6月7日	OPE後病棟にて未使用の為
照射濃厚血小板-LR「日赤」	IrPC-LR-10	1	77,270	77,270	6月24日	使用時ロケット針挿入部を破損した為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	7月25日	OPE後病棟にて未使用の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	8月5日	有効期限切れの為
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-1	1	8,706	8,706	8月19日	出庫後出血改善の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－1	1	8,618	8,618	9月15日	病棟使用時に破損の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	9月26日	10単位出庫後に副作用の為未使用
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	10月10日	有効期限切れの為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	10月22日	OPE後病棟にて未使用の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－1	1	8,618	8,618	11月9日	OPE中病棟へ出庫後、未使用の為
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	12月9日	使用時ロケット針挿入部を破損した為
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-Ap	1	22,961	22,961	1月24日	スタッフが落下して破損
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	IrRCC-LR－2	1	17,234	17,234	2月9日	K吸着F使用時ロケット針挿入部破損
総 計		16		298,515		

（3）平成23年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）

造血幹細胞移植関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	53	62	42	57	42	52	55	56	57	52	65	60	653
PBSC保存	4	1	0	4	0	2	4	2	2	1	1	3	24
ABMT保存	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
DLI保存	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4
CD34測定	11	7	4	15	5	8	12	12	8	10	6	19	117
PBSC輸注	1	1	1	0	1	1	1	2	1	3	0	2	14
ABMT輸注	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CBSC輸注	3	1	2	3	0	2	2	2	1	0	2	3	21
DLI輸注	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	6
MCS細胞処理	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	6	7	22
合　計	74	72	49	81	48	65	74	74	75	72	84	96	864

	移植症例数				保険点数小計
	内科	小児科	合計	保険点数	
血縁者間骨髄移植	1	4	5	65,600	328,000
非血縁者間骨髄移植	19	3	22	65,600	1,443,200
同種末梢血幹細胞移植	8	0	8	65,600	524,800
自家末梢血幹細胞移植	8	1	9	30,000	270,000
非血縁間末梢血幹細胞移植	0	0	0	65,600	0
臍帯血	12	11	23	44,300	1,018,900
自家骨髄移植	0	0	0	25,000	0
骨髄採取術	11	11	22	19,200	422,400
合　計	59	30	89	380,900	4,007,300

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	3	750	2,250
	2回目以降	3	650	1,950
合　計				4,200

	血縁	非血縁	合計	保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球採取	3	2	5	9,850	49,250

（4）平成23年度成分採血室稼動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
自己血採取	0	2	3	5	5	3	4	3	0	5	3	4	37
末梢血幹細胞採取	4	1	0	4	0	2	4	2	2	2	1	3	25
骨髄濃縮	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	6
リンパ球採取	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4
果粒球採取	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
バンク確認検査	5	3	2	3	2	3	4	4	2	2	3	3	36
最終同意	0	1	2	1	0	0	1	1	3	0	0	0	9
術前検査	3	1	6	5	1	2	3	3	6	5	3	5	43
術後検診	0	0	8	1	5	5	2	0	2	2	1	3	29
骨髄引き渡し	0	0	0	2	3	2	1	1	2	1	2	2	16
HLA検査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合　計	13	10	28	21	17	17	19	14	18	18	15	22	212

8. 薬剤部

（1） 外来患者待ち時間実態調査

時間帯	平均待ち時間（分）	
	22 年度	23 年度
10:00	27.3	30.6
11:00	32.2	38.7
12:00	33.7	36.8
13:00	31.6	35.6
14:00	24.0	28.5
15:00	24.9	29.1
16:00	22.2	28.2

（2） 入院・外来処方せん枚数

	入院		外来		合計総枚数	
	22 年度	23 年度	22 年度	23 年度	22 年度	23 年度
月平均枚数	11,699	13,480	18,756	18,633	30,455	32,113
年間合計枚数	140,382	161,760	225,071	223,591	365,453	385,351

（3） 入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数	
	22 年度	23 年度
月平均人数（名）	506.5	624.8
月平均件数（件）	789.9	937.3
年間合計人数（名）	6,078	7,497
年間合計件数（件）	9,479	11,248

（4） 妊娠と薬外来の相談件数

	相談件数(件)	
	22 年度	23 年度
妊娠前	10	8
妊娠後	9	10

（5） 薬学生実務実習受け入れ人数

	受け入れ人数(人)	
	22 年度	23 年度
第一期	5	5
第二期	5	5
第三期	5	5

（6） 抗がん剤調製延患者数

	外来	入院
延調製患者数(人)	5,474	7,967

（7） 新規の治験・製造販売後調査受託件数

	新規の受託件数(件)	
	22 年度	23 年度
治　験	9	13
製造販売後調査	43	32
臨床件数	0	1

9. 検査部

(1) 平成23年度検査種別稼動集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
血液	入院	138,441	129,840	6.6	4,724,785	4,283,014	10.3
	外来	345,524	323,859	6.7	6,798,585	6,336,993	7.3
	その他	6,179	7,525	-17.9	-	-	-
	時間外入院	66,681	59,774	11.6	1,816,458	1,582,072	14.8
	時間外外来	30,651	29,131	5.2	862,684	683,317	26.2
	小計	587,476	550,129	6.8	14,202,512	12,885,396	10.2
一般	入院	23,589	21,482	9.8	741,447	612,165	21.1
	外来	73,722	69,945	5.4	2,558,090	2,163,645	18.2
	その他	11,128	10,662	4.4	-	-	-
	時間外入院	1,716	1,520	12.9	80,816	45,061	79.3
	時間外外来	8,052	5,662	42.2	785,543	450,627	74.3
	小計	118,207	109,271	8.2	4,165,896	3,271,498	27.3
生化学	入院	780,492	747,297	4.4	12,934,037	12,092,501	7.0
	外来	1,619,621	1,519,990	6.6	14,884,325	14,820,570	0.4
	その他	78,127	69,874	11.8	-	-	-
	時間外入院	361,656	361,869	-0.1	2,939,618	2,918,685	0.7
	時間外外来	323,660	285,772	13.3	2,512,282	2,377,293	5.7
	小計	3,163,556	2,984,802	6.0	33,270,262	32,209,049	3.3
薬物血中濃度	入院	3,538	3,317	6.7	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	1,835	1,723	6.5			
	その他	-	-	-			
	小計	5,373	5,040	6.6			
免疫血清	入院	30,494	26,955	13.1	4,326,022	3,536,534	22.3
	外来	132,334	114,801	15.3	15,197,656	12,163,219	24.9
	その他	12,226	12,580	-2.8	-	-	-
	時間外入院	6,409	5,505	16.4	991,156	726,357	36.5
	時間外外来	12,564	9,036	39.0	1,434,493	888,934	61.4
	小計	194,027	168,877	14.9	21,949,327	17,315,044	26.8
細菌	入院	71,717	63,653	12.7	4,602,752	4,255,605	8.2
	外来	31,282	31,734	-1.4	1,725,148	2,014,817	-14.4
	その他	785	713	10.1	-	-	-
	時間外入院	0	46	-100.0	0	7,115	-100.0
	時間外外来	0	357	-100.0	0	53,365	-100.0
	小計	103,784	96,503	7.5	6,327,900	6,330,902	0.0

☆その他の内訳(心カテ・ECG、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等)

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
脳波	入院	967	964	0.3	645,150	650,050	-0.8
	外来	1,370	1,240	10.5	1,153,950	1,051,400	9.8
	小計	2,337	2,204	6.0	1,799,100	1,701,450	5.7
筋電図	入院	706	731	-3.4	567,930	537,880	5.6
	外来	1,215	1,129	7.6	878,570	806,410	8.9
	小計	1,921	1,860	3.3	1,446,500	1,344,290	7.6
心電図	入院	6,518	6,300	3.5	1,155,120	1,080,080	6.9
	外来	22,999	22,220	3.5	4,677,890	4,520,070	3.5
	その他	1,963	2,011	-2.4	-	-	-
	小計	31,480	30,531	3.1	5,833,010	5,600,150	4.2
心大血管リハビリ	入院	186	173	7.5	82,600	83,150	-0.7
	外来	4,174	4,627	-9.8	2,586,350	2,862,750	-9.7
	小計	4,360	4,800	-9.2	2,668,950	2,945,900	-9.4
肺機能	入院	1,133	1,399	-19.0	101,540	126,185	-19.5
	外来	7,035	6,487	8.4	577,420	523,490	10.3
	その他	384	359	7.0	-	-	-
	小計	8,552	8,245	3.7	678,960	649,675	4.5
超音波	入院	7,247	7,134	1.6	5,891,910	5,912,990	-0.4
	外来	15,683	14,641	7.1	10,098,870	9,469,270	6.6
	その他	2,185	2,222	-1.7	-	-	-
	小計	25,115	23,997	4.7	15,990,780	15,382,260	4.0
ドック(ECG・聴力)検査	その他	4,810	4,870	-1.2	-	-	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	1,065,028	1,009,245	5.5	35,773,293	33,170,154	7.8
	外来	2,256,794	2,112,396	6.8	61,136,854	56,732,634	7.8
	その他	117,787	110,816	6.3	-	-	-
	時間外入院	436,462	428,714	1.8	5,828,048	5,279,290	10.4
	時間外外来	374,927	329,958	13.6	5,595,002	4,453,536	25.6
	合計	4,250,998	3,991,129	6.5	108,333,197	99,635,614	8.7

（2）平成23年度判断料

1. 包括前後

保険点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	17,326	14,583	589,084	495,822	-15.8
125	血液学的判断料	101,106	87,991	12,638,250	10,998,875	-13.0
144	生化学的判断料　Ⅰ	100,229	86,683	14,432,976	12,482,352	-13.5
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	24,489	21,252	3,526,416	3,060,288	-13.2
144	免疫血清学的判断料	67,049	54,868	9,655,056	7,900,992	-18.2
150	微生物学的判断料	13,008	8,004	1,951,200	1,200,600	-38.5
150	病理学的判断料	5,718	5,714	857,700	857,100	-0.1
140	呼吸機能学的判断料	3,351	3,018	469,140	422,520	-9.9
140	脳波検査判断料	2,104	1,555	294,560	217,700	-26.1
140	神経・筋検査判断料	322	310	45,080	43,400	-3.7
	合計	334,702	283,978	44,459,462	37,679,649	-15.2

2. 包括後前年比

保険点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	14,583	13,956	495,822	474,504	4.5
125	血液学的判断料	87,991	85,214	10,998,875	10,651,750	3.3
144	生化学的判断料　Ⅰ	86,683	83,502	12,482,352	12,024,288	3.8
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	21,252	20,550	3,060,288	2,959,200	3.4
144	免疫血清学的判断料	54,868	50,756	7,900,992	7,308,864	8.1
150	微生物学的判断料	8,004	8,836	1,200,600	1,325,400	-9.4
150	病理学的判断料	5,714	5,946	857,100	891,900	-3.9
140	呼吸機能学的判断料	3,018	2,897	422,520	405,580	4.2
140	脳波検査判断料	1,555	1,417	217,700	198,380	9.7
140	神経・筋検査判断料	310	314	43,400	43,960	-1.3
	合計	283,978	273,388	37,679,649	36,283,826	3.8

（3）平成23年度検査加算・管理料(検査部)

1. 包括前

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	1,426	1,383	2,809	670,490	651,360	1,321,850
280	薬剤初回算定月加算	260	132	392	72,800	36,960	109,760
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	108	0	108	295,920	0	295,920
20	血液化学入院初回加算	10,840		10,840	216,800		216,800
10	外来迅速検体検査加算	10,675	362,315	372,990	106,750	3,623,150	3,729,900
110	時間外緊急院内検査加算	1,026	5,365	6,391	112,860	590,150	703,010
500	検体検査管理加算Ⅳ	17,981		17,981	8,990,500		8,990,500
40	検体検査管理加算Ⅰ		99,332	99,332		3,973,280	3,973,280
	総合計	42,316	468,527	510,843	10,466,120	8,874,900	19,341,020

2. 包括後

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	912	1,319	2,231	428,910	621,010	1,049,920
280	薬剤初回算定月加算	260	132	392	72,800	36,960	109,760
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	108	0	108	295,920	0	295,920
20	血液化学入院初回加算	834		834	16,680		16,680
10	外来迅速検体検査加算	1,195	362,315	363,510	11,950	3,623,150	3,635,100
110	時間外緊急院内検査加算	124	5,337	5,461	13,640	587,070	600,710
500	検体検査管理加算Ⅳ	2,971		2,971	1,485,500		1,485,500
40	検体検査管理加算Ⅰ		99,332	99,332		3,973,280	3,973,280
	総合計	6,404	468,435	474,839	2,325,400	8,841,470	11,166,870

１０．看護部

（１）看護部の理念

赤十字の看護師としておひとりおひとりの患者さんを大切にした看護をめざします

（２）基本方針

１．安全で安楽な看護技術を提供します
２．継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．他部門と協動し、病院の健全な運営に取り組みます
５．救護活動や赤十字の講習会の普及に取り組みます

（３）看護部目標

Ｉ．インシデントの再発を防止する

（４）専門分野と人数

平成２３年７月現在

専門看護師	
精神看護専門看護師	服部希恵

認定看護師	
皮膚・排泄ケア看護認定看護師	伊藤真粧美　福山直美
集中ケア認定看護師	渡辺美佐子　秋江百合子
がん化学療法看護認定看護師	濱嶋なぎさ　天野真由美　大路小千代
新生児集中ケア認定看護師	平岩美緒　渡辺綾子
緩和ケア認定看護師	山田陽子
救急看護認定看護師	安藤俊子　柚木さよ
摂食・嚥下障害看護認定看護師	山本利恵子
感染管理認定看護師	高坂久美子　小澤賀子
手術看護認定看護師	加納朋子
がん性疼痛看護認定看護師	前田みゆき

その他	
認定看護管理者	小森和子　坂之上ひとみ　澄川美智 園田玲子　真野真紀子
ＥＴ看護師	園田玲子

(5)看護部教育研修実績一覧

開催月	研修会・勉強会・実践委員会	開催期日	参加人数	時間内・外	対　象	担当委員会
4月	新人看護職員採用時研修会	4月1日～18日(金～月)	104名×23項目	時間内	新入看護職員	看護部企画運営プロジェクト
	病院理念・病院基本方針、 赤十字の組織、 個人情報保護法 処務規定、倫理規定、就業規則、福利厚生、給与について ビジネスマナー研修会、防犯対策について、薬剤部について	1日(金)	104名	時間内	新入看護職員	病院(人事課)
	医療倫理と医療安全、 院内感染対策について 看護部について、医療情報システムの概要、放射線障害防止対策 病診連携について、医療社会事業部について 労働組合について	4日(月)	104名	時間内	新入看護職員	病院(人事課)
	赤十字のしくみと活動	5日(火)	101名	時間内	新入看護職員	愛知県支部
	オリエンテーション、自己紹介、身嗜みとマナー、看護部紹介、 看護職員に望むこと、新入看護職員の教育体制と教育プログラム	6日(水)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	看護倫理、業務管理 看護基準手順、救命救急処置技術、輸液に関する基礎知識①・②	7日(木)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	臨床での体験見学①、情報管理①、労務管理、 診療の補助業務関連技術① (輸液ポンプ・シリンジポンプ・輸液の管理 先輩看護師からのメッセージ、書類の記入他	8日(金)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	臨床での体験見学①、情報管理①、労務管理、 静脈注射に関する研修 (採血・翼状針による点滴静脈注射) 先輩看護師からのメッセージ、書類の記入他	11日(月)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	日常生活援助技術(活動・休息援助技術・排泄の援助技術 清潔・衣生活援助技術、看護技術を提供するということ)	12日(火)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	臨床での体験見学②、情報管理② 診療の補助に関する基礎知識② (インシュリン・麻薬・KCL) 安全確保の技術①	13日(水)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	臨床での体験見学②、情報管理②、安全確保の技術② メンタルヘルス、語り合う会	14日(木)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
	情報管理③ 電子カルテ操作 診療の補助業務関連技術③ (筋肉注射)	15日・18日(金・月)	104名	時間内	新入看護職員	看護部
5月	感染防止研修会「注意すべき病原体とその予防策」	13日・31日(金・火)	67名	時間内	レベルⅢ以上	診療の補助業務関連技術教育委員会
	褥瘡勉強会「スキンナースの役割他」	18日(水)	51名	時間外	レベルⅢ	病院 褥瘡対策チーム
	「抗がん剤の安全な取扱い」	24 日(火)	89名	時間外	新人・レベルⅠ	病院 癌化学療法委員会
	ICM研修会	25 日(水)	25名	時間内	各看護単位のインフェクションコントロールマネジャー(ICM)	病院 院内感染防止対策委員会(ICC)
	(経験者担当)新人指導者フォロアップ①	26日(木)	26名	時間内	経験者担当新人指導者(レベルⅡ以上)	新人レベル教育委員会
	看護助手・介護士研修会 ①	20日・24日(金・火)	46・52名	時間内	看護助手・介護士	看護部
	看護事務研修会 ①	27日(金)	20名	時間内	看護事務	看護部
6月	フィジカルアセスメント<呼吸の成り立ち> ①	2日・3日・9日・27日 (木・金・木・月)	101名	時間内	新入看護職員	診療の補助業務関連技術教育委員会
	BLS/AED講習会	2日・3日・9日・27日 (木・金・木・月)	103名	時間内	新入看護職員	ICLS普及委員会
	(新人担当)新人指導者フォロアップ①	3日(金)	23名	時間内	新人担当新人指導者(レベルⅡ以上)	新人レベル教育委員会
	プリセプターシップ振り返りの会	7日・10日 (火・金)	27・34名	時間内	平成23年度実地指導者(プリセプター)レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	心電図 Ⅱ	10日(金)	45名	時間内	レベルレベルⅠ～Ⅱ 30名	診療の補助業務関連技術教育委員会
	経験者語り合う会 Ⅱ	14日(火)	13名	時間内	平成23年度新入看護職員(経験者)	看護部
	褥瘡勉強会「褥瘡ケア選択基準他」	14日(火)	80名	時間外	レベルⅡ・Ⅲ 以上	病院 褥瘡対策チーム
	(経験者担当)OJTリーダーフォロアップ①	23日(木)	27名	時間内	経験者担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	新人レベル教育委員会
	「研究のつどい」	28 日(火)	12名	時間内	希望者	看護研究委員会
	「抗がん剤の重篤な副作用(過敏症、血管外漏出)」	24 日(火)	64名	時間外	新人・レベルⅠ	病院 癌化学療法委員会
7月	(新人担当)OJTリーダーフォロアップ①	1日(金)	22名	時間内	平成23年度実地指導者(OJTリーダー)レベルⅢ以上	新人レベル教育委員会
	平成23年度リーダーシップ研修会	4日・5日(月・火)	24名	時間内	レベルⅢ、新人指導者の経験がある者、 OJTリーダーを担う予定の者	レベルⅠ以上教育委員会
	新人語り合う会Ⅱ	8日・11日・12日 (金・月・火)	30・28・32名	時間内	平成23年度新入看護職員	新人レベル教育委員会
	静脈注射勉強会(STEP1)	8日・21日・29日 (金・木・金)	78・68・69名	時間外	未受講者全員全員 (平成22年度以前・平成23年度新入看護職員)	静脈注射の実施に関する研修委員会
	人工呼吸器に関する勉強会① (NPPVと鎮静)	13日 (火)	80名	時間外	レベルⅠ以上	病院 RSTチーム
	教育担当者研修会 Ⅰ(新入看護職員研修ガイドライン)	21日(木)	40名	時間内	各看護単位の教育担当者	看護部
	褥瘡勉強会「耐圧管理とポジショニング」	20日(水)	75名	時間外	レベルⅠ・Ⅱ	病院 褥瘡対策チーム
	(経験者担当)新人指導者フォロアップ②	28日(木)	25名	時間内	平成23年実地指導者(経験者担当新人指導者)レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	救護員としての赤十字看護師養成研修①「赤十字概論」	29日(金)	46名	時間内	レベルⅠもしくは未受講者	救護員養成研修委員会
	「研究のつどい」	26 日(火)	12名	時間内	希望者	看護研究委員会
	看護助手・介護士研修会 ②	15日・19日(金・火)	42・45名	時間内	看護助手・介護士	看護部
	看護事務研修会 ②	12日(火)	24名	時間内	看護事務	看護部
8月	事例検討会のための勉強会	6日(土)	66名・6名	時間内	レベルⅡ (レベルⅠ研修「コミュニケーション」修了者)	レベルⅠ以上教育委員会
	「日常生活援助技術の向上を目指す研修会」	9日・10日・11日 (火・水・木)	98名	時間内	レベルⅠ又はレベルⅡ (プリセプターの役割を担う予定、担っている者)	日常生活援助技術教育委員会
	感染防止研修会「医療器具関連感染防止策」	18日・30日(木・火)	44・31名	時間内	レベルⅠ～Ⅱ	診療の補助業務関連技術教育委員会
	「看護実践を研究にするために」講演会	25日(木)	51名	時間外	全看護職員(特にレベルⅢ申請を目指す者)	看護研究委員会
	教育担当者研修会 Ⅱ(医療安全教育について)	31日(水)	47名	時間内	各看護単位の教育担当者・業務担当の係長	看護部・看護研修室長
	(新人担当)新人指導者フォロアップ②	25日(木)	22名	時間内	平成23年実地指導者(新人担当新人指導者)レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	心電図の基礎とモニター機器の取扱い①②	26日(金)29日(月)	36・35名	時間内	新人・(レベルⅠ)	診療の補助業務関連技術教育委員会

開催月	研修会・勉強会・実践委員会	開催期日	参加人数	時間内・外	対　象	担当委員会
9月	救護員としての赤十字看護師養成研修①「赤十字概論」	9日（金）	37名	時間内	レベルⅠもしくは未受講者	救護員養成研修委員会
	（経験者担当）新人指導者フォロアップ③	16日（金）	25名	時間内	平成23年度実地指導者（経験者担当新人指導者）レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	事例検討会　Ⅰ	13日・20月（火・火）	33名	時間内	「事例検討会のための勉強会」に出席した者	レベルⅠ以上教育委員会
	事例検討会　Ⅱ	22日・29月（木・木）	32名	時間内	「事例検討会のための勉強会」に出席した者	レベルⅠ以上教育委員会
	静脈注射勉強会（STEP3）危険な薬剤の取扱い	9日（金）	57名	時間外	平成22年度までに未受講者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	褥瘡勉強会「褥瘡と栄養について」	26日（月）	71名	時間外	レベルⅠ～Ⅱ	病院　褥瘡対策チーム
	「研究のつどい」	27日（火）	11名	時間内	希望者	看護研究委員会
	教育担当者研修会　Ⅲ（問題解決思考）	30日（金）	28名	時間内	各看護単位の教育担当者・業務担当係長	看護部
10月	救護員養成研修「日本赤十字社救急法」 3日間	3日・4日・5日 （月・火・水）	17名	時間内	救護員研修全学科目終了者で レベルⅢ～Ⅳ以上の未受講者	赤十字救急法指導員
	人工呼吸器に関する勉強会② （人工呼吸器の管理方法と口腔ケア）	4日（火）	77名	時間外	希望者	病院　RSTチーム
	平成23年度臨地実習指導者研修会	14月（金）	27名	時間内	学生を指導している者又は指導予定者、 新人指導者の経験のある者、レベルⅢ相当	レベルⅠ以上教育委員会
	（新人担当）OJTリーダーフォロアップ②	20日（木）	21名	時間内	新人担当実地指導者（OJTリーダー）、レベルⅢ以上	新人レベル教育委員会
	褥瘡勉強会「褥瘡と皮膚疾患・スキンケア」	25日（火）	48名	時間外	レベルⅡ・Ⅲ 以上	病院　褥瘡対策チーム
	静脈注射勉強会（STEP3）危険な薬剤の取扱い	3日（月）	39名	時間外	未受講者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP4）野村医師による講義	7日（金）	39名	時間外	STEP1～3を受講済みの者でかつラダーⅢ相当以上	静脈注射の実施に関する研修委員会
	各看護単位BLSAED実技指導者講習会	17日（月）	27名	時間内	各看護単位の指導者となれる者	ICLS普及委員会
	「研究のつどい」	25 日（火）	3名	時間内	希望者	看護研究委員会
	心電図の基礎とモニター機器の取扱い③	31日（金）	28名	時間内	新人	静脈注射の実施に関する研修委員会
	教育担当者研修会Ⅲ（新人教育に関する知識）	25日（火）	15名	時間内	各看護単位の教育担当者・係長未受講者	看護部
11月	静脈注射勉強会（STEP4）野村医師による講義	29日（火）	36名	時間外	STEP1～3を受講済みの者でかつラダーⅢ相当以上	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP5）実技演習	1日（火）	22名	時間外	平成23年度までにSTEP4を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP6）テスト	18日（金）	20名	時間外	平成23年度までにSTEP5を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP3）危険な薬剤の取扱い	15日（火）	47名	時間外	未受講者全員 （平成22年度以前・平成23年度新入看護職員）	静脈注射の実施に関する研修委員会
	心電図　Ⅱ	2日（水）4日（金）	37・43名	時間外	レベルⅠ～Ⅱ　30名	診療の補助業務関連技術教育委員会
	救護員としての赤十字看護師養成研修②「災害看護論」	11日（金）	35名	時間内	レベルⅡもしくは未受講者	救護員養成研修委員会
	新人語り合う会Ⅲ	14日・21日・24日 （月・月・木）	30・28・26名	時間内	平成23年度新入看護職員	新人レベル教育委員会
	酸素療法	14日・21日・24日 （月・月・木）	34・36・30名	時間内	平成23年度新入看護職員	診療の補助業務関連技術委員会
	経験者語り合う会Ⅲ	8日（火）	13名	時間内	平成23年度新入看護職員（経験者）	看護部
	教育担当者研修会Ⅳ（教育計画について）	7日（月）	16名	時間内	各看護単位の教育担当者・係長未受講者	看護部
	褥瘡勉強会 「褥瘡処置・デブリードマン・洗浄・治療に用いる材料について」	28日（月）	63名	時間外	レベルⅡ・Ⅲ 以上	病院　褥瘡対策チーム
	レベルⅠ研修会　①	29日（火）	33名	時間内	レベルⅠ	レベルⅠ以上教育委員会
	「研究のつどい」	22 日（火）	2名	時間内	希望者	看護研究委員会
	看護助手・介護士研修会　③	15日・18日（火・金）	52・53名	時間内	看護助手・介護士	看護部
	看護事務研修会　③	9日（水）	25名	時間内	看護事務	看護部
12月	レベルⅠ研修会　②・③	2日・5日（金・月）	39・34名	時間内	レベルⅠ	レベルⅠ以上教育委員会
	静脈注射勉強会（STEP2）	期間：10月～12月	141名	時間外	未受講者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP5）実技演習	9日・12日（金・月）	16・19名	時間外	平成23年度までにSTEP4を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP6）テスト	19日・20日（月・火）	17・17名	時間外	平成23年度までにSTEP5を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	褥瘡勉強会「使用する薬剤について」	13日（火）	37名	時間外	レベルⅡ	病院　褥瘡対策チーム
	（経験者担当）OJTリーダーフォロアップ①	9日（金）	25名	時間内	経験者担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	新人レベル教育委員会
	第3回リスクマネジャーの会（取り組み発表会）	14日(水)	27・28名	時間内	リスクマネジャー	リスクマネジメント委員会
	「実地指導者のための日常生活援助技術研修会」	20日（火）	26名	時間内	レベルⅡ又はⅢ以上（実地指導者）	日常生活援助技術教育委員会
1月	静脈注射勉強会（STEP5）実技演習	13日（金）	16名	時間外	平成23年度までにSTEP4を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	静脈注射勉強会（STEP6）テスト	27日（金）	19名	時間外	平成23年度までにSTEP5を受講した者	静脈注射の実施に関する研修委員会
	「家族看護」研修会	17日（火）	61名	時間外	レベルⅢ	レベルⅠ以上教育委員会
	創傷管理勉強会「創傷処置・褥瘡予防の基礎知識」	16日・25日（月・水）	38・34名	時間外	新人及びレベルⅠを目指す者	診療の補助業務関連技術教育委員会
	救護員としての赤十字看護師養成研修②「災害看護論」	20日（金）	29名	時間内	レベルⅡもしくは未受講者	救護員養成研修委員会
	褥瘡勉強会 「褥瘡を保有しながら在宅へ・在宅に向けての社会的資源」	23日（月）	49名	時間外	レベルⅡ・Ⅲ以上	病院　褥瘡対策チーム
	人工呼吸器に関する勉強会② （人工呼吸器の設定方法と安全管理ほか）	25日（水）	65名	時間外	希望者	病院　RSTチーム
	（新人担当）新人指導者フォロアップ③	26日（木）	22名	時間内	新人担当実地指導者（新人指導者）、 レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	心電図　Ⅱ	30日（月）	27名	時間外	レベルⅠ～Ⅱ　30名	診療の補助業務関連技術教育委員会
	教育担当者研修会Ⅵ（取り組み発表①）	12日（木）	53名	時間内	各看護単位の取り組み発表者・係長全員	看護部
	「がん患者の精神症状出現の看護」	24 日（火）	52名	時間外	看護職員希望者	病院　癌化学療法委員会
2月	心電図　Ⅲ（ペーシング編）	10日（金）	44名	時間外	レベルⅡ～Ⅲ　30名	診療の補助業務関連技術教育委員会
	（新人担当）OJTリーダーフォロアップ③	27日（木）	21名	時間内	新人担当実地指導者（OJTリーダー）、レベルⅢ以上	新人レベル教育委員会
	平成24年度OJTリーダー養成研修会	17日（金）	25名	時間内	平成24年度の新人担当OJTリーダーの予定者	新人レベル教育委員会
	褥瘡勉強会「病棟毎活動報告会」	27日（月）	118名	時間外	全看護職員	病院　褥瘡対策チーム
	教育担当者研修会Ⅶ（取り組み発表②）	2日（木）	47名	時間内	各看護単位の教育担当者・係長未受講者	看護部
	看護研究発表会	17日（金）	51名	時間外	全員	研究推進委員会
3月	平成24年度プリセプターシップ研修会	6日・9日（火・金）	81名	時間内	平成24年度実地指導者（プリセプター）予定者レベルⅡ	新人レベル教育委員会
	平成23年度リーダーシップフォロアップ研修会(発表会)	12日（月）	24名	時間内	平成23年度リーダーシップ研修会受講者	レベルⅠ以上教育委員会
	平成24年度新人指導者研修会	15日・22日（木・木）	51名	時間内	平成24年度実地指導者（新人指導者）予定者レベルⅡ以上	新人レベル教育委員会
	褥瘡勉強会「褥瘡患者のリハビリテーション」	27日（火）	40名	時間外	レベルⅠ・Ⅱ	病院　褥瘡対策チーム

実績：　総研修数138（時間内99/時間外39　看護部主催115/病院チーム主催23　受講延べ人数4,651名(新入看護職員採用時研修会・実践委員会を除く)

(6)育児休業復帰プログラムの実施

月/日	曜日	研修内容	対象者	参加者数	開催時間
3月22日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	5月30日育児休暇復帰	1名	3時間
4月22日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	6月1日育児休暇復帰	1名	3時間
5月20日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	7月1日育児休暇復帰	2名	3時間
6月3日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	7月11日育児休暇復帰	1名	3時間
			7月12日育児休暇復帰	1名	
			7月19日育児休暇復帰	1名	
7月1日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	8月19日育児休暇復帰	2名	3時間
7月15日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	9月1日育児休暇復帰	2名	3時間
			9月5日育児休暇復帰	1名	
			9月26日育児休暇復帰	1名	
8月12日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	9月26日育児休暇復帰	1名	3時間
9月2日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	10月17日育児休暇復帰	1名	3時間
			11月1日育児休暇復帰	1名	
11月18日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	12月19日育児休暇復帰	1名	3時間
12月2日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	1月4日育児休暇復帰	1名	3時間
			1月10日育児休暇復帰	1名	
			1月24日育児休暇復帰	1名	
2月3日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	4月1日育児休暇復帰	3名	3時間
2月17日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	4月6日育児休暇復帰	1名	3時間
			4月9日育児休暇復帰	1名	
			4月16日育児休暇復帰	3名	
			4月23日育児休暇復帰	1名	
			4月24日育児休暇復帰	4名	
			4月25日育児休暇復帰	3名	
			4月29日育児休暇復帰	1名	
			4月30日育児休暇復帰	2名	
			5月28日育児休暇復帰	1名	
			6月1日育児休暇復帰	1名	

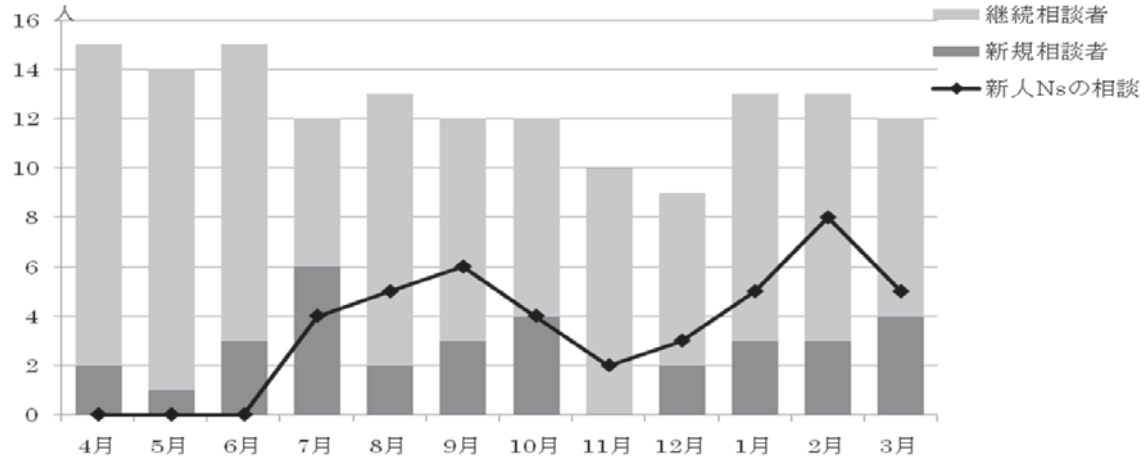
(7)看護専門外来月別患者数

H23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
フットケア 毎火午後	5	7	6	7	9	7	8	7	7	6	7	6	82
糖尿病看護相談 毎火午後	5	3	4	1	5	1	5	3	2	5	5	3	42
ストーマ 〈外科〉 第1・2・3・4 (木)午後	23	14	18	15	19	17	22	18	20	12	15	24	217
ストーマ 〈泌尿器科〉 第1・3 (水)午後	7	5	8	10	4	8	7	4	8	1	5	9	76
助産師外来 毎水・金	166	126	160	166	161	148	144	158	117	153	165	193	1857
計	206	155	196	199	198	181	186	190	154	177	197	235	2274

(8)「こころの相談室」利用者状況

（平成23年4月～平成24年3月末日）

●利用回数　計222回/年
●利用者(相談者)　9～15人/月
●月別相談者（継続/新規、新人Nsの割合）



●利用者　50人/年　の内訳

1）勤務年数

1年目	17	34.00%
2年目	7	14.00%
3年目～5年目	12	24.00%
6年目～10年目	5	10.00%
11年以上	9	18.00%
計	50人	100.00%

2）職種別

看護師・看護助手	47	94.00%
その他	3	6.00%
計	50人	100%

３）利用目的

受診～病休～復帰支援	25(人)	50.0(%)
職場の人間関係	11	22
仕事	12	24
家族問題	2	4
その他	0	0
計	50	100

(9)看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数

《看護師》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定看護師研修					60					151	78		289
看護管理研修				1				4					5
上記以外の研修または見学	20	19	44	40	48	43	57	85	4				360
合計	20	19	44	41	108	43	57	89	4	151	78		654

《看護学生・大学院生》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本赤十字豊田看護大学		182	274	364	27	162	462	375	572				2418
愛知県立大学		46	60	43			565	221	146	208	159		1448
中部大学				19	20		28	29	45	60	111	36	348
名鉄看護専門学校					90								90
名古屋医専							45	99	60		10	20	234
日本赤十字豊田看護大学　大学院										9	13		22
愛知県立大学　大学院					28	22							50
合計	0	228	334	426	165	184	1100	724	823	277	293	56	4610

Ⅱ. 業　　績

1. 平成 23 年診療科別業績

平成 23 年 1 月～12 月

1.平成23年診療科別業績

診療科	著書	論文	学会
血液内科		12	15
内分泌内科		2	12
腎臓内科			7
消化器内科			12
呼吸器内科			2
循環器内科		1	9
神経内科			8
一般消化器外科・乳腺内分泌外科		13	48
血管外科		1	6
心臓血管外科		1	9
呼吸器外科			7
小児外科			
小児科	2	19	31
産婦人科		16	24
脳神経外科			2
整形外科	4	13	28
眼科		2	
耳鼻咽喉科		2	4
歯科口腔外科		2	14
形成外科			3
泌尿器科・女性泌尿器科	1	7	30
麻酔科			6
化学療法内科			8
放射線診断科			5
病理部	1	6	33
救急部		1	1
リハビリテーション科			1
薬剤部		1	14
放射線部			
検査部・輸血部		3	16
看護部		4	28
医療技術部	1	1	15

Ⅱ．業　　績

２．学術講演等記録

平成 23 年 1 月～12 月

2. 学術講演等記録

平成23年学術講演会

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月3日	地域連携学術講演会	歯科口腔外科での小手術	歯科口腔外科副部長 藤原成祥 歯科口腔外科 佐藤春樹	地域医療連携課
5月25日	感染防止講演会	「耐性グラム陽性菌感染症への対応を考える」	愛知医科大学大学院医学研究科　感染制御学　三鴨廣繁　教授	院内感染防止対策委員会
6月22日	地域連携学術講演会	緩和ケアのめざすもの	渡邊正　東海中央病院	緩和ケア運営委員会 癌化学療法委員会
7月7日	総合医局講演会	専門家としての自律	新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター長教授　中田力	総合医局
7月9日	病診連携システム学術セミナー	東日本大震災における医療活動と支援	名古屋市医師会中村区支部副会長　細川秀一 石巻赤十字病院　院長　飯沼一宇	地域医療連携課
9月14日	地域連携学術講演会	最近の放射線治療事情 一定位放射線治療、強度変調放射線治療および陽子線治療	名古屋市立大学大学院教授　石倉聡	化学療法センター
11月30日	地域連携学術講演会	緩和ケア　Up-to-date	聖隷三方原病院緩和支持治療科部長　森田達也	緩和ケア運営委員会 癌化学療法委員会

平成23年その他講演会

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月23日	第18回医療安全管理ワークショップ	「院内約束処方にある二重水の投与方法の間違い」		医療安全推進チーム
6月1日	第19回医療安全管理ワークショップ	「内服薬の自己管理および指示変更に伴うインシデント」		医療安全推進チーム
9月7日	第20回医療安全管理ワークショップ	「低血圧によるレントゲン室での転倒」		医療安全推進チーム
12月7日	第21回医療安全管理ワークショップ	「処置を伴う外来受診の際のインシデント」		医療安全推進チーム

Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

１. 医療社会事業課

（１） 平成 23 年度年間援助件数

1.ケース人数

《年度実人数》

ケースの区分	実人数
年度実人数	4,556

《月別実人数年度合計》

ケースの区分	入院・外来	実人数
月別継続ケースの年度合計		2,330
月別新規ケースの年度合計	入院	3,107
	外来	1,209
合計		6,646

月別終了ケースの年度合計	4,382

2.年度別延人数

ケースの区分	延人数
年度延人数	24,171

3.新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	2,544
看護師	395
リハビリ職	1
その他院内職員	127
本人	305
家族・親戚縁者	365
院外関係機関	461
近隣者・知人	4
ソーシャルワーカー	114
合計	4,316

4.問題

区分	実件数
家族関係の問題	129
介護・療養生活上の問題	2,187
経済に関する問題	459
日常生活上の問題	22
就労・職場の問題	7
教育の問題	9
医療の確保に関する問題	2,139
人権に関わる問題	32
心理・情緒的問題	2
制度活用に関する問題	1,876
その他	361
合計	7,223

5.援助方法

方法		実件数
面接	本人	6,015
	家族	6,717
電話	本人	168
	家族	5,206
訪問	家族	2
	その他	3
同行・同伴・代行		56
文章・FAX		3,364
情報収集		4,001
院内協議・院内カンファレンス		17,989
院外協議・院外カンファレンス		20,959
合同カンファレンス		630
合計		65,110

6.相談援助調整内容

内容		延件数
1.家族関係に関すること		346
2.在宅介護・地域生活に関すること		9,906
3.療養生活に関すること		4,309
4.経済的問題に関すること		2,484
5.就労・職場環境に関すること		9
6.就学・教育環境に関すること		16
7.虐待・暴力・人権に関すること		275
8.受診・受療に関すること		1,354
9.転院に関すること(医療機関)		24,367
10.他施設利用に関すること		2,445
11.心理・情緒的問題に関すること		5
12.他福祉関係法利用に関すること		4,799
その他		1,497
		0
合計		51,812

7.介入の時期

区分	実人数
1.受診	197
2.外来継続	945
3.入院時	365
4.入院継続	909
5.退院期	1,821
6.その他	79
計	4,316

（２）平成 23 年度科別援助件数

科別＼援助の内容		1 家族関係に関すること	2 在宅介護・地域生活に関すること	3 療養生活に関すること	4 経済的問題に関すること	5 就労・職場環境に関すること	6 就学・教育環境に関すること	7 虐待・暴力・人権に関すること	8 受診・受療に関すること	9 転院に関すること	10 他施設利用に関すること	11 心理・情緒的問題に関すること	12 他福祉関係法利用に関すること	13 その他	小計	計
内　科	入院	160	4,968	2,282	901	3	1	7	216	11,649	1,675	2	1,406	644	23,914	27,770
	通院	30	1,034	255	259	4	3	4	516	410	99	0	1,044	198	3,856	
外　科	入院	14	1,069	602	179	1	0	27	36	1,836	207	0	382	91	4,444	5,051
	通院	0	171	39	63	0	0	1	82	52	7	0	156	36	607	
整形外科	入院	23	597	552	189	0	0	0	39	7,040	155	0	257	50	8,902	9,697
	通院	1	103	30	66	0	0	3	93	195	15	0	252	37	795	
小児科	入院	43	739	26	17	0	7	88	35	38	79	3	269	16	1,360	1,796
	通院	3	193	12	12	0	0	40	36	4	12	0	121	3	436	
産婦人科	入院	18	135	147	207	0	4	0	12	13	0	0	113	21	670	1,020
	通院	9	46	33	108	0	0	27	22	5	0	0	69	31	350	
脳外科	入院	22	199	37	199	0	0	33	38	2,340	9	0	100	127	3,104	3,463
	通院	1	25	2	27	1	0	0	72	85	0	0	116	30	359	
皮膚科	入院	0	25	17	4	0	0	0	1	21	64	0	2	0	134	215
	通院	2	27	10	14	0	0	0	1	0	3	0	19	5	81	
形成外科	入院	0	5	0	2	0	0	0	0	87	16	0	4	0	114	137
	通院	0	5	1	0	0	0	0	10	0	2	0	5	0	23	
泌尿器科	入院	1	203	74	22	0	0	0	1	191	12	0	79	21	604	715
	通院	0	21	10	16	0	0	0	4	21	1	0	32	6	111	
耳鼻科	入院	4	111	128	28	0	0	0	9	349	62	0	99	20	810	1,025
	通院	0	27	26	16	0	0	10	17	1	3	0	110	5	215	
眼　科	入院	0	2	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	12	163
	通院	1	6	0	5	0	0	18	48	0	0	0	41	32	151	
歯科口腔外科	入院	2	71	19	14	0	0	0	13	7	6	0	30	8	170	241
	通院	0	23	4	19	0	0	0	13	1	2	0	7	2	71	
精神科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	
その他	入院	7	56	1	30	0	1	7	4	18	16	0	26	27	193	511
	通院	5	45	2	87	0	0	10	26	4	0	0	52	87	318	
小計	入院	294	8,180	3,885	1,792	4	13	162	414	23,589	2,301	5	2,767	1,025	44,431	51,812
	通院	52	1726	424	692	5	3	113	940	778	144	0	2032	472	7381	
合計		346	9,906	4,309	2,484	9	16	275	1,354	24,367	2,445	5	4,799	1,497	51,812	51,812

援助領域の説明

援助の領域の内容については下記のような業務である。

（1）家族関係に関すること
　クライエントの傷病が原因で顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下が、クライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係調整を行う。
（2）在宅介護・地域生活に関すること
　在宅療養を行っている、または行う予定であるクライエントに対する相談、また地域社会資源の説明及び在宅介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、地域関係機関との調整を行う。
（3）療養生活に関すること
　入院中の生活問題に対する心理・社会的援助。具体的には入院環境の整備を行う、あるいは療養中に発生する治療以外の原因による患者対患者、患者対職員といった対人関係に問題がある場合、その解決を援助する。
（4）経済的問題に関すること
　クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
　金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。
（5）就労・職場環境に関すること
　クライエント自身の職業選択、職場問題の相談をはじめ、クライエントの社会復帰を目的とする援助を行う。
（6）教育環境・就学に関する相談援助
　クライエントに適した就園・就学への相談、クライエント自身の復学等に関する相談援助、環境調整を行う。
（7）虐待・暴力・人権に関すること
　家庭内暴力、児童虐待等、身体的・精神的な人権侵害について具体的調整を行う。
（8）受診・受療に関すること
　クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントへ受診に関する情報提供や調整や、医師等へ心理・社会的背景や問題の情報提供を行う。また受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対しての援助を行う。
（9）転院に関すること。
　クライエントに対する他医療機関への紹介、転院の調整を行う。
（１０)他施設利用に関すること
　療養可能な生活の場を確保するため、福祉施設及び介護保険施設等への入所を調整する。
（１１)心理・情緒的問題に関すること
　主として面接を通し、クライエントとの間でソーシャルワークの原則に基づいた援助関係を築くことにより、クライエントのワーカビリティーを引き出す。
（１２)その他福祉関係法利用に関すること
　クライエントが利用できる社会保障・社会福祉制度の紹介を行う。

2. 社会課

（1）平成23年度災害救護訓練・臨時救護実施状況

1. 臨時救護

期日	行事名	会場	担当者				
7.27(水)	第53回中村公園夏まつり	中村公園一帯	看護師	東7	遠藤　由美子	西5A	林　史子
7.28(木)	〃	〃		東8	伊藤　杏莉	西12B	竹内　詩織
7.29(金)	〃	〃		西9B	水野　寛子	西10B	三宅　美帆
9.17(土)、18(日)	アイアンマントライアスロン	常滑市	医師	整形外科	小野田　亮介		
			看護師	看護師長	上田　美寿代	係長	塚本　志保子
				OP	馬場　周作		
			主事	医療社会	豊島　幹一郎		
2.4(土)	はだか祭り(儺追神事)	稲沢市(国府宮神社)	医師	脳外科	片岡　弘匡		
			看護師	看護師長	須永　康代	係長	金築　美衣子
				西10B	三宅　美帆		
			主事	人事課	工藤　佑介		

2. 地方公共団体等災害救護訓練

実施日	事業名	場所	担当者				
10.27(木)	県営名古屋空港消火救難 総合訓練	豊山町	医師	外科	山下　浩正		
			看護師	看護師長	近森　清美	係長	小林　春美
				東6	伊藤　麻友子		
			主事	医事サービス	森田　洋充	薬剤部	伊藤　彰英

3. 赤十字等救護訓練(研修)(その1)

実施日	事業名	場所	担当者				
9.16(金)	こころのケア要員養成研修第1回	日本赤十字社 愛知県支部	看護師	係長	小川　惠	係長	阿部　由希野
				係長	嵯峨　靖恵	西12A	松野　香織
			主事等	人事課	恒川　美智子	総務課	岩田　啓伸
				購入管理課	後藤　千恵	薬剤部	服部　哲幸
			指導員	看護師長	渡辺　美佐子		
11.1(火) 11.2(水)	日本赤十字社第3ブロック 支部合同災害救護訓練	富山県	医師	救急部	横塚　太郎		
			看護師	係長	難波　裕子		
2.17(金)	こころのケア要員養成研修第2回	日本赤十字社 愛知県支部	看護師	看護師長	矢野　初美	係長	小澤　賀子
				看護師長	平野　美枝子	係長	天野　真由美
				係長	服部　希恵	西11B	山田　ひとみ
				係長	水野　さくら	ICU	伊藤　昌文
			主事等	医事サービス	久田　早苗	総務課	稲垣　裕也
				輸血部	恒川　浩次郎		
			指導員	看護師長	森　早苗	大鐘　隆宏	
12.6(火)7(水)	救護員指導者研修	日本赤十字社	医師	救急部	花木　芳洋		

4. その他

実施日	事業名	場所	担当者				
7.25(月)～26(火)	統括DMAT技能維持研修	国立病院機構 災害医療センター	医師	救急部	花木　芳洋		
9.1(木)	政府防災訓練	埼玉県 入間基地	医師	救急部	花木　芳洋		
7.16(土)～18(月)	平成23年度日赤DMAT 研修会	日本赤十字社 兵庫県支部	医師	呼吸外科	岡阪　敏樹	係長	難波　裕子
10.8(土)～10(月)	平成23年度日赤DMAT 研修会	日本赤十字 看護大学 武蔵野 キャンパス	看護師長	森早苗			
			主事	検査部	加藤　秀樹	企画課	岩成　清和
9.24(土)～25(日)	中部ブロックDMAT技能維持研修	静岡県静岡市 静岡県職員会館 「もくせい会館」	看護師長	大鐘　隆宏	薬剤部	黒野　康正	
11.26(土)～27(日)	愛知DMAT隊員養成研修	愛知医科大学	医師	呼吸外科	岡阪　敏樹		
			看護師	看護師長	島田　香穂梨	係長	錦戸　幸
				係長	高浜　由加里		
			主事	放射線科部	林　隆宏		
12.3(土)	愛知県SCU訓練	県営名古屋空港	医師	救急部	花木　芳洋		
			看護師長	渡辺　美佐子	係長	難波　裕子	
			主事	薬剤部	黒野　康正		
3.7(水)	AFCアジアチャンピオンリーク (ACL)	名古屋市瑞穂 陸上競技場	医師	呼吸外科	上野　陽史		
			看護師	OP	伊東　大輔		
			主事	総務課	稲垣　裕也		
3.11(日)	マラソンフェスティバルナゴヤ愛知2012	名古屋ドーム他市内	医師	救急部	小島　俊行		
			看護師長	山田　美穂	係長	安藤　俊子	
			主事	社会課	廣瀬　勝巳		

5. 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター　（主幹課：支部青少年・ボランティア課）

実施日	行事名	場所	担当看護師	
7.27（水）～29（金）	刈谷・安城地区L・T・C	碧南水上スポーツセンター	東6	伊藤　麻友子
7.31（日）～8.2（火）	尾張地区L・T・C	春日井少年自然の家	西7	小林　春美
8.16（火）～18（木）	支部小中学校L・T・C	岡崎少年自然の家	西10A	冨山　麻美

（2）平成23年度災害救護活動状況

実施日	救護名	場所	担当者				
4.1(金)～5(火)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	救急部	北村　倫也		
			看護師	看護師長	上田　美寿代	係長	高浜　由加里
				看護師	尾関　田づる		
			主事	購入管理課	立松　淳	栄養課	伴野　広幸
4.7(木)～11(月)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	呼吸器内科	祖開　暁彦		
			看護師	看護師長	島田　香穂梨	係長	若山　由紀子
				看護師	林　紗千子		
			主事	医療社会事業課	浅野　賢太	放射線科部	高橋　徳史
4.13(水)～17(日)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	産婦人科	横井　暁		
			看護師	看護副部長	川北　洋子	係長	峯田　知子
				係長	宮本　論美		
			主事	医療情報課	牧村　淳	薬剤部	水野　惠司
4.19(木)～23(土)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	麻酔科	後藤　衣津子		
			看護師	看護師長	秋江　百合子	係長	浅井　昌子
				看護師	上田　純子		
			主事	医事サービス	三浦　康男	分子病理診断部	郡司　昌治
4.25(月)～29(金)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	心臓血管外科	星野　理		
			看護師	看護師長	桑原　典子	係長	作間　千夏
				看護師	大路　小千代		
			薬剤師	薬剤部	服部　哲幸		
			主事	総務課	稲垣　裕也	人事課	恒川　美智子
4.30(土)～5.5(木)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	消化器内科	春田　純一		
			看護師	看護副部長	園田　玲子	係長	福山　直美
				看護師	連尺野　美穂		
			主事	社会係長	廣瀬　勝巳	施設管理課	和田　浩一
5.9(月)～5.14(土)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	整形外科	松下　正矢	R2	松久　貴晴
			看護師	看護師長	山田　美穂	係長	阿部　由希野
				係長	岡田　朋子		
			薬剤師	薬剤部	福井　佳明		
			主事	ME	蜂須賀　章友	施設管理課	宮田　隆伸
6.3(金)～6.8(水) 主事は6.2(木)～	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	小児科	松本　公一	R2	蛭薙　智紀
			看護師	看護副部長	坂之上ひとみ	係長	山田　亜由美
				看護師	伊東　大輔		
			主事	医療情報課	奥村　仁哉	薬剤部	糟谷　吉春
7.17(日)～7.22(金)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	循環器	柴田　義久	R2	山田　健太
			看護師	看護副部長	澄川　美智	係長	加藤　留美子
				看護師	柚木　さよ		
			主事	医療社会事業課	浅野　賢太	薬剤部	伊藤　彰英
4.3(日)～4.10(日)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	事務支援要員	会計課長	山田　敏人		
4.8(金)～4.15(金)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	看護師	垣見　勲子	横山　由利子		
			薬剤師	向山　直樹			
4.13(水)～4.20(木)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	薬剤師	森　一博			
4.18(月)～4.25(月)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	薬剤師	池田　義明			
4.23(土)～4.30(土)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	薬剤師	櫛原　秀之			
4.28(木)～5.5(木)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	医師	産婦人科	久野　尚彦		
			ME	山鹿　彰			
5.3(火)～5.10(火)	東日本大震災	宮城県石巻市（石巻赤十字病院他）	看護師	大石　眞奈美	助産師	古俣　知里	

実施日	救護名	場所	担当者				
6.2(木)～6.14(火)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	看護師	朝日　綾子	山中　紗央里		
6.12(日)～6.22(水)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	薬剤師	飯田　亨			
6.23(木)～7.5(火)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	看護師	鈴村　美和			
6.29(土)～7.8(金)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	薬剤師	水谷　年男			
7.25(月)～8.5(金)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	看護師	安藤　俊子	深谷　陽子		
4.18(月)～4.26(火)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	広報支援	企画課長	上之山　和繁		
4.29(金)～5.9(月)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	石巻地区本部支援	救急部	花木　芳洋		
5.31(火)～6.4(土)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	石巻地区本部支援	救急部	花木　芳洋		
4.30(土)～5.4(水)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	こころのケア要員	係長	佐藤　ひとみ		
6.22(水)～6.27(月)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	こころのケア要員	看護師長	渡辺　美佐子	係長	中村　宣代
				係長	服部　希恵		
			連絡調整員	検査部	加藤　秀樹		
5.13(金)～5.14(土)	東日本大震災	宮城県石巻市 (石巻赤十字病院他)	ロジ要員	社会課	柴田　喜充	薬剤部	黒野　康正

（3）病院ボランティア活動状況

1. 病院ボランティア活動状況（その1）

活動項目	平成23年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	1. 名古屋第一赤十字病院奉仕団 （1） 病院内 ①玄関案内業務(再来受付機、自動精算機含) ②入院患者案内、付き添い ③患者サロンにおける図書管理 ④患者図書室「希望の泉」対応業務 ⑤超音波検査室清拭タオルの整理 ⑥慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃整備 ⑦衛生材料作成 ⑧総合周産期医療センター発送業務 ⑨健康教室受付 ⑩健康管理センター資料作成 ⑪車椅子点検整備 ⑫病院機関紙等発送作業 （2） 勉強会（ボランティア側のノーマライゼーション） ①総会 平成23年4月9日（土）開催 ②役員会・委員会　毎月1回開催 ③機関誌発行横糸69号　5月1日発行 （3） 関係各機関への協力（病院外） （4） 日本病院ボランティア協会との連携（講演会含む） 平成23年10月27日（木）日本ボランティア協会総会出席 （ホテルアウィーナ大阪） （5） 中部善意銀行との連携バザー等への協力 ①平成23年11月10日（木）～12月2日(金) 愛のチャリティーバザー整理収納奉仕 ②平成23年12月8日（木）～12日（月） 愛のチャリティーバザー販売奉仕	会員約72名が月～金 に分かれ(1日10～16人) 8時30分から15時まで
	2. 同朋大学学生 あんぱんまんサークル 保育指導ボランティア	小児医療センター 火曜日18時30分～20時　1回約3名
	3. おはなしグループ. ぽしぇっと お話会ボランティア	小児医療センター 第2、4木曜日15時30分～16時 1回約1、2名
	4.(有)プレジャー企画　クラウンファミリープレジャーB 日本ホスピタル・クラウン協会　ホスピタルクラウンボランティア	小児医療センター 第1、3木曜日15時～17時 1回約3、4名
	5.ぷくぷくばるーん ばるーんで遊ぼうボランティア	小児医療センター 第2火曜日15時～17時 1回約5～8名
	6. 愛知県立旭丘高等学校美術科生徒作品展示 病院通路絵画展示	常設　10名作品
	7.緩和ケアセンター 個人ボランティア　、季節写真展示、音楽療法、食事日常生活支援 喫茶、トリートメント等	緩和ケアセンター 個人ボランティア 月～金に約19名
	8.緩和ケアセンター　傾聴ボランティア“陽だまり”	緩和ケアセンター 木曜日14時～16時　6名交代

1．病院ボランティア活動状況（その2）

活動項目	平成23年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	9. 病院外赤十字奉仕団活動 ①津島市赤十字奉仕団 機関紙「なかむら」「日赤なごや」発送作業 ②甚目寺町赤十字奉仕団 健康管理センター封筒のりしろ作成 ①で出来ない場合、発送作業依頼	1回 約50名～60名 第1木曜日 第3月曜日

2．患者慰問活動

活動項目	平成23年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　考
その他地域福祉活動に関すること その他地域福祉活動に関すること	1.全日空スズラン慰問　6月6日(月)　西棟12階B女性センター 押花400束他 2.名古屋国際婦人クラブからの慰問　7月6日(水) 小児医療センター 3.ひまわり(学級)コンサート　7月7日(木) 小児医療センター 入院患児(者)、家族　オカリナの演奏と歌コンサート 4.ボランティアグループぷくぷくばるーん慰問 小児医療センター 大相撲力士慰問　三段目　栃春日関 7月27日(水) 5.なごやかコンサート　8月12日(金) 内ヶ島講堂 入院患者、家族、地域住民　フルート、オカリナ、ピアノ演奏会 6.ゆいの会患児慰問　8月30日(火)小児医療センター 「山本こーぞーひとりしばい」 7.写真(心)家　松本康國　写真寄贈慰問　11月24日(木) 小児医療センター　ブレイルーム 8.中国琵琶涙善祥、ソプラノ矢野留美、河地未奈子、ピアノ マリ・リー演奏慰問　12月12日(月)　入院患者(児)、地域住民 9.ボランティアグループぷくぷくばるーん慰問 小児医療センター 名古屋おもてなし武将隊慰問　12月13日(火) 10.小児医療センタークリスマス会慰問　12月22日(木) 入院患児、家族　内ヶ島講堂 11.中日ドラゴンズ選手慰問　1月24日(火)井端、荒木、中田 浅尾、野本、伊藤準選手による、入院患者(児)全体トークショー、 小児医療センター慰問 12.津島赤十字奉仕団からの慰問　2月8日(水) 小児医療センター 13.緩和ケアセンター内慰問　誕生日花束贈呈、8月17日(水) 夏まつり　12月14日(水)クリスマス会　3月6日(火)春の音楽会 14.小児医療センター内慰問　5、7、11、3月　夏祭り、 子供の日、ひな祭り等開催	活動日付順

（4）地域福祉活動状況

1. 平成23年度赤十字健康教室開催状況

回 数	開 催 日	開 催 内 容	講 演 者	参加人員
第136回	平成23年5月25日(水) 午後2時～午後4時	「がんのおはなし」 1. 地域がん診療連携拠点病院の役割 がんの地域連携パスのご案内 2. 副作用が起きてしまったら 3. わかりやすいがん化学療法講座	野村史郎 呼吸器内科部長 濱嶋なぎさ 看護師長(がん化学療法看護認定看護師) 河田健司 化学療法科副部長(がん薬物療法専門医)	104名
第137回	平成23年7月13日(水) 午後2時～午後4時	緩和ケアについて 1. 地域がん診療連携拠点病院における緩和ケアについて 2. 緩和ケア病棟における緩和ケアの実際 3. 緩和ケアチームの役割	野村史郎 呼吸器内科部長 平野美枝子 看護師長(緩和ケアセンター) 前田 みゆき 係長(がん性疼痛看護認定看護師)	82名
第138回	平成23年9月12日(月) 午後2時～午後4時	災害医療について 1.「大規模災害時における避難所のあり方」について～東日本大震災を踏まえて～ 2.「災害時の感染予防」について	花木芳洋 救急部長 名古屋市消防局防災部防災室防災計画係長 田中 雄三 髙坂 久美子 看護師長(感染管理認定看護師)	51名
第139回	平成23年11月15日(火) 午後2時～午後4時	糖尿病について ～連携による糖尿病治療の継続～ 司会 1. これならできる！食事療法 ～継続するためのコツ～ 2. 診療所でできること 3. 病院でできること	山守育雄 内分泌内科部長 府川佳代 管理栄養士 谷内科 院長 谷 能之 山守育雄 内分泌内科部長	106名
第140回	平成24年2月29日(水) 午後2時～午後4時	お口の病気について 1. お口の中の病気について 2. 自分でできるお口のケアー	藤原 成祥 歯科口腔外科副部長 兼田 朋美 歯科衛生士	81名
合 計	5 回			424名

2. 平成23年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月 / 部屋号	月別利用日数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	9	18	0	0	0	0	15	3	0	0	14	20	79
2	6	0	17	31	31	30	13	30	31	31	11	31	262
3	2	6	0	7	0	7	11	30	31	31	29	1	155
5	30	31	30	13	1	21	0	0	13	31	29	31	230
6	0	4	26	17	7	0	13	30	31	31	10	8	177
合 計	47	59	73	68	39	58	52	93	106	124	93	91	903

備 考　総日数　366 日 × 5 = 1,830

利用日数　903 日　利用率　49.3 %

3. 地域医療連携室

「医療連携の現況」

当院が拠点を置く名古屋市では、特定の大規模病院と近隣の診療所が単独で連携する方式ではなく、名古屋市医師会を窓口に、診療所は登録医、病院は登録病院として申し込み、それぞれの施設が病診連携等に取り組む都市型の連携ネットワークで運営している。 当院は昭和６１年に名古屋市医師会病診連携システムへ登録病院として加入し、本格的な地域医療連携事業を開始した。平成１８年には地域医療支援病院の承認、平成２０年に地域がん診療連携拠点病院の承認を受けるなど、地域医療連携事業も年々成果を上げている。

第５次医療法改定により「地域連携クリティカルパス」が制定された。これにより、現在の医療連携については、診療所と病院が機能を明確化し、機能の分担による連携をもって地域内で完結する仕組みが主流となった。急性期から回復期、維持期、介護、在宅医療まで切れ目のない医療を円滑に提供していくためには、医療機能の更なる分化と医療機関間の密な連携の強化が望まれる。

また、当院の責任医療圏は名古屋医療圏西部地域であるが、行政より２次医療圏を超えた海部医療圏、尾張中部医療圏についても担うように云われている。そのため、今後はこの医療圏も含めた病診・病病連携ネットワークの構築を図っていくことが必要である。

「課題事項の現況」

当院が地域の基幹病院として急性期医療の責務を果たすため、三次救急患者を何時でも受け入れる体制を整えること、急性期を脱した患者さんを早期に回復期や亜急性期、或いは療養期の機能を持った病院へスムーズに移すことが望まれる。名古屋市内の計画病院と協力病院とで医療制度上の地域連携パスの活用が始まり、約４年が経過した。昨年度の実績は整形外科１０３件、神経内科１２９件、脳神経外科２５件であるが、今後は地域連携パスを更に拡大することにより件数を伸ばす必要がある。また、平成１８年に成立したがん対策基本法によるがん医療の均てん化の促進から、平成２４年３月までに五大がんの地域連携クリティカルパスを整備することが必須となっている（平成２３年度の実績は、乳がん７件、胃がん１件、大腸がん１件）。今後も研究会や連絡会を介して確実なものにしていくことが必須であることから、引き続き退院支援や退院援助に関わる職員の入院早期からの関与について研究や検討が望まれる。

（1）当院と外部委嘱委員との運営委員会及び協議会履歴と議事概要

平成 23 年度名古屋第一赤十字病院 病診連携システム運営協議会

開催日時　　平成 23 年 4 月 28 日（木）午後 2 時～

開催場所　　名古屋第一赤十字病院　会議室 4

出 席 者（敬称略）

医師会　名古屋市医師会地域医療担当理事　伊藤 知敬、中村区支部区会長　古山 明夫　西区支部区会長　龍華 二郎、中川区支部区会長　坂野 哲哉、中区支部区会長　服部 達哉、北区支部区会長　山根 則夫、中村区支部区副会長　谷　能之、名古屋市医師会地域医療委員会委員長　宮本 進行

当　院　院長　小林 陽一郎、副院長　宮田 完志、副院長　真野 和夫、副院長　伊藤 雅文、副院長兼看護部長　小森 和子、管理局長　伊藤 彰勇、経理部長　坂井田 稔、医療社会事業部長　花木 芳洋、総合医局長　錦見 尚道、地域医療連携課長　竹内 勝秀

欠席者（敬省略）

中村区支部区副会長　細川 秀一、中村区支部区副会長　佐々木 國夫

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、名古屋第一赤十字病院病診連携システム運営協議会委員構成及び協議会規則の確認について

4、議事

（1）報告事項

①平成 22 年度病診連携の実績報告について

（2）協議事項

①連携施設からの要望について

②第 12 回病診連携学術セミナーの開催について

開催日時について

日時　平成 23 年 7 月 9 日（土）午後 5 時から

場所　名鉄グランドホテル

5､閉会

【議事内容(抜粋) 】

・病診連携システム運営協議会委員が、院外委員 10 人、院内委員 10 人で構成されています。他の医療機関などは、院外委員が院内委員より多く構成されております。第 5 条に決議事項は出席委員の過半数をもって決定するとあります。決議事項があった場合には院外委員の出席者が少なければ病院の要望が全て可決されることになります。この辺りは考慮された方が良いと思います。

・鋭意検討いたします。

・病院全体の紹介率・逆紹介率に大きな変化はなく、紹介率は 75%弱、逆紹介率は 61%強です。月別の紹介、逆紹介率につきましては、平成 20 年度までグラフが重なる様に推移しておりましたが平成 21 年度から逆紹介率が減少しています。平成 22 年度になって逆紹介率も紹介率と同様の傾向で推移してきております。当院の近隣医療機関の問題から診療科によっては少しずつ増えております。

・逆紹介に関しても紹介同様の傾向を示しております。

・医療制度上の地域連携パスは、整形外科の大腿骨頸部骨折連携パスが 75 件、脳卒中連携パスを神経内科が 94 件、脳神経外科 16 件です。

・一昨年は新型インフルエンザ、昨年は熱中症で救急搬送が 6%程増加したと聞いております。また、今年 1 月からも更に救急搬送の件数が増加傾向にあると聞いておりますが、第一日赤では昨年と比較し救急搬送による受け入れは増加していますか。

・名古屋市消防による救急搬送は確実に増えています。普段は年を明けて 1 週間ほど過ぎますと一度満床となり、中旬には退院も出始めベッドも空きますが、今年は 3 月まで満床が続いておりました。私の経験上､3 ヶ月間も救命救急センターがクローズ状態に陥ったことは初めてで、当院はこの間、救急搬送を収容しきれておりません。これにより救急車受入台数は増加しておりません。名古屋市内の救急搬送は 5%以上増加していることから、名古屋市消防局は大変な危機感を抱いております。

・第一日赤の逆紹介率が過去 5,6 年 60%前後で推移しており、増加傾向を示しておりません。満床であることは病院経営的には悪くないでしょうが、救急車の受入れができません。地域の基

幹病院として救急車を円滑に受入れのためにも地元の診療所なり、亜急性期病院へ積極的な逆紹介が望まれます。現在、名古屋市内には1,700以上の診療所がありますので、ある程度必要な診療所（専門性を標榜している）をリストアップ、或いはこの委員会の構成委員である区会長に相談するなりして積極的な逆紹介をしていただきたい。

・医師会としてはUターンを推進しておりますが、積極的な逆紹介によりUターンが崩れるといいた憂慮について先生はどうお考えでしょうか。

・Uターンが望ましいと思いますが、私個人の考えではUターンは崩れていると思います。Uターンは50%前後、Jターンは10%前後、Iターンは40%程度だと思います。特に在宅医療が必要となる患者については、後方病院や施設などに一旦転院する流れが多いことからUターンが難しいと思います。ただし、可能な限り紹介元と同一区内の専門科に逆紹介することが望ましいと思います。

・名古屋市内１６区の中でも中村区の救急搬送件数が圧倒的に多い。しかしながら、それに応需できる急性期の基幹病院が少ないように感じております。緩和を図るために近隣の中川区などの急性期病院へも搬送、或いは転送できるような急性期病院同士の連携も区を超えて連携を図る必要があると思います。そうでないと患者さんも困りますし、何れはパンク状態から医療事故へと発展しかねません。ここだけが基幹病院でも無理ですから、例えば名古屋セントラル病院に働き掛けるなどして、病病の密な連携を図ることも必要ではないでしょうか。

・名古屋市は全体からすれば救急車の不応需は少ないと思います。

・当院への救急入院についてはもの凄く敷居が高いですが、救急搬送されて来る患者さんの48%は入院しています。ところが他の管轄となる救命救急センターへ救急搬送される患者さんの救急入院率は20%を割っております。中村消防の救急隊は患者さんをもの凄く選りすぐって搬送しておりますので、これ以上捌き切れないのが現状です。骨折の患者さんに関して言えば搬送後すぐに手術をする必要がない症例が多いのですが、一度搬送されると入院させろと喚いてなかなか転送、或いは転院が困難な状況に陥ってしまいます。相手が救急隊や医療機関の先生方ではなく患者さんなので、説明させていただいても移って頂けません。患者さんが転送についてもう少し理解いただきければ取捨選択の余地もあり、もう少し上手く回ると思います。現状では救急隊にもう少しで満床であるとか、手術室が一杯であることを伝えますと、救急隊は入院が必要なのでわかりましたと言い、他をあたって頂いているのが現状です。我々も先生方の期待に応えられなくて申し訳なく思っておりますが、やはり、一般市民の方々に転送に対する理解がないと難しいです。

平成23年度（第6回）

名古屋第一赤十字病院開放型病床運営協議会（議事録）

開催日時　平成23年5月26日（木）15：00～

開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室3

出席者（敬称略）

医師会　名古屋市医師会地域医療担当理事　伊藤 知敬、西区支部区会長　龍華 二郎
中川区支部区会長　坂野 哲哉、中区支部区会長　服部 達哉、
海部医師会長　谷本 光保、中村区歯科医師会会長　平澤 琢二

当　院　院長 小林 陽一郎、副院長 宮田 完志、副院長 真野 和夫、副院長 伊藤 雅文、
副院長兼看護部長 小森 和子、管理局長兼業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、
救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋、救急副部長 小島 俊行、

地域医療連携課長 竹内 勝秀、西棟 10 階 A 看護師長 森 早苗

欠席者（敬称略）

医師会　中村区支部区会長　古山 明夫、北区支部区会長　山根 則夫

次第

1、開会

2、新構成委員について

3、議事

⑴報告事項

①平成 22 年度開放型病床の実績について

⑵協議事項

①開放型病床の運用について

②連携施設からの要望について

4、閉会

【議事内容（抜粋）】

・平成 22 年度の利用率は約 30%、診療科別で比較しますと内科系の患者さんが多いようですが、もちろん内科系だけでなく一般消化器外科や耳鼻科などでもご利用いただいております。
地域別では中村区、近隣地域の中川区、あま市からの利用が多いです。
疾患別では、半身麻痺、一過性脳虚血発作疑い、慢性閉塞性肺疾患の急性増悪、肺炎、肺気腫などが多く、その他には腸閉塞、胃潰瘍、肝障害、なかには虫垂炎、突発性難聴などの症例もあったようです。

・平均在院日数 14.35 日とありますが、この数字は開放型病床にいる期間だけの数字でしょうか。
開放型病床から一般病床へ転室される方もあるかと思いますが、転室した後も含めた日数なのでしょうか。

・開放型病床へ入院していた期間だけを対象とした平均在院日数であり、一般病床へ転室した後の日数は含まれておりません。

・開放型病床に入院していた患者さんが開腹手術を施行した場合、術後に一般病床へ転棟するのでしょうか、それともそのまま開放型病床にいるのでしょうか。

・傷病名がはっきりした場合には専門病棟へ転科転棟する場合が多いです。大変申し上げ難い事ですが、入院期間中に摂食不良、食思不振といった診断しかつかいない症例は、入院中にどのような治療をし、どのタイミングで退院とするか決めづらい患者さんもあります。また、最終的に肺炎疑いとしか診断がつかず 20 日以上入院していた患者さんもあり、なかなか確定診断がつけ難い患者さんも何人かいるようです。

・病棟には開放型病院共同指導記録の用紙が備えてあります。もし共同指導される際にはこの用紙にご記入いただければ、病棟スタッフがその写しを先生方へお渡しすることとなっております。この写しが先生方の請求の裏付けとなりますので、診療所のカルテに添付していただき共同指導料を算定してください。

・本協議会の構成委員 19 名のうち院外 8 名、院内 11 名となっております。このような協議会で外部委員が過半数以上を占めているのが通常です。運営協議会規定の中で決議事項に関する項目がありますが、現行の構成委員の割合のままでは決議をする度に院内側の意見が可決されてしまうことになります。やはり構成委員は院内委員より院外委員を多くした方が良いと思います。

・同数でも良いかと思いますが基本的には院外委員を多く構成するよう勧めております。構成委員でなければ会議に出席してはいけないわけではありませんが、院外委員の中には気にされる先生もい

らっしゃいます。委員構成上は院外委員を多くしておいた方が良いと思います。

・本協議会の前に開催しました地域医療支援病院運営委員会の構成委員に関しては、行政の指導の下で委員構成の承認を得ておりますので問題ないと思いますが、この開放型病床運営協議会の構成委員に関しては当院院長と相談の上、鋭意見直しを図っていきたいと思います。

平成 23 年度

名古屋第一赤十字病院・地域歯科医師会病診連携システム運営協議会(議事録)

開催日時　　平成 23 年 10 月 6 日(木)午後 2 時～

開催場所　　名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4

出 席 者(敬称略)

院　外　中村区歯科医師会会長　平澤　琢二、中川区歯科医師会会長　岡田　由美、海部歯科医師会会長　伊藤　貢、西春日井歯科医師会会長　加藤　高行、中村区歯科医師会(地域医療従事者研修委員)　飯田　丈二

院　内　院長　小林　陽一郎、副院長兼看護部長　小森　和子、管理局長　伊藤　彰勇、経理部長　坂井田　稔、救急センター長兼医療社会事業部長　花木　芳洋、歯科部長兼歯科口腔外科部長　大岩　伊知郎、地域医療連携課長　竹内　勝秀

(オブザーバー)歯科口腔外科副部長　藤原　成祥

欠 席 者(敬称略)

院　外　名古屋市歯科医師会会長代理　専務理事　加藤　善久

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、地域歯科医師会病診連携システム運営協議会構成委員及び協議会規則について

4、議事

(1)報告事項(平成 22 年度実績報告)

①紹介・逆紹介について

②共同利用、講演会・研修会・検討会実績について

③登録歯科医師数と比率について

④救急実績について

(2)協議事項

①第 9 回地域歯科医師会病診連携学術セミナーの開催について

開 催 日:平成 24 年 2 月 9 日(木)17 時～

(3)その他

5、閉会

【議事内容(抜粋)】

当院は、許可病床が 852 床、基準看護が7:1 です。特殊診療部門、設備、PET-CT など特殊医療機器の一覧になります。また、当院は新たな CT の増設も考え、現在検討中です。

・名古屋医療圏 55 万人、診療科 32、病床利用率が 88.3%、1日平均入院患者数 752 人、1日平均新入院患者数 53 人、1日平均外来患者数 1,624 人で前年度に比べ少し増加しました。平均在院日数は 12.4 日です。

救急患者数 27,409 人、救急入院患者数 4,593 人、救急車搬入患者数 6,235 人、総新入院患者数に対する救急入院患者数は 23.7%です。

院外処方率は 1.8%、登録歯科医師数は 351 人です。当院医師は 257 人、看護師 834 人、平成 23 年度第 1 四半期実績を参考に四半期別で比べても特に大きな変化はありません。

・共同利用の実績

PET-CT を 1 台増設しましたので、現在は 2 台で稼働しております。歯科でがんの疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、歯科口腔外科にご紹介下さい。

・講演会・研修会・検討会実績

平成 22 年度の歯科実績ですが、4 月に「歯周病治療は糖尿病の病態を改善するか」の話、本年 2 月に「小手術におけるトピックス」の話を藤原と佐藤がしており、院外医療従事者の参加者数は 115 名でした。

名古屋市内歯科医の当院への登録状況ですが、中村区は 86.4%、中川区は 75.0%、その他の区から少しご登録いただいています。近隣地域の海部地区は84.7%で72名の登録、西名古屋(西春日井)は 62.5%で 40 名の歯科医の先生方にご登録いただいております。

・歯科学術セミナーの開催履歴を参考に、今年度のテーマを決めていきたいと思います。先生方から何かご要望はありませんか。

・先生方から特にご要望がなければ、歯科外来診療環境体制加算に係わる緊急時の対応、医療事故、感染症対策などの医療安全系などはいかがでしょうか。

・歯科外来診療環境体制加算は施設基準が非常に厳しいことから、請求できている歯科医療機関は非常に少ないと思います。

・最近の医療現場では感染防止対策が強く言われており、歯科診療所では各々で医療安全、感染対策に取り組んでいます。我々の歯科診療所では病院と全く同じ取り組みを行っていくことは難しいですが、参考にできる部分が沢山あると思いますので、可能であれば日赤病院の医療安全や感染防止に対する取り組みについてご教示いただきたい。この要望は会員の中から上がってきております。

・実際に医科の方では新聞を賑わすような事例が起こっていますので、その点も考慮しながらご要望に添うようなお話ができるよう鋭意検討いたします。

・皆様がご承知のとおり愛知県済生会病院の歯科口腔外科が閉鎖したため、西区から親知らずの抜歯依頼が殺到し、外来及び手術が大変混雑しております。また、当科でも 9 月に歯科医が 1 名退職しました関係で、紹介患者を診させていただくにも少しお時間を頂戴しなければいけない状態になっております。我々も遅くても 2 週間以内には治療したい思いが強く、紹介当日に抜歯が可能な方には施術させていただいております。ただ、本年10月は学会も重なったこともあり、1ヶ月ほどお待ちいただいた場合もあります。今後も状況によってはお待ちいただく場合がありますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

平成 23 年度（第 6 回）

名古屋第一赤十字病院 地域医療従事者研修委員会（議事録）

・開催日時　平成 24 年 3 月 15 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 4

・出席者（敬称略）

院外　名古屋市中村区医師会 西川 達郎、海部医師会 横井　寿、(医)珪山会 鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会 飯田 丈二

院内　副院長兼看護部長 小森 和子、救命救急センター長兼医療社会事業部長花木 芳洋、歯科部長 大岩 伊知郎、薬剤部教育研修課長 池田 義明、地域医療連携係長 古川 恵美子

・欠席者（敬称略）

院内　副院長 宮田 完志、第一整形外科部長 大澤 良充、内分泌内科部長 山守 育雄、地域医療連携課長 竹内 勝秀

次第

1、開会

2、医療社会事業部長挨拶

3、新構成委員（自己紹介）と委嘱状（机上）について

4、委員会規程について

5、議事

（1）報告事項

①平成 23 年度（4 月～12 月）の講演会、研修会、検討会の実績報告について

②平成 24 年度の講演会、研修会、検討会の予定について

（2）協議事項

①院外員会からの研修会などの要望について

6、その他

7、閉会

【議事内容（抜粋）】

・平成 24 年 2 月 9 日(木)に開催いたしました地域歯科医師会病診連連携システム学術セミナーの開催報告になります。医科と同様にご出席いただきました先生方の地区、地域ごとの内訳になります。また、次頁には学術セミナーの開催履歴を添付してあります。

・カリキュラムコード一覧に中村区医師会夜間合同カンファとありますが、現在は海部医師会の先生方との合同になっています。

・平成 23 年度実績の内訳で 4 医療従事者技能実習､講習･研修会､講演会プログラムの 2011 年 6 月 4 日の開催場所はグランコート名古屋です。

・平成 24 年 7 月 21 日のセミナーについて、医師会側からとなりましたら、中村区医師会でも海部医師会でも構いません。

・大きなテーマも決定していませんので、その際は先生方にお願いいたします。

・一度、海部医師会の先生に講演していただきましたよね。

第 8 回開催の小児科の内容についてフジノ内科の藤野先生に演者でお願いしています

・地域医療連携課が主催となるもの、癌化学療法委員会･緩和ケア運営委員会、院内感染防止対策委員会等、委員会が主催となり開催する研修･講習･講演会の年間計画になります。開催日時が決定している講演会、開催日時は未定でも開催予定の研修･講習･講演会を計上しています。

・先程、先生からご指摘いただきました第 3 月曜に開催しています中村区･海部医師会合同の夜間カンファランスについては、先生方にご要望もお伺いし、当院の診療科を持ち回りで担当させていただいております。20 年近く夜間の合同カンファランスを開催しておりますが、中村区･海部医師会合同はここ数年です。改善事項等のご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

・日赤病院の先生方は入れ替わりが多く、その月の担当診療科の先生方全員の出席は難しいと思います。最後に担当診療科の先生方の顔写真等をスライドなりで見せてもらうことは難しいでしょうか。

・鋭意検討いたします。先生方のご要望全てに対応することは難しいかと思いますが、テーマや進め方など如何でしょうか。

・毎月、出席者が非常に少なく、同じ顔ぶれの先生ばかりでどうしたら出席者を増やせるかと中

村区医師会の幹部では話題になります。

・日時が決定しているから出席可能ということ、逆に日時が決定しているから出席できない場合もあり、この場合は、今後も出席は不可能かと思います。他にカンファランスの開催内容もあります。例えば、私は循環器なので、循環器内科の場合、事前に症例を発表しています。これをやめてしまい、出席された先生方に何か話題を出していただきフリーディスカッションを行うなり、先生方に講演していただくことでもいいと思います。たくさんの先生方にご出席いただき勧められる工夫があってもいいかと思います。すぐに大幅な変更は難しいですが、日時の変更も必要かもしれません。先生から提案のあったスライド１枚を加えることは対応できるようにしたいと思います。たくさんの先生方にご出席いただき、ご一緒に有効な時間を使えるよう魅力あるカンファにしたいと思います。いつでも構いませんので、地域医療連携室にでもご連絡下さい。

平成 23 年度（第 19 回）

名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会（議事録）

・開催日時　平成 23 年 5 月 26 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会理事 大輪 芳裕、名古屋市医師会地域医療理事 伊藤 知敬、中村区支部区会長代理 宮本 進行、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 坂野 哲哉、中区支部区会長 服部 達哉、海部医師会会長 谷本 光保、(医)珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 水野 輝雄

・学識経験者

名古屋大学名誉教授 青木 國雄、愛知県中村警察署長 平松 立信、名古屋市消防局救急部長 荒川 憲二

・市区町村・地域住民代表

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 宮田 完志、副院長 真野 和夫、副院長 伊藤 雅文、副院長兼看護部長 小森 和子、管理局長兼業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋、地域医療連携課長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

中村区支部区会長 古山 明夫、北区支部区会長 山根 則夫

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、新構成委員について（院外、院内の新構成委員の紹介）

4、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院実績報告　平成 22 年度）

①紹介と逆紹介（件数・率）について

1)年度・月別推移（過去 5 年度比較）2)診療科別紹介件数（過去 5 年度比較）
3)医療圏別紹介元先動向（過去 5 年度比較）
②共同利用の実績について
②-1 特殊検査実績　②-2 開放型病床
③講演会・研修会・検討会実績について
④救急医療の実績について
1）【救急搬送手段別年度別推移】過去 5 年度比較　2）【救急車：年度月別推移】過去 5 年度比較 3）【救急患者：搬送手段別転帰】年度別比較 4）【救急患者：緊急手術・緊急血管造影】年度別過去 5 年比較 5)【救急受診手段別診療科別・年度別比較】6)【救急受診手段別元動向】7）【救急受診手段別による紹介有無転帰】　8）【診療科別救急受診紹介状況】9）【診療科・地域別救急受診手段別転帰】

（2）協議事項
①次回開催日時について

（3）その他

5、閉会

【議事内容（抜粋）】

・放射線科への紹介件数が 1,349 件、初診件数が 1,170 件となっていますが、この放射線科受診の患者は検査目的か照射による放射線治療目的のどちらでしょうか。
・多くの場合は放射線診断の患者ですが、放射線治療目的の患者も含まれています。放射線治療の場合は、全身管理の必要がありますので治療だけというご依頼はそれほど多くないと思います。
・共同利用（特殊検査）の実績において、12 月の件数が他の月と比べて少ないように感じます。他院でもみられる傾向ですが理由はわかりますか。
・12 月は年末休みの関係で、通常月より平日数が少ないことが影響していると思います。
・PET-CT の件数が毎月 20～30 件程度で利用されていますが、この件数は病診連携の予約枠とほぼ比例しておりますか。
・PET-CT の予約枠は 1 日につき 2 枠ずつ設けてあります。月平均 40 件の予約枠がありますので、全て埋まってはいません。
・共同利用で検査を行うにあたり、同意書は紹介元医療機関の先生が患者にもらってくださいと言われた医療機関があると聞いたことがあります。同意書に関しては検査を行う医療機関で署名していただくものと思っておりますが、この件に関してはどうでしょうか。
・同意書に関しては、検査を施行する医療機関が患者からもらうのが原則だと思います。例えば CT であれば被爆、造影検査であれば腎機能のチェックやそのリスクなどの違いについては、検査を施行する医療機関でないと説明できない場合があると思います。
・紹介状は紹介元が当然用意し、検査の同意書に関しては検査施行する医療機関が取るべきだと思います。
・昨年の名古屋市全体の救急搬送件数が 10 万台を超えたと聞いております。更に今年 1 月以降の増加は昨年のペース以上で約 9%増えているとお聞きしました。なぜ、こんなに救急車を利用する方が増えているのか理由をご存知ですか。
・昨年の救急搬送件数は 103,470 件で名古屋市消防局として過去最大件数でした。この増加ペースで進むと今年は 11 万件ほどになると思います。名古屋市 16 区の中では、中村区と中区の件数が最も多いです。

増加理由に関しては国レベルでも明確な回答は難しいと思います。名古屋市だけでなく全国的に平成 22 年の救急搬送件数が増えたため、急遽、国から各市町村へアンケート調査の依頼がありました。調査結果から昨年は熱中症による救急搬送の増と報告されました。全体的に高齢者の利用が増えていることから、高齢者数の増加が大きな要因であろうと思われます。それ以外では、一旦治まったかのように思われた不適正利用者がまた増えているのではないかというのが国の分析でした。

・災害直後から次々とスタッフを派遣されたと思いますが、この派遣により院内に影響はありませんでしたか。

・当院は何班にもわたって多くのスタッフが救護に行っております。日本赤十字社愛知県支部だけの負担額として二千数百万円、救護へ行ったスタッフの内、医師だけでも 100 人近い人数が交代で災害地へ行っております。院内への影響も勿論あったと思いますが、災害救護は赤十字病院としての使命です。

・今までの災害時には救護へ行くようにと医師たちへ依頼することが多かったのですが、今般の災害に関しては規模の大きさや報道などから、自ら救護へ行かせて欲しいと名乗り出る医師が多数に上りました。私も感心したところですが、今般は医師に限らず各職種の方々が率先して救護へ向かってくれました。赤十字では 1 班を 6 名で構成しておりますが、現在のところ 14 班が救護へ行きました。勿論、救護班が出ている間は、残った院内職員でその人の仕事をカバーします。専門診療科の医師が救護へ行けば、その診療科全体に負担がかかりますが、それでもその周りの人達も応援し送り出しております。赤十字だけでなく愛知県医師会傘下の病院協会の病院もすべて救護へ行っております。当院は赤十字の分担で石巻地区、愛知県医師会は被害が特別大きかった南三陸町へ行ったと聞いております。

平成 23 年度（第 20 回）

名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会（議事録）

・開催日時　平成 23 年 8 月 25 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

・出席者（敬称略）

院外・<u>医療関係団体代表者</u>

愛知県医師会理事 大輪 芳裕、名古屋市医師会地域医療理事 伊藤 知敬、中村区支部区会長、古山 明夫、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 坂野 哲哉、(医)珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 水野 輝雄

・<u>学識経験者</u>

愛知県中村警察署警務課長 日置 雅美、名古屋市消防局救急部長 荒川 憲二

・<u>市区町村・地域住民代表</u>

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 宮田 完志、副院長 真野 和夫、副院長 伊藤 雅文、副院長兼看護部長 小森 和子、管理局長兼業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋、地域医療連携課長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・<u>医療関係団体代表者</u>

中区支部区会長 服部 達哉、海部医師会会長 谷本 光保

・学識経験者
名古屋大学名誉教授 青木 國雄
・市区町村・地域住民代表
中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院実績報告　平成 23 年度第 1 四半期）

①紹介と逆紹介（件数・率）について 1)年度・月別推移（過去 5 年度比較）2)診療科別紹介件数（過去 5 年度 第 1 四半期）3)地域別紹介元先動向（過去 5 年度 第 1 四半期）

②共同利用の実績について

②-1 特殊検査実績　②-2 開放型病床

③講演会・研修会・検討会実績について

④救急医療の実績について

1)【救急搬送手段別年度別推移】第 1 四半期　過去 5 年度比較 2)【救急車 : 年度月別推移】過去 5 年度比較 3)【救急患者：搬送手段別転帰】第 1 四半期　年度別比較 4)【救急患者：緊急手術・緊急血管造影】第 1 四半期　過去 5 年度比較 5)【救急受診手段別　診療科別】第 1 四半期　過去 5 年度比較 6)【救急受診手段別　地域別動向】第 1 四半期　過去 5 年度比較 7)【診療科別　救急受診手段別転帰】8)【地域別　救急受診手段別転帰】

（2）協議事項

①次回開催日時について

（3）その他

4、閉会

【議事内容（抜粋）】

・診療科別・紹介（初診）件数で、歯科口腔外科は以前 2 番目に多い診療科であり、今回は 1 番多くなっております。歯科口腔外科へはどのような方が紹介されているのでしょうか。虫歯、歯周炎の方なのか、あるいはインプラント目的の方でしょうか。

・当院の歯科口腔外科では一般歯科診療は行っておりません。基本的には合併症のある方で一般の開業歯科では抜歯ができないような患者さんや口腔内腫瘤の良悪鑑別などが多いようです。口腔外科領域の手術適応となる患者さんも多く紹介を受けているようです。

・診療科別・紹介逆紹介率の中で循環器内科の逆紹介率が 250%以上ということですが、これについて何か特別な理由はありますか。

・循環器内科の救急患者が多いことが最大の事由だと思います。救急搬送された患者さんの殆どを近くの開業医の先生方に帰しております。また、ペースメーカー埋め込み後の患者さんを定期的に不整脈外来としてフォローアップしておりますが、普段は高血圧や糖尿病などの投薬も含め近くの開業医の先生に診ていただいております。数か月に 1 度ペースメーカーチェック時の際には結果や気をつけていただきたいことを診療情報提供書に作成し、開業医の先生に帰していることも逆紹介率が高くなっている要因の一つと思います。

・第一日赤だけではなく他の急性期病院、地域医療支援病院でも起きていることですが、救急車の搬送件数が昨年度と比べて今年度は増えています。その理由について救急隊からは、高齢者の方の搬送が増えているのではないかと述べておりました。実際に救急搬送の患者の内訳で高

齢者の占める割合は増えているのでしょうか。年齢別、地区別などの統計はありますか。
・私の実感としては増えていると思います。
・今年の搬送データ資料を持参していないので正確にお伝えできませんが、平成 22 年度は平成 21 年度と比較して 5,000 件以上増えておりましたので、今年度も同じ程度の増加が予想されるのではないかと思っております。65 歳以上の方を搬送する割合は全体の 5 割くらいですが、その 5 割の母数もそもそも多いので、件数が伸びれば高齢者の搬送割合は伸びていくであろうと思います。平成 23 年度の搬送件数も全体の 5 割程度が高齢者という状態は変わらないと思います。今年の 65 歳以上の高齢者の搬送件数も約 8%増えておりますが、理由についての分析はされておりません。昨年に引き続き今年も気温が高い日がまだ続いていることから、夏の終わりまでに熱中症疑いで 1,200 件ほどの搬送が予想されます。一昨年の夏は気候がおだやかだったことも関係していると思いますが搬送件数は 500 件ほどであったと記憶しています。一昨年、その前年と 1 年間の搬送件数は 10 万件以下でした。基本的に年齢別、地区別などの統計はとっておりません。
・ここ 5 年間で名古屋市内の 2 次救急病院数はどう変わっているのでしょうか。
・少し減りました。以前は 64～65 病院でしたが、昨年 12 月で 62 病院だったと記憶しています。
・小児科の 2 次救急病院は一時減りましたが、去年からシステムが変わり月 1 回担当する病院が少し増えました。基本的に名古屋の 2 次輪番は、内科系、外科系、小児科、産婦人科の 4 つのグループに分かれて担当しておりましたが、小児科の輪番については破綻したためシステムを見直しました。準夜時間は 4 病院、深夜時間は 1 病院という形へ変更してから、準夜時間だけ参加する病院が 2～3 病院増えました。産婦人科については 1 病院です。産婦人科の周産期システムに乗せることで輪番担当は 1 病院だけとなっております。
・中川区休日急病診療所で 10 月 3 日より西部平日夜間急病センターを始めます。中村区、中川区、港区、熱田区に所属する医師会員の先生方に輪番で平日夜 9 時から 12 時まで担当していただきます。小児科の患者が多いことが予想されますが、上手くＰＲを行い、第一日赤などの救急外来に受診していた患者さんを西部平日夜間急病センターで吸収していきたいと思っております。西部平日夜間急病センターで診た患者さんで入院治療の必要があると思われるような方は、第一日赤や掖済会病院へお願いすることになると思います。その際は受け入れのほどお願いいたします。
・送っていただければ対応します。
・西部平日夜間急病センターの開始にあたり、リーフレットを用意して大きくＰＲを行っております。また、所在地は中川区役所や保健所と同敷地内で地下鉄高畑駅からも近く交通も便利です。一日 10 人ほどの受診はあると予想しております。第一日赤から西部平日夜間急病センターへ誘導していただいても結構ですのでよろしくお願いいたします。

平成 23 年度（第 21 回）

名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会（議事録）

・開催日時　平成 23 年 12 月 1 日（木）　13：00～
・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 1、2
・出席者（敬称略）
院外・医療関係団体代表者
愛知県医師会理事 大輪 芳裕、名古屋市医師会地域医療理事 伊藤 知敬、中村区支部区会長、古山 明夫、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 坂野 哲哉、北区支部区会長 山根

則夫、海部医師会会長 谷本 光保、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 水野 輝雄

・学識経験者

名古屋大学名誉教授 青木 國雄、愛知県中村警察署警務課長 日置 雅美、名古屋市消防局救急部長 荒川 憲二

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長代理 主幹 石原 正実、中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 宮田 完志、副院長 真野 和夫、副院長 伊藤 雅文、副院長兼看護部長 小森 和子、管理局長兼業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋、地域医療連携課長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

中区支部区会長 服部 達哉、(医)珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 鵜飼 泰光

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院実績報告　平成 23 年度第 2 四半期）

①紹介と逆紹介（件数・率）について

1)年度・月別推移（過去 5 年度比較）2)診療科別紹介件数（過去 5 年度 第 2 四半期）

3)地域別紹介元先動向（過去 5 年度 第 2 四半期）

②共同利用の実績について

②-1 特殊検査実績　②-2 開放型病床

③講演会・研修会・検討会実績について

④救急医療の実績について

1)【救急搬送手段別年度別推移】第 2 四半期　過去 5 年度比較　2)【救急車：年度月別推移】過去 5 年度比較 3)【救急患者：搬送手段別転帰】第 2 四半期　年度別比較 4)【救急患者：緊急手術・緊急血管造影】第 2 四半期　過去 5 年度比較 5)【救急受診手段別　診療科別】第 2 四半期　過去 5 年度比較 6)【救急受診手段別　地域別動向】第 2 四半期　過去 5 年度比較 7)【診療科別　救急受診手段別転帰】8)【地域別　救急受診手段別転帰】

（2）協議事項

①次回開催日時について

（3）その他

4、閉会

【議事内容（抜粋）】

・脳卒中と大腿骨頸部骨折の連携パスはすでに運用が始まっていますが、五大がんの連携パスについては来年を期限として運用を始めなければいけないことになっています。第一日赤でも五大がんの連携パスの運用は始まっていますか。

・愛知県下統一の五大がん連携パスはできあがっております。がん連携担当の看護師長が、つい先日も診療所の先生のところへ伺い、実際に運用できるよう具体的な説明を行いながら順次始

めております。乳がんについては既に実際の運用が始まっており実績もございます。
・脳卒中と大腿骨頸部骨折の患者さんで、連携パスを使っての転院件数は毎年増えております。それらの疾患でもパス転院の患者さんとパスを使わずに転院する患者さんがいらっしゃいます。それらの患者さんの違いは何かあるのでしょうか。
・特にないと思いますが、パス転院の患者さんは病状がある一定の人であり、基準を満たしているので、そういった患者さんの方が転院はスムーズといえます。一方、パスに該当しない患者さんはその基準から何らかの部分がはみでているためか、転院にあたっては要相談になります。それらの患者さんについてはリハビリができない患者さんも沢山いらっしゃいます。勿論どこかの病院には転院していただいておりますが、患者さんの違いでパス転院かそうじゃないか決めているわけではありません。引き受けていただける病院へお願いしているだけです。回復期のリハビリをたくさん行っていただける病院へパスの患者さんが転院するのは当然で、それ以外の患者さんについてはそれぞれの医療機関の先生方の実績と患者さんの希望に基づいて転院をお願いするのが現状だと思います。
・通常、紹介患者さんについてはその紹介元の医療機関へUターンでお返しすることが多いかと思いますが、ある病院で当該地区以外やその隣接地区でない遠い地区の医療機関へ患者さんを紹介されている場合がみられます。当該地区へ転院する患者さんが一般的である一方、遠い地区へ転院する患者さんの件数も多くみられるため、それらの患者さんはどのような理由で遠い地区へ転院となっているのか知りたく、第一日赤さんではどのようにされているのか質問しました。
・一つの理由として、急性期治療が終了し転院可能な状態になった時点で当該地区の医療機関では転院できるところが見つからなかった場合に、少し遠い地区の医療機関でも転院をお願いしているのだろうと私は理解しています。遠い地区でも転院可能な状態になった時期に転院していただいた方が患者さんのためでもあり、そのタイミングでリハビリに専念していただけることが大事だと思います。そのような場合には地域が跨って転院するのであろうと思います。積極的に遠い地区へ転院させているわけでは決してありません。
・五大がんの連携パスを運用する上で診療所の先生が一番心配されているのは、パスで診ている患者さんが悪化した場合に投薬などだけでフォローできる場合はいいですが、入院が必要になってくる際に連携先の病院が入院を引き受けていただけるのかどうかです。第一日赤さんが満床で入院できないということになると他の病院では普段診ていない患者さんだから引き受けられないと渋られることもあるかと思われますが、このような時はどうされるのでしょうか。もちろん基本的には引き受けていただけると思いますが、もし満床で受けられないという場合にはどのようにしたらよろしいのでしょうか。
・満床の場合と想定されてしまうと受けられないと答えざるを得ないです。しかし、基本的にはそのような患者さんは引き受けられるように運営しなければいけないと思っているということで今回はお許しいただけませんでしょうか。
・それは、一旦診察はしていただけるということでしょうか。
・現状を申し上げますと、満床ですが取り敢えず診察させていただいて当院から他院へ転送する可能性があることをご了解いただければ診察はさせていただきます。しかし、なぜ必ず入院させてもらえないのだと言って救急外来はよくお叱りを受けます。満床で何ともならない場合も多々あります。実際の不応需の原因の大多数が満床です。
・救急患者搬送手段別転帰の資料で救急車搬送の内の死亡患者は2.84％～4.38％ということでしたが、入院した後１カ月以内に亡くなられた率というのは、やはり救急入院された患者さんの

割合の方が高いのでしょうか。救急入院した甲斐があったかどうかということですが。入院した後の期間別死亡率がわかればと思いました。

・この資料にある死亡転帰は、救急外来で亡くなられた患者さんの件数です。特に死亡に関しては、歩いて来院された患者さんよりも救急車で搬送された患者さんの方が圧倒的に多いです。また、入院された場合も可能な限り調べてみますが、歩いて来院される方とは入院となる疾患が全然違いますので、予後についても救急搬送された患者さんの方が良くないです。意識のない患者さんを家族が連れてくる場合はめったにありません。心肺停止の患者さんは 350～400 人ほど搬送されてきております。名古屋市内の病院では 3 番目に多い数ですが、搬送された患者全員を救命できるわけではありません。そのため死亡となる方も多いです。

・中川区の休日急病診療所が本年 10 月 3 日より平日夜間急病センターとして診療を始めました。1 日の患者数は今のところ 2.5 人ですが、せっかく中村区、熱田区、港区、中川区の医師会員が出向しておりますので、ぜひ一般市民の方へ啓蒙していただいて、多くの患者さんに利用していただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

・救急患者さんを多く診ていただいてありがとうございます。先ほど院長が仰いましたように、病床稼働率をもっと上げるためこれから 2 年半かけ病棟を建築し、更に良くなるとは思いますが、やはりその後も、救急搬送やそれ以外でも患者さんは第一日赤に集中することが予想されます。そうなれば逆紹介をもっと増やさなければいけないと思いますし、受診制限とまでは言いませんが時間内に算定している選定療養費を時間外にも広げて算定し、本当に受診が必要な患者さんだけ受診するというような方向へ導くことも必要ではないでしょうか。先日、名古屋大学病院の連携会議に出席した際、夜中 2 時の受診のほとんどが泥酔ということで、夜中　でも選定療養費の算定をしたらどうかという話があがっておりました。第一日赤だけが時間外の選定療養費の算定をすると批判も大きいかと思いますので、大規模病院が一斉に始めれば本当に受診が必要な患者さんだけが来院するのではないでしょうか。医師の数も限られているわけですから、勤務医の負担を減らすという意味でも時間外の選定療養費を算定していく考えも一つの方策としては良いのではないでしょうか。

・ご承知のように、名古屋市は全国に模範となるような救急の輪番制度があります。内科、外科、産婦人科、小児科、休日については耳鼻咽喉科、眼科の輪番制を敷いており、他の都市から見ると大変うらやましがられる状況です。ところが産婦人科、小児科については医師数が減り、その輪番が組めなくなり 3 年ほど前から名古屋市救急医療のあり方検討会で新たに病院協会からの代表と名古屋市行政、医師会、小児科医会、産婦人科医会それぞれの代表者が集まって、どうすれば輪番制が維持できるのかということを検討しました。小児科医会の会長からだったと記憶していますが、先生の仰った時間外でも選定療養費を算定すれば良いのではないかという意見が出ました。しかし行政側はあまりいい顔をしません。先程も申し上げましたとおり当院は不応需となっている状態を申し訳なく思い、現状を維持させていくため最低限必要な病床を建築によって確保しますので、再来年からは対応できるのではないかと考えております。

・一昨年かもう少し前か救急搬送が 10 万件を下回り、少し減った年が 1 年間だけありました。救急車使用について大きく啓蒙した時だけ搬送件数が減りましたが、今年は去年の 6%以上増加しているという状況のようです。それを見ると搬送件数は毎年どんどん増えていくことが予想されます。名古屋市内もそうですが、全国的に 2 次救急病院が減っております。名古屋市内でも以前は 68～70 病院あったのが、今は 62～63 病院です。2 次救急病院として登録してあっても実際には対応していない病院もあります。2 次救急病院が減っていくことと共に救急搬送の件数も減っていけばいいのですが、搬送件数が増えていくような状況が今後も続きますと危

惧される面もあります。

・搬送件数が多いのは事実だと思います。私が申し上げることは適切ではないかもしれませんが、当院直近の救急隊3つの搬送件数はおそらく毎日40件以上あります。しかし、当院へ1日10件搬送されることはまずありません。救急隊によってきちんとトリアージされております。そのお陰で当院の搬送患者の入院率が高くなっております。2次医療圏で2次救急病院がほとんどなくなっている地域が愛知県の中にありますが、そこでは救急隊がほとんど全ての患者を救命救急センターへ搬送しており、そこの病院の搬送患者の入院率は20%を下回っています。3次救急病院が行わなければならない医療が、入院が必要な患者だけかと言われればそうではない部分は沢山ありますが、やはり入院率から言えば名古屋市消防を始めとする救急隊に協力をしていただいて、とにかく3次救急の少ない医療資源をなるべく有効に使うため、ベッドを空けて置き不応需を少なくすることが良いだろうと考えます。実際には3次救急患者が増えているわけではないです。もう一つ、院長は敢えて申し上げていなかったことですが、夜間来院される患者さんの中で選定療養費が算定できない方の割合は、昼間に来院される方よりも遥かに多いです。そのことを承知の上で時間外の選定療養費の算定を始めれば、算定できない患者さんが大手を振って沢山来院するだけで、良識ある人たちが受診し難くなってしまう流れは社会の矛盾だと思います。ですからこれは病院が行うことではなく、院長が申し上げたように行政にやっていただくことであり、有効に病院を利用していただきたいと思います。私たちは24時間起きて働いているわけではないということをぜひ行政の方から一般市民の方へお伝えいただきたいです。

平成23年度（第22回）

名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会（議事録）

・開催日時　平成24年2月23日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室3

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会理事 大輪 芳裕、名古屋市医師会地域医療理事 伊藤 知敬、中村区支部区会長、古山 明夫、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 坂野 哲哉、北区支部区会長 山根 則夫、(医)珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 水野 輝雄

・学識経験者

名古屋大学名誉教授 青木 國雄、愛知県中村警察署署長 立松 立信、名古屋市消防局救急部長 荒川 憲二

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長代理 主幹 石原 正実、中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 宮田 完志、副院長 伊藤 雅文、管理局長兼業務部長 伊藤 彰勇、救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

中区支部区会長 服部 達哉、海部医師会会長 谷本 光保

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

院内　副院長 真野 和夫、副院長兼看護部長 小森 和子、経理部長 坂井田 稔、地域医療連携課長 竹内 勝秀

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院実績報告　平成 23 年度第 3 四半期）

①紹介と逆紹介（件数・率）について

1)年度・月別推移（過去 5 年度比較）2)診療科別紹介件数（過去 5 年度 第 3 四半期）

3)地域別紹介元先動向（過去 5 年度 第 3 四半期）

②共同利用の実績について

②-1 特殊検査実績　②-2 開放型病床

③講演会・研修会・検討会実績について

④救急医療の実績について

1)【救急搬送手段別年度別推移】第 3 四半期　過去 5 年度比較　2)【救急車：年度月別推移】過去 5 年度比較 3)【救急患者：搬送手段別転帰】第 3 四半期　年度別比較 4)【救急患者：緊急手術・緊急血管造影】第 3 四半期　過去 5 年度比較 5)【救急受診手段別　診療科別】第 3 四半期　過去 5 年度比較 6)【救急受診手段別　地域別動向】第 3 四半期　過去 5 年度比較 7)【診療科別　救急受診手段別転帰】8)【地域別　救急受診手段別転帰】

（2）協議事項

①次回開催日時について

（3）その他

4、閉会

【議事内容（抜粋）】

・共同利用の特殊検査実績の PET-CT 合計数が、平成 22 年度第 3 四半期 76 件、平成 23 年度第 3 四半期 49 件と激減しております。平成 22 年度まで当院の PET-CT は 1 台で稼働しており、予約数が非常に増えたことから検査の待ち期間も 3 週間となっておりました。そのため急遽、昨年もう 1 台 PET-CT を増設しました。増設したことにより予約件数も増えていくものと思っておりましたが、今年度の第 3 四半期実績からは大きな減少を示しております。私の推察ですが、日本人全体が放射能の被曝を避け検査を遠慮していると思います。先生方も日常診療の際に、患者さんが検査を嫌がる、若しくはそのように感じることはありませんか。当院の PET-CT 予約状況をみますと、明日にでも検査が可能な状態です。放射線被曝に関しては、昨年 3 月の原発事故以来、多くの人が敏感になっているように感じております。

・今年度、医師会主催で放射線障害についての講演会を 2 回開催しました。1 回目は広島大学腫瘍学教授の神谷先生にご講演いただき、100 ミリシーベルトを越えなければ大丈夫だという安全説を述べられました。この講演では市民の中に非常に反対する人がみえましたし、会場外でビラを配るということも起きておりました。2 回目は別の先生にご講演いただきましたが、安全性はわからないという内容を述べられたところ、非常に聴衆の共感を得られたようです。やはり一般の方はかなり敏感になっているということが講演会から感じられました。

・PET-CT についてはもっと需要があると考え増設しましたが、思いのほか需要件数が伸びずに減ったことは予想外でした。CT に関しては 1 回だけ撮影するという方も多いですが、PET-CT についてはフォローアップで毎年撮影したり手術前後合わせて何度も撮影したりすることも

あるため、危惧された方が多いのかなと思いました。

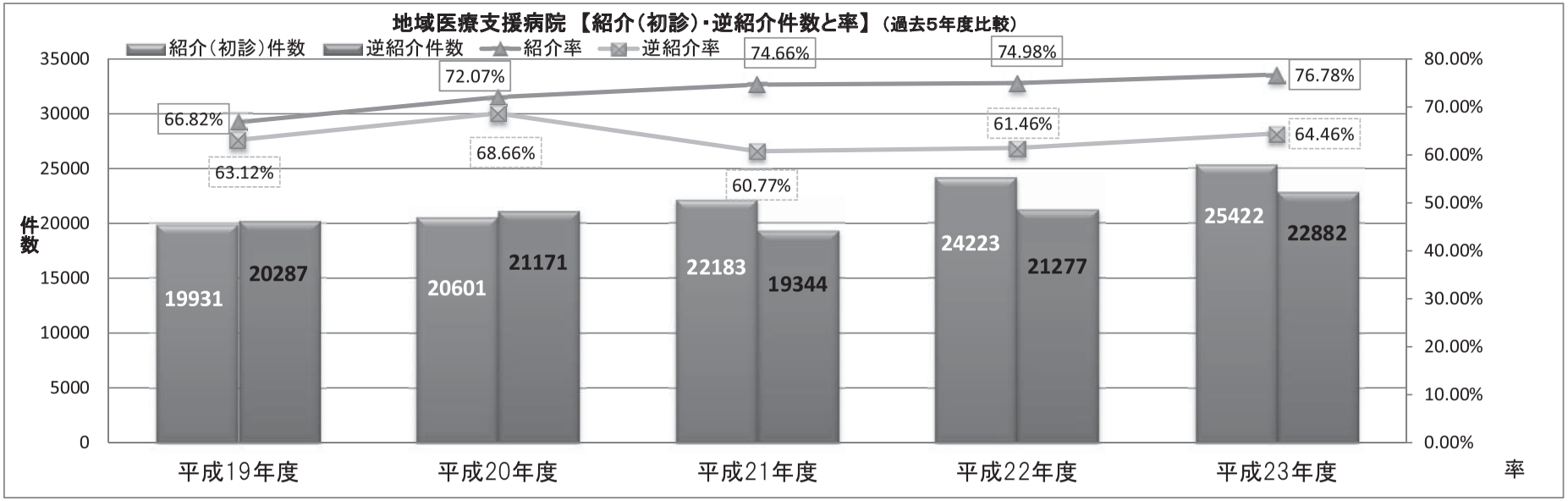
・救急車搬送による地域別動向と非救急車搬送による地域別動向のグラフについて、以前の報告までは多い地区の順番が中村区、あま市、中川区という順番でした。しかし、今回の報告では中村区、中川区、あま市となっております。あま市の方でも受入れ先が増えたのでしょうか。或いは他に何か理由があるのでしょうか。

・現状では医療機関で処理しきれない数の救急車受入れ要請があります。そのため、名古屋市内の病院も海部地区の病院も大混乱を極めていますので、中川区とあま市の順序の逆転については、搬送件数の増加による混乱くらいしか思い当たりません。現実に 10 件以上の病院から断られたあげく遠い地区へ搬送せざるを得なかったということが何回か起きています。その影響は搬送される先の統計に少し変化を出しているかもしれません。

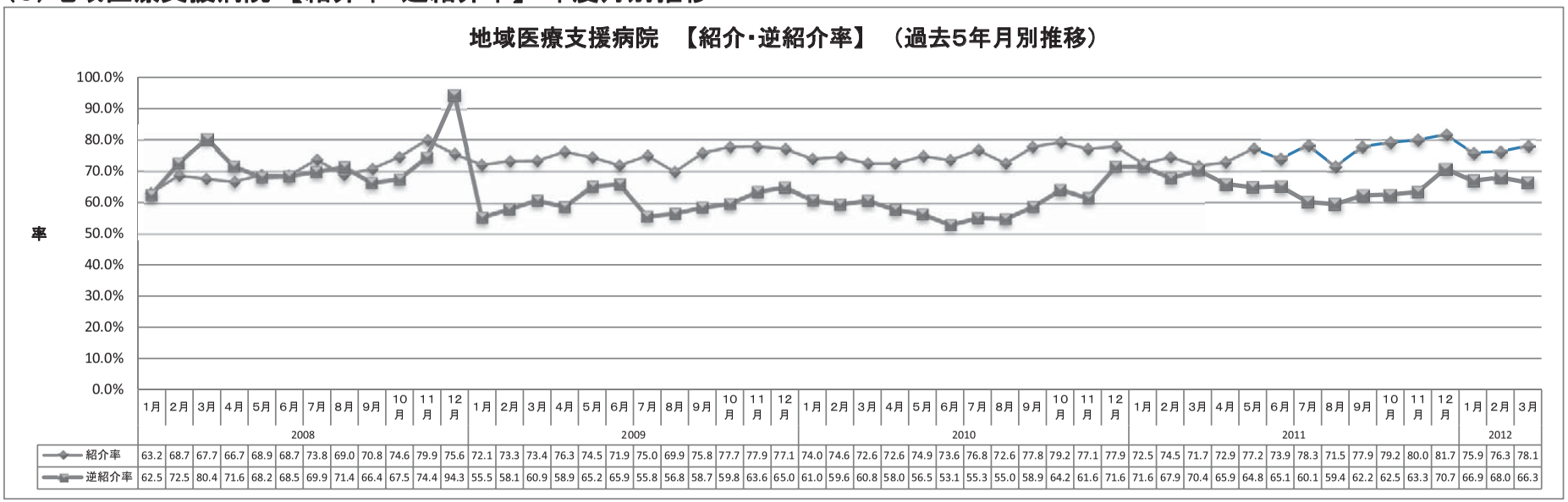
・搬送受入れを辞退することは理解できますが、辞退された場合その救急車はどこへ行くのでしょうか。10 件以上の病院が受入れを断った場合、2 次救急病院へ搬送されるのでしょうか。

・名古屋市消防も市外の消防も最終的にはどこかの医療機関へ受入れをお願いしているのだと思います。当院は一度断ったけれども最終的に再度受入れ要請の電話が入り、もう少し待ってでもいいから受け入れてもらわないと困ると言われる事案が月に何件もあります。その場では診られなくても最終的には診てくださいというほど、現場の救急隊の方は困っていると思います。全体の搬送件数が 1 割増えその後も増加傾向の印象を受けますので、現場はとても混乱していると思います。

（2）地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）



（3）地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】 年度月別推移



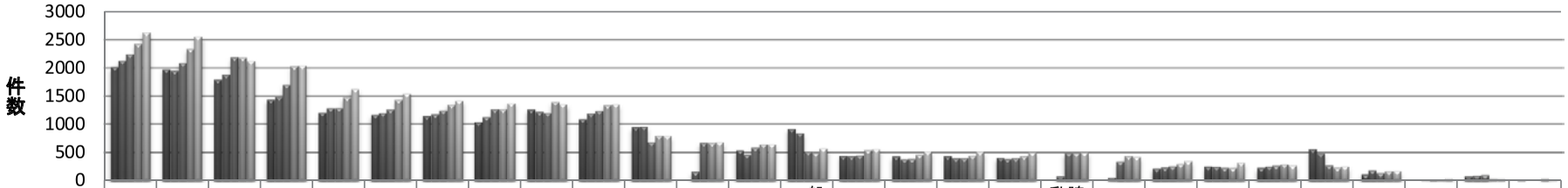
	2008												2009											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
紹介率	63.2	68.7	67.7	66.7	68.9	68.7	73.8	69.0	70.8	74.6	79.9	75.6	72.1	73.3	73.4	76.3	74.5	71.9	75.0	69.9	75.8	77.7	77.9	77.1
逆紹介率	62.5	72.5	80.4	71.6	68.2	68.5	69.9	71.4	66.4	67.5	74.4	94.3	55.5	58.1	60.9	58.9	65.2	65.9	55.8	56.8	58.7	59.8	63.6	65.0

	2010												2011											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
紹介率	74.0	74.6	72.6	72.6	74.9	73.6	76.8	72.6	77.8	79.2	77.1	77.9	72.5	74.5	71.7	72.9	77.2	73.9	78.3	71.5	77.9	79.2	80.0	81.7
逆紹介率	61.0	59.6	60.8	58.0	56.5	53.1	55.3	55.0	58.9	64.2	61.6	71.6	71.6	67.9	70.4	65.9	64.8	65.1	60.1	59.4	62.2	62.5	63.3	70.7

	2012		
	1月	2月	3月
紹介率	75.9	76.3	78.1
逆紹介率	66.9	68.0	66.3

(4)【診療科別】 初診(紹介)件数 (過去5年度比較)

【診療科別】 紹介(初診)件数 (過去5年度比較)

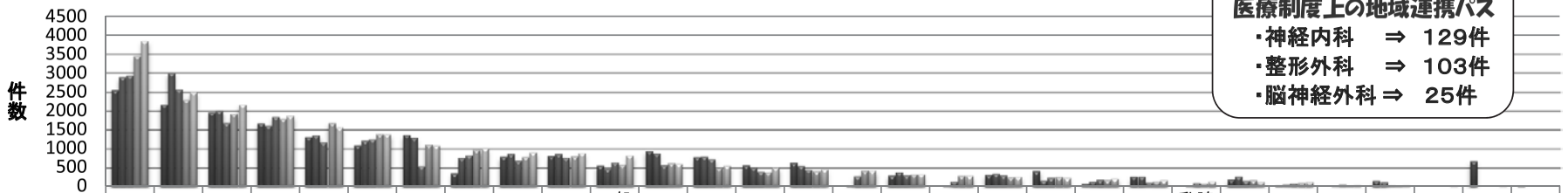


	消化器科	歯科口腔外科	産婦人科	整形外科	小児科	循環器科	耳鼻咽喉科	神経内科	呼吸器科	放射線科	泌尿器科	女性泌尿器科	眼科	一般消化器外科	内分泌科	皮膚科	脳神経外科	血液内科	乳腺内分泌外科	血管外科	形成外科	腎臓内科	小児外科	心臓血管外科	呼吸器外科	総合診療科	内科	精神科
H19年度	2027	1984	1803	1450	1215	1175	1155	1045	1269	1098	960	0	549	927	451	442	444	417	0	0	228	264	240	569	123	0	86	10
H20年度	2138	1960	1892	1499	1294	1207	1184	1136	1229	1200	969	174	472	851	445	391	411	394	89	66	246	259	262	493	196	3	101	0
H21年度	2252	2099	2199	1714	1295	1270	1251	1274	1208	1244	689	681	596	527	459	398	411	412	502	348	267	242	279	284	149	20	113	0
H22年度	2437	2348	2193	2040	1491	1447	1356	1273	1405	1349	805	677	654	501	553	471	455	446	497	448	307	239	301	244	181	17	43	45
H23年度	2636	2564	2131	2051	1639	1555	1432	1382	1362	1362	802	689	653	581	570	528	523	511	507	434	358	330	282	262	184	46	43	5

(5)【診療科別】 逆紹介件数 (過去5年度比較)

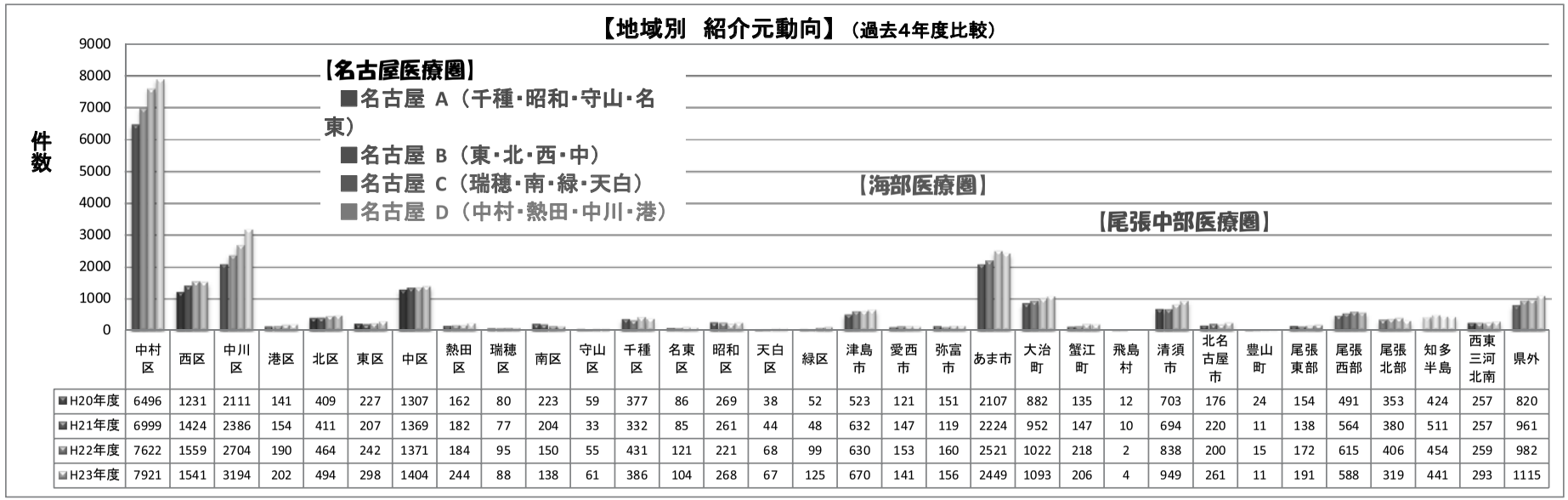
【診療科別】 逆紹介件数 (過去5年度比較)

H23年度実績
医療制度上の地域連携パス
- 神経内科 ⇒ 129件
- 整形外科 ⇒ 103件
- 脳神経外科 ⇒ 25件



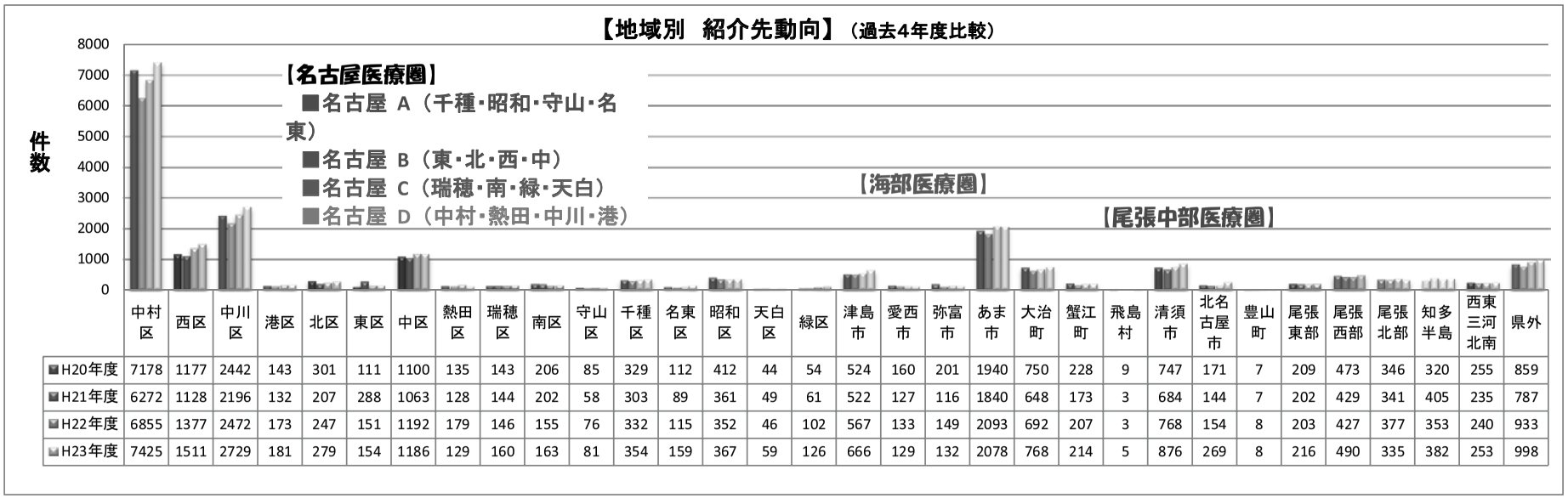
	循環器科	歯科口腔外科	整形外科	神経内科	消化器科	放射線科	眼科	産婦人科	内分泌科	小児科	一般消化器外科	呼吸器科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	心臓血管外科	血管外科	腎臓内科	女性泌尿器科	血液内科	呼吸器外科	形成外科	泌尿器科	乳腺内分泌外科	皮膚科	内科	総合診療科	小児外科	化学療法内科	精神科	リハビリ科
H19年度	2565	2182	1976	1684	1322	1103	1377	362	806	827	572	955	797	582	651	0	302	0	325	421	86	276	0	202	39	0	165	0	689	21
H20年度	2908	3012	2022	1620	1368	1230	1305	774	879	879	482	892	809	518	565	35	391	24	350	171	142	276	19	278	64	7	128	0	0	2
H21年度	2949	2584	1695	1856	1185	1266	559	843	702	779	656	585	742	404	456	287	312	141	312	247	196	117	107	166	95	61	42	0	0	0
H22年度	3468	2309	1939	1803	1688	1399	1124	986	799	818	599	638	509	391	419	433	333	296	261	267	189	144	95	185	114	37	30	0	2	2
H23年度	3862	2512	2178	1882	1573	1395	1099	1024	919	902	839	621	571	512	469	436	337	299	269	244	225	185	149	136	132	52	45	7	7	1

(6)【地域、医療圏別】 2次医療圏別紹介元動向(過去4年度比較)



	中村区	西区	中川区	港区	北区	東区	中区	熱田区	瑞穂区	南区	守山区	千種区	名東区	昭和区	天白区	緑区	津島市	愛西市	弥富市	あま市	大治町	蟹江町	飛島村	清須市	北名古屋市	豊山町	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河北南	県外
H20年度	6496	1231	2111	141	409	227	1307	162	80	223	59	377	86	269	38	52	523	121	151	2107	882	135	12	703	176	24	154	491	353	424	257	820
H21年度	6999	1424	2386	154	411	207	1369	182	77	204	33	332	85	261	44	48	632	147	119	2224	952	147	10	694	220	11	138	564	380	511	257	961
H22年度	7622	1559	2704	190	464	242	1371	184	95	150	55	431	121	221	68	99	630	153	160	2521	1022	218	2	838	200	15	172	615	406	454	259	982
H23年度	7921	1541	3194	202	494	298	1404	244	88	138	61	386	104	268	67	125	670	141	156	2449	1093	206	4	949	261	11	191	588	319	441	293	1115

(7)【地域、医療圏別】 2次医療圏別紹介先動向(過去4年度比較)



	中村区	西区	中川区	港区	北区	東区	中区	熱田区	瑞穂区	南区	守山区	千種区	名東区	昭和区	天白区	緑区	津島市	愛西市	弥富市	あま市	大治町	蟹江町	飛島村	清須市	北名古屋市	豊山町	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河北南	県外
H20年度	7178	1177	2442	143	301	111	1100	135	143	206	85	329	112	412	44	54	524	160	201	1940	750	228	9	747	171	7	209	473	346	320	255	859
H21年度	6272	1128	2196	132	207	288	1063	128	144	202	58	303	89	361	49	61	522	127	116	1840	648	173	3	684	144	7	202	429	341	405	235	787
H22年度	6855	1377	2472	173	247	151	1192	179	146	155	76	332	115	352	46	102	567	133	149	2093	692	207	3	768	154	8	203	427	377	353	240	933
H23年度	7425	1511	2729	181	279	154	1186	129	160	163	81	354	159	367	59	126	666	129	132	2078	768	214	5	876	269	8	216	490	335	382	253	998

(8)平成23年度医療機器等の共同利用の実績

1　共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数(平成23年4月～平成24年3月)
特殊検査実績　1

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	5	15	19	19	17	26	22	13	14	14	13	15	192
脳波	1	5	1	2	1	2	4	1	0	0	0	0	17
MR(頭頸部)	58	56	53	55	38	59	42	45	39	42	33	51	571
MR(躯幹)	12	10	7	9	16	17	24	19	21	12	14	14	175
MR(四肢)	0	0	0	1	1	4	2	3	4	5	3	6	29
CT(頭頸部)	5	2	7	3	5	7	3	3	4	3	7	5	54
CT(躯幹)	25	31	34	30	30	28	24	35	34	16	18	26	331
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PET－CT	15	20	14	20	25	16	18	14	17	26	27	30	242
64列マルチスライスCT	16	12	15	9	7	15	14	16	14	13	14	14	159
シンチグラム	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
骨塩定量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療	4	4	7	1	2	3	4	6	3	4	2	1	41
合　計	143	155	157	149	142	177	157	155	150	135	132	162	1814

開設者と直接関係のない医療機関延べ数(平成23年4月～平成24年3月)
特殊検査実績　2

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	5	15	19	19	17	26	22	13	14	14	13	15	192
脳波	1	5	1	2	1	2	4	1	0	0	0	0	17
MR(頭頸部)	58	56	53	55	38	59	42	45	39	42	33	51	571
MR(躯幹)	12	10	7	9	16	17	24	19	21	12	14	14	175
MR(四肢)	0	0	0	1	1	4	2	3	4	5	3	6	29
CT(頭頸部)	5	2	7	3	5	7	3	3	4	3	7	5	54
CT(躯幹)	25	31	34	30	30	28	24	35	34	16	18	26	331
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PET－CT	15	20	14	20	25	16	18	14	17	26	27	30	242
64列マルチスライスCT	16	12	15	9	7	15	14	16	14	13	14	14	159
シンチグラム	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
骨塩定量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療	4	4	7	1	2	3	4	6	3	4	2	1	41
合　計	143	155	157	149	142	177	157	155	150	135	132	162	1814

2　共同利用実績(開放型病床)
共同利用による病床利用率(平成23年4月～平成24年3月)

区　分	開放病床		利用登録医数	利用した医師数	共同指導回数	利用率
	入院患者数	入院患者延人数				
平成23年4月	3	66	1161	3	0	44.0%
平成23年5月	1	26	1165	1	0	16.8%
平成23年6月	5	42	1171	5	0	28.0%
平成23年7月	3	78	1173	3	0	50.3%
平成23年8月	5	51	1173	5	0	32.9%
平成23年9月	5	60	1178	5	0	40.0%
平成23年10月	4	62	1181	4	0	40.0%
平成23年11月	2	61	1184	2	0	40.7%
平成23年12月	3	67	1185	3	0	43.2%
平成24年1月	4	39	1183	4	0	25.2%
平成24年2月	6	67	1185	6	0	46.2%
平成24年3月	3	68	1185	3	0	43.9%
年間合計・年間病床利用率	44	687		44	0	37.5%
月平均	3.7	57.3	1177	3.7	0	40.0%

(9)病診連携システム登録医数

地　区	医師会会員数(A)	医師会会員数(B)	登録医師(A)	登録医師(B)	登録医師比率(A)	登録医師比率(B)	登録医師比率(A)+(B)	歯科医師会会員数	登録歯科医師	登録歯科医師比率	総比率
中村区	155	188	122	25	78.7%	13.3%	42.9%	119	101	84.9%	53.7%
西　区	101	62	69	10	68.3%	16.1%	48.5%	87	23	26.4%	40.8%
中川区	119	91	71	10	59.7%	11.0%	38.6%	99	76	76.8%	50.8%
中　区	157	152	71	12	45.2%	7.9%	26.9%	134	16	11.9%	22.3%
熱田区	48	51	10	3	20.8%	5.9%	13.1%	37	3	8.1%	11.8%
東　区	75	68	30	1	40.0%	1.5%	21.7%	65	2	3.1%	15.9%
千種区	163	176	24	4	14.7%	2.3%	8.3%	124	1	0.8%	6.3%
守山区	95	65	17	0	17.9%	0.0%	10.6%	63	0	0.0%	7.6%
北　区	127	123	32	5	25.2%	4.1%	14.8%	89	6	6.7%	12.7%
港　区	68	46	12	0	17.6%	0.0%	10.5%	53	2	3.8%	8.4%
名東区	122	85	17	5	13.9%	5.9%	10.6%	98	4	4.1%	8.5%
天白区	109	81	15	2	13.8%	2.5%	8.9%	73	2	2.7%	7.2%
緑　区	142	68	14	1	9.9%	1.5%	7.1%	101	1	1.0%	5.1%
南　区	100	142	14	2	14.0%	1.4%	6.6%	73	0	0.0%	5.1%
瑞穂区	92	71	10	0	10.9%	0.0%	6.1%	69	1	1.4%	4.7%
昭和区	100	158	10	4	10.0%	2.5%	5.4%	77	5	6.5%	5.7%
名古屋市合計	1,773	1,627	538	84	30.3%	5.2%	18.3%	1,361	243	17.9%	18.2%
海部	129	77	107	19	82.9%	24.7%	61.2%	85	72	84.7%	68.0%
西名古屋	71	66	38	5	53.5%	7.6%	31.4%	64	40	62.5%	41.3%
津島	44	29	21	1	47.7%	3.4%	30.1%				30.1%
尾北	129	144	4	0	3.1%	0.0%	1.5%				1.5%
小牧	74	38	1	0	1.4%	0.0%	0.9%				0.9%
知多郡	176	83	1	0	0.6%	0.0%	0.4%				0.4%
一宮市	217	279	0	1	0.0%	0.4%	0.2%				0.2%
春日井市	178	100	1	1	0.6%	1.0%	0.7%				0.7%
稲沢市	71	54	4	1	5.6%	1.9%	4.0%				4.0%
豊田加茂	197	212	2	1	1.0%	0.5%	0.7%				0.7%
総合計	3,059	2,709	717	113	23.4%	4.2%	14.4%	1,510	355	23.5%	16.3%

名古屋大学	名古屋市立大学	藤田保健衛生大学	愛知医科大学
185	128	83	80

（10）病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	講　　師	参加者（医療従事者）院 内	参加者（医療従事者）院 外
第 1 回	平成11年10月23日(土) 午後3時～午後4時30分 日本赤十字愛知女子短期大学 4階階段教室	狭心症をめぐって	座長：循環器科部長　大野三良 内科側から循環器科副部長　神谷春雄 外科側から心臓外科副部長　伊藤敏明	39名	80名
第 2 回	平成12年6月24日(土) 午後2時30分～午後4時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　内視鏡　up－to－date 2　内視鏡的止血処置と 3　内視鏡手術	司会：第二消化器科部長　日下部篤彦 内視鏡による異物除去 消化器科医師　佐久間晶子 主として上部消化管 第一消化器科副部長　春田純一 主として下部消化管及び胆道系 第二消化器科副部長　山口丈夫 診療所医師の立場から 竹田内科胃腸科クリニック　竹田信彦	28名	53名
第 3 回	平成13年9月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　内視鏡　up－to－date 2　外科系各科における今日の 3　内視鏡治療	外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科 各科から主にVideoを中心に発表 開業医における内視鏡検査の実情 奥村胃腸科外科院長　奥村恪郎	39名	51名
第 4 回	平成14年9月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　Brain　attackの時代に診療の現場から 2　診断・超音波診断の有用性・SPECTの有用性 3　治療・外科的治療の現状 ・脳動脈瘤、脳出血の治療、 4　閉塞性脳血管障害の治療 ・リハビリテーションの効果 5　・エビデンスに基づく二次予防	司会：神経内科部長　真野和夫 脳神経外科部長　稲尾意秀 診断・超音波診断の有用性：神経内科：中野智伸SPECTの有用性：神経内科：山下史国 脳動脈の治療：脳神経外科：西沢俊久　脳出血の治療：脳神経外科副部長：池田浩司 閉塞性脳血管障害：脳神経外科：壁谷隆介　リハビリテーションの効果：鵜飼リハビリテーションオン病院副院長：鄭　統主 神経内科副部長　後藤洋二	32名	44名
第 5 回	平成15年10月25日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	糖尿病 より良い全身管理を目ざして 1　診療所の立場から 2　糖尿病網膜症の実態、内科医に期待したいこと 3　糖尿病性腎症の自然暦、現況と腎症管理の基本的視点糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか 4　冠動脈疾患の視点から見た糖尿病とその予防 5　抹梢血管病変から見た糖尿病とその予防 6　まとめ	司会：第三内科部長　山守育雄 糖研会R＆Kクリニック鬼頭内科 院長 鬼頭柳三 眼科医師　鈴木俊光 第二内科部長代理　市田静憲 第一循環器科副部長　佐野宏明 第一外科副部長　山本清人 第三内科部長　山守育雄	23名	49名
第 6 回	平成16年10月23日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	高血圧症-合併症を防ぐには- 1　家庭医からみた高血圧症 2　高血圧と腎障害 3　高血圧と脳血管障害 4　高血圧と心臓病 5　まとめ	司会：副院長　大野三良 藤田内科小児科医院 院長　藤田淳士 第二内科部長　市田静憲 脳神経外科副部長　加藤恭三 第一循環器科副部長　佐野宏明 副院長　大野三良	23名	47名
第 7 回	平成17年10月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「めまい」について 1「メニエール病とその注意点」 2　耳鼻科医の立場から 3　循環器科医の立場から 4　神経内科医の立場から 5　脳神経外科医の立場から 副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」 6　精神科医の立場から	司会：第一神経内科部長　真野和夫 吉川耳鼻咽喉科 院長　吉川兼人 名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科医師　古橋　篤 名古屋第一赤十字病院 第二循環器科副部長　牧野光恭 名古屋第一赤十字病院 第二神経内科部長　後藤洋二 名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　池田浩司 名古屋第一赤十字病院 精神科部長　中西雅夫	30名	61名

第 8 回	平成18年10月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	「プライマリー・ケアで診る家庭医に必要な小児救急の知識」 1 開業医から診た小児救急の問題点について 2 名古屋第一赤十字病院小児科の立場から (1)発熱の対処、紹介、入院の目安 (2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院回避のコツ (3)喘鳴、気道感染などの対処 3 名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から「小児期発疹のあれこれ」 4 勤務医から診療所へ、診療所から勤務医へ	座長:第四小児科部長 羽田野 爲夫 フジノ内科 藤野 均先生 名古屋第一赤十字病院 小児科医長 丸山 幸一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長 羽田野 爲夫 名古屋第一赤十字病院 第一小児科副部長 月舘 千寿子 名古屋第一赤十字病院 皮膚科部長 安藤 浩一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長 羽田野 爲夫	28名	92名
第 9 回	平成19年10月20日(土) 午後6時30分～午後8時 名古屋第一赤十字病院・病診連携システム運営協議会 ヒルトン名古屋	平成20年度開始の特定健診に臨んで 講演Ⅰ 「当院での特定健診・特定保健指導」 講演Ⅱ 「開業医から考える特定健診とは」 講演Ⅲ 「特定健診・特定保健指導とNPOのかかわり」	座長:名古屋第一赤十字病院 副院長 大野 三良 名古屋第一赤十字病院 健診部長 野村 史郎 細川外科クリニック 院長 細川 秀一 先生 愛知県医師会 健診・保健事業理事 水上クリニック 院長 水上 哲秀 先生	15名	100名
第 10 回	平成20年7月12日(土) 午後5時～午後7時 名古屋第一赤十字病院・病診連携システム運営協議会 名古屋ルーセントタワー	在宅医療に向けて Ⅰ)診療所側から 1 「在宅医療の病診連携における問題点」 2 「診療所からみた在宅医療のための病診連携」 Ⅱ)病院側から 1 「在宅における胃瘻管理」 2 「在宅における酸素療法」 3 「在宅における排尿管理」 4 「がん性疼痛・緩和ケア」	座長:名古屋第一赤十字病院 副院長 酒井 秀造 (医)心月会 じょうど医院 森 光春 先生 (医)古山医院 院長 古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 消化器科 山田 恵一 名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長 野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 泌尿器科部長 村瀬 達良 名古屋第一赤十字病院 緩和ケア科部長 北折 健次郎	17名	56名
第 11 回	平成21年7月11日(土) 午後5時～午後7時 名古屋第一赤十字病院・病診連携システム運営協議会 名古屋ルーセントタワー	日常臨床におけるうつ病対策 講演Ⅰ 「当院での特定健診・特定保健指導」 「見逃しやすいうつ病患者とその対応」 講演Ⅱ 「うつ病の早期発見と治療」	座長:名古屋第一赤十字病院 副院長 大野 三良 中村公園メンタルクリニック 院長 佐藤 信幸 先生 名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 (医)北林会 北林病院 名誉院長 太田 龍朗 先生	27名	72名
第 12 回	平成22年7月10日(土) 午後5時～午後7時 名古屋第一生従事病院・病診連携システム運営協議会 名鉄グランドホテル	「投薬禁忌の注意点」と 「がんのクリティカルパス」 講演Ⅰ 「併用注意、禁忌薬剤について」 ～各診療科からのコメントを含めて～ 講演Ⅱ 診療所側から 「がん地域連携クリティカルパスにおける開業医の役割」 病院側から 1 「作成から運用と進捗状況について」 2 「胃癌・大腸癌の地域連携クリティカルパスについて」 3 「乳癌地域連携パスの運用について」	座長:名古屋第一赤十字病院 副院長 大野 三良 名古屋第一赤十字病院 薬剤部 教育研修課長 池田 義明 座長:名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長 神谷 春雄 (医)順英会 太田なごやかクリニック 院長 太田 英正 先生 名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科部長 野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 第二一般・消化器外科部長 竹内 英司 名古屋第一赤十字病院 乳腺・内分泌外科部長 後藤 康友	43名	87名
第 13 回	平成23年7月9日(土) 午後5時～午後7時 名古屋第一生従事病院・病診連携システム運営協議会 名鉄グランドホテル	～東日本大震災における医療活動と支援～ 講演Ⅰ 「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」 講演Ⅱ 「東日本大震災(大津波):被災地の砦として」	座長:名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋 名古屋市医師会中村区支部 副会長 細川 秀一 先生 石巻赤十字病院 院長 飯沼 一宇 先生	42名	49名

（11）平成23年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2012年2月9日	木	17:00 ～ 18:30	第9回地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	『院内感染対策上、注意すべき病原体　最近の話題』 講師：名古屋第一赤十字病院 看護師長 （感染対策指導看護師）高坂　久美子 『手術時（中央手術室・外来）の感染対策環境』 講師：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎	医療従事者	20名	61名
2011年9月22日	木	10:00 ～ 12:00	MC事後検証会 西春日井広域事務組合　西消防署 3階講堂 参加対象：医療従事者	講師：名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、救命救急士	1名	34名
2011年11月30日	水	10:00 ～ 12:00	MC事後検証会 西春日井広域事務組合　西消防署 3階講堂 参加対象：医療従事者	講師：名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部長　部長　花木 芳洋	医師、救命救急士	1名	43名
2012年1月20日	金	10:00 ～ 12:00	MC事後検証会 中村消防署 参加対象：医療従事者	講師：名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部長　部長　花木 芳洋	医師、救命救急士	1名	27名
2011年6月10日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	7名
2011年6月17日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	8名
2011年6月24日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科副部長　横山 俊彦	医師	1名	7名
2011年7月1日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科副部長　横山 俊彦	医師	1名	7名
2011年7月8日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	7名
2011年7月15日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	7名
2011年7月22日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	6名
2011年7月29日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科副部長　横山 俊彦	医師	1名	7名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2011年8月5日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	8名
2011年8月19日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	8名
2011年8月26日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科副部長　横山 俊彦	医師	1名	7名
2011年9月2日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	7名
2011年9月16日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	10名
2011年9月22日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	6名
2011年9月30日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	8名
2011年10月7日	金	13:00 ～	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　酒井　秀造	医師	1名	9名
2011年5月27日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	4名
2011年7月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	7名
2011年9月30日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	7名
2011年11月25日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	5名
2012年1月27日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	6名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者(医療従事者)	
						院　内	院　外
2012年3月23日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	6名
2011年4月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	5名
2011年5月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 2	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	5名
2011年6月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	6名
2011年7月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	8名
2011年8月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科副部長　横山 俊彦	医師	1名	6名
2011年9月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	7名
2011年10月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	9名
2011年11月30日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	6名
2011年12月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	6名
2012年1月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	5名
2012年2月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	7名
2012年3月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修 参加対象:医療従事者 東棟2階　会議室 3	講師:名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	8名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2011年9月15日	木	20:00 ～ 21:00	名古屋第一赤十字病院循環器内科 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室 1	「急性冠症候群における地域連携に関して」 講師：名古屋第一赤十字病院 内科副部長　丹羽　統子	医師	2名	6名
2011年4月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	脳神経外科研修会・症例検討会 演者：脳神経外科部長　稲尾　意秀	医師	6名	13名
2011年5月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	一般消化器外科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一一般消化器外科部長 宮田　完志	医師	15名	14名
2011年6月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器科部長　神谷　春雄	医師	9名	18名
2011年7月25日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	呼吸器内科研修会・症例検討会 演者：呼吸器内科部長　野村　史郎	医師	10名	12名
2011年9月26日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	泌尿器科研修会・症例検討会 演者：泌尿器科部長　鈴木　弘一	医師	4名	15名
2011年10月17日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器科部長　神谷　春雄	医師	8名	16名
2011年11月21日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	消化器内科研修会・症例検討会 演者：第一消化器内科部長　春田　純一	医師	11名	15名
2011年12月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：副院長兼神経内科部長　真野　和夫	医師	4名	11名
2012年1月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	呼吸器内科研修会・症例検討会 演者：呼吸器内科部長　野村　史郎	医師	13名	14名
2012年2月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器科部長　神谷　春雄	医師	8名	14名
2012年3月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 1,2	研修会・症例検討会 演者：第一整形外科部長　大澤 良充	医師	6名	15名
2011年4月8日	金	19:00 ～ 21:00	第60回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室3	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	16名	14名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2011年4月22日	金	19:30 ～ 21:00	メディカルフォーラム桑名 参加対象：医師 桑名シティホテル　4階「桑名の間」	「脂質異常症の最適治療について」 講師：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科　神谷　春雄	医師	1名	8名
2011年4月23日	土	19:00 ～	広島県内科会 参加対象：医師 リーガロイヤルホテル広島　3階「宮島の間」	「心血管イベントリスクからの解放をめざして」 講師：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科　神谷　春雄	医師	1名	112名
2011年5月9日	月	19:00 ～	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「脱水症」 講師：㈱大塚製薬 営業本部 学術部　園田 景三	医療従事者	109名	2名
2011年5月25日	水	18:00 ～	感染防止講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「耐性グラム陽性菌感染症への対応を考える」 講師：愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学 教授　三鴨 廣繁 先生	医療従事者	145名	23名
2011年6月3日	金	9:30 ～ 11:00	認定看護師教育課程「がん化学療法看護」分野 参加対象：看護師 愛知県立大学　看護実践センター	「がん化学療法患者・家族アセスメント」 「がん化学療法に伴う身体の変化と症状緩和技術：悪心・嘔吐」 講師：名古屋第一赤十字病院 がん化学療法看護認定看護師　天野　真由美	看護師	1名	30名
2011年6月4日	土	16:30 ～ 18:30	中村区・中川区糖尿病の会 参加対象：医師 グランコート名古屋　5階　くじゃく	「開業医のためのインスリン療法−使い方と−」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守　育雄	医師	1名	5名
2011年6月13日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「NSTとは」 講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	医療従事者	93名	3名
2011年6月22日	水	18:30 ～ 20:00	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「緩和ケアのめざすもの」 講師：東海中央病院　院長　渡邊　正	医療従事者	54名	18名
2011年6月23日	木	19:00 ～ 20:30	第3回名古屋西部地区インクレチンセミナー 参加対象：医療従事者 キャッスルプラザ　4F「梓」	「当院におけるシタグリプチン300例の使用経験」 講師：名古屋第一赤十字病院　内分泌内科　池庭　誠	医療従事者	12名	28名
2011年6月28日	土	10:00 ～ 11:00	がん看護認定看護師養成 参加対象：医療従事者 愛知県立看護大学	「がん化学療法の投与管理とリスクマネジメント」 ～経口抗がん薬の取り扱い～ 講師：薬剤部 教育研修課長　池田　義明	看護師	1名	25名
2011年7月7日	木	18:10 ～ 19:40	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「専門家としての自律」 講師：新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター長教授　中田　力　先生	医療従事者	72名	20名
2011年7月8日	金	19:00 ～ 21:00	第61回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室3	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	15名	16名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2011年7月9日	土	17:00 ～ 19:00	第13回名古屋第一赤十字病院 病診連携システム学術セミナー 参加対象：医療従事者 名鉄グランドホテル 11階 柏の間	～東日本大震災における医療活動と支援～ 講演Ⅰ「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」 名古屋市医師会中村区支部副会長　細川 秀一　先生 講演Ⅱ「東日本大震災(・大津波):被災地の砦として」 石巻赤十字病院 院長　飯沼 一宇 先生	医療従事者	42名	49名
2011年7月11日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「電解質異常　低ナトリウム血症」 講師：㈱大塚製造工場　営業本部 学術部　園田　景三	医師	90名	1名
2011年7月14日	木	16:00 ～ 17:00	名古屋大腿骨頸部骨折連携パス拡大会議 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「Ⅲ段階連携パスシートについて」 名古屋第二赤十字病院 地域連携センター相談支援室 室長兼看護師長　古城　敦子　様 講演Ⅱ「Ⅲ段階連携パスシート施行実績による問題点と改善点」 名古屋掖済会病院　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ部 主任技師　坂野　喜明　様 上飯田リハビリテーション病院 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 係長　嶋津　誠一郎　様 講演Ⅲ「Ⅲ段階連携パスに関する東海北陸厚生局の見解」 名古屋医療センター　整形外科医長　佐藤　智太郎　先生	医療従事者	11名	97名
2011年7月20日	水	14:00 ～ 15:15	中村区医師会研修会 参加対象：医療従事者 中村区休日急病診療所 3F　会議室	「日常診療できづく認知症」 講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野　和夫	医師	1名	9名
2011年7月21日	木	20:00 ～	第34回中村区整形外科医会 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル　7階　扇の間	「当院におけるNSAID潰瘍の現状について」 講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	医師	15名	8名
2011年7月30日		11:00 ～ 12:00	がん看護ジェネラリストナース育成プログラム研修 参加対象：看護師 愛知県がんセンター中央病院	「がん化学療法看護概論」 「安全・確実・安楽な抗がん剤投与管理」 講師：名古屋第一赤十字病院 がん化学療法看護認定看護師　天野　真由美	看護師	1名	73名
2011年8月8日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「術前化学療法を施行する胃癌患者の栄養管理」 講師：名古屋第一赤十字病院 化学療法科副部長　河田　健司	医療従事者	68名	3名
2011年9月12日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「静脈栄養とリスクマネジメント」 講師：㈱大塚製造工場　営業本部 学術部　園田　景三	医療従事者	50名	2名
2011年9月12日	月	20:00 ～ 21:30	第13回小児医療センター症例検討会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	熱性痙攣と診断後経過中に硬膜下腫瘍を伴う細菌性髄膜炎を発症した1例」 演者：名古屋第一赤十字病院 神経ｸﾞﾙｰﾌﾟ　森本　美仁 「心肺停止で搬送された13歳女児の1例」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器ｸﾞﾙｰﾌﾟ　前原 優美 「当院における肺炎球菌ワクチン(ﾌﾟﾚﾍﾞﾅｰ)の副反応」 演者：(医)純正会 名古屋西クリニック病院　院長　松山 孝治　先生 「小児のOncology　emergency」 演者：名古屋第一赤十字病院　血液グループ　成田　敦	医師	24名	7名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2011年9月14日	水	18:30 ～ 19:45	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「最近の放射線治療事情 －定位放射線治療、強度変調放射線治療および陽子線治療－」 講師:名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野　准教授 石倉　聡先生	医療従事者	96名	15名
2011年10月1日	土	14:00 ～ 15:45	第15回中村区糖尿病研究会 参加対象：医療従事者 ミッドランドスクエア 5階ﾐｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞﾎｰﾙ(会議室A)	「インスリンの調整法」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医師	5名	12名
2011年10月1日	土	17:00 ～ 19:00	Endometriosis 症例検討会 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル	「内膜症治療におけるディナゲスト錠の位置づけ～他剤との比較検討」 講師：名古屋第一赤十字病院 第三産婦人科部長　安藤 智子	医師	1名	11名
2011年10月17日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「TNTC 栄養療法実践のための症例検討会－小児栄養管理－」 講師：名古屋第一赤十字病院 第三小児科部長　加藤　剛二	医療従事者	42名	1名
2011年10月25日	火	20:00 ～ 20:45	アテローム血栓症 学術講演会 参加対象：医療従事者 サーウィンストンホテル　1階 「ヴィラ　スカラ」	「循環器領域における抗血小板療法とアテローム血栓症の管理」 講師：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷 春雄	医師	1名	10名
2011年10月28日	金	19:00 ～ 21:00	第62回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室3	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	9名	9名
2011年11月14日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「腎不全の輸液・栄養管理」 講師：㈱大塚製薬 営業本部 学術部　園田 景三	医療従事者	26名	1名
2011年11月18日	金	18:00 ～ 19:30	がん看護認定看護師養成 参加対象：医療従事者 大垣市民病院	「がん化学療法における薬剤師の関わり」 講師：名古屋第一赤十字病院 薬剤部 教育研修課長　池田　義明	医療従事者	1名	19名
2011年11月30日	水	18:30 ～ 20:00	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「緩和ケア up-to-date」 講師：聖隷三方原病院 緩和支持治療科 部長 森田 達也	医療従事者	68名	44名
2011年12月12日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「急性腎不全患者の栄養管理」 講師：名古屋第一赤十字病院　　腎臓内科　森　佳子	医療従事者	28名	2名
2012年1月13日	金	19:00 ～ 21:00	第63回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室3	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	13名	8名
2012年1月14日	土	14:15 ～ 16:00	第16回中村区糖尿病研究会 参加対象：医療従事者 ミッドランドスクエア 5階ﾐｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞﾎｰﾙ(会議室A)	「新時代の糖尿病治療」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄 「低血糖について　－当院の現状も含めて－」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科 堀部　亮	医師	3名	20名
2012年1月20日	金	18:00 ～ 19:30	地域医療連携診療検討会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「当院における脳卒中地域連携パスの使用状況について」 演者：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科部長　後藤 洋二	医療従事者	35名	34名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
						院　内	院　外
2012年2月13日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「肝硬変患者の栄養療法」 講師：名古屋第一赤十字病院 消化器内科医長　土井崎　正雄	医療従事者	35名	3名
2012年2月23日	木	16:00 ～ 17:30	地域医療連携診療検討会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「大腿骨頸部骨折における地域連携パスの経過について」 演者：名古屋第一赤十字病院　第一整形外科部長　大澤 良充 「診療報酬改定に伴う新パスシートについて」 演者：名古屋第一赤十字病院　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ課長　早川　勝 「名古屋第一赤十字病院における現状報告について」 演者：名古屋第一赤十字病院　看護師長　山田 美穂	医療従事者	16名	29名
2012年3月1日	木	19:00 ～ 20:30	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「診療ネットワークの構築−医療連携と地域連携パス−」 講師：熊本市民病院 神経内科部長　橋本　洋一郎　先生	医療従事者	36名	17名
2012年3月12日	月	18:00 ～ 19:00	NST勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階 内ヶ島講堂	「慢性肝不全患者の輸液・栄養管理」 講師：㈱大塚製薬 営業本部 学術部　園田 景三	医療従事者	19名	1名
2012年3月12日	月	20:00 ～ 21:30	第14回小児医療センター症例検討会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「当院における腸重積症例の検討」 演者：名古屋第一赤十字病院　森本　美仁 「小児潰瘍性大腸炎の一例」 演者：名古屋第一赤十字病院　神野 眞輔 「便秘を主訴とした仙尾部腫瘍の一例」 演者：名古屋第一赤十字病院　神野 眞輔 「新生児の排便異常」 名古屋第一赤十字病院　立花 貴史	医師	19名	10名
2012年3月21日	水	14:00 ～ 15:15	中村区医師会研修会 参加対象：医療従事者 中村区休日急病診療所 3F　会議室	「糖尿病における中性脂肪管理の意義」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医師	1名	6名
2012年3月30日	金	19:00 ～ 21:00	第64回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室3	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	10名	13名
合　計						1440名	1378名
							2818名

＊医療従事者＝医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学・作業療法士、及びその他の医療技術者

編 集 後 記

このたび、「平成23年病院年報」を編集し、発行する運びとなりました。

平成23年は、昨年の診療報酬プラス改定の影響も有り、病院としては昨年に引き続き好調さを持続した年でありましたが、国全体としては東日本大震災が発生し、多くの死者・行方不明者が出たことで、改めて災害への備え、危機管理のあり方の見直しを迫られる年となりました。

また、当番病院として中部ブロック赤十字病院スポーツ大会を開催・運営したり、秋篠宮妃紀子様が当院をご視察されたりと特別な出来事があった年でもあります。

このような平成23年を思い浮かべながら、じっくり振り返る資料としてご覧いただけたらと思います。

平成23年　病院年報

発行日　平成24年12月
発行者　名古屋第一赤十字病院
院長　小 林 陽 一 郎
名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL(052)481-5111
編集者　広報活動委員会

委員長	伊 藤 雅 文	副院長
副委員長	東 和 広	企画課
委員	山 守 育 雄	内分泌内科部
	春 田 純 一	消化器内科部
	澄 川 美 智	看護部
	新 井 千 香	看護部
	横 山 稔 厚	薬剤部
	市 川 千 鶴	医事サービス課
	宮 本 克 己	購入管理課
	山 田 敏 人	会計課
	藤 井 よね子	会計課
	伊 藤 哲 朗	放射線科部
	郡 司 昌 治	病理部
	古 川 恵美子	地域医療連携課
	工 藤 祐 介	人事課
	森 下 和 子	医事サービス課
写真班	石 田 泰 之	薬剤部
	大 野 正 美	放射線科部
幹事	岩 成 清 和	企画課

印刷所　相羽印刷株式会社
製本所　名古屋市守山区瀬古一丁目241番地